



～第2次平塚市都市マスタープラン策定に向けて～

市民意向調査結果 【報告書】

平成19年9月

平塚市

～『第2次平塚市都市マスタープラン』の策定に向けた市民意向調査について～

市では、平成10年3月に都市マスタープランを策定しました。それから約10年が経過し、時代背景や社会環境も大きく変化しています。これらの変化に対応し、市が将来も暮らしやすい都市であり続けるため、現在の都市マスタープランを見直し、新しい都市づくりの指針となる第2次都市マスタープランの策定に向けて取り組んでいます。この見直しにあたり、市民のみなさんのご意見やご提案をお聞きするため、平成18年12月に、市民アンケート調査、街頭インタビュー、商店街・企業及び市民活動団体へのアンケート調査などを実施しました。

ここでは、その調査結果をお知らせします。

第2次都市マスタープランの策定にあたっては、この調査の他、総合計画などの直近で行われたアンケートも参考にしながら検討を進めます。

(注：「都市マスタープラン」とは、総合計画で定めた将来都市像を実現するための「都市計画（土地利用、道路・公園等の整備、まちの開発などの計画）」の指針です。)

目次

| | |
|------------------------------|-----|
| 序. 市民意向調査の概要----- | 1 |
| 1. 市民アンケート調査等からの市民意向の整理----- | 2 |
| 2. 街頭インタビュー調査----- | 3 9 |
| 3. その他意向調査----- | 4 3 |
| 参考資料----- | 5 9 |

序. 市民意向調査の概要

この資料では、今回実施した意向調査（表 1.1 参照）の結果を整理するとともに、既往アンケート調査（表 1.2 参照）結果より必要な事項を抜粋し、あわせて市民意向の把握を行う。

表 1.1 市民意向調査の概要

| 区分 | | 実施方法等 | 配布数 | 有効配布数 | 回収数 | 回収率 |
|------------|-------------------|------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 市民 | 1. 市民アンケート調査 | ・地区毎に人口比に応じて 5000 名を抽出し、郵送配布・回収 | 5,000 | 4,975 | 1,770 | 35.6% |
| 市民・来街者 | 2. 街頭インタビュー調査(※1) | ・平塚駅周辺での対面調査 | — | — | 200 | — |
| 商店街・企業(※2) | 3. 商店街アンケート調査 | ・全商店街に、郵送配布・回収 | 51 | 51 | 38 | 74.5% |
| | 4. 企業（製造業）アンケート調査 | ・従業員数 30 人以上の事業所 156 社に郵送で配布・回収 | 156 | 156 | 57 | 36.5% |
| 市民活動団体(※2) | 5. 市民活動団体アンケート調査 | ・市民活動団体よりまちづくりに関連する団体を中心に一定数を抽出し、郵送配布・回収 | 32 | 32 | 18 | 56.3% |

※1：街頭インタビュー調査は平成 18 年 12 月 18 日 8～19 時実施、その他は平成 18 年 12 月 4 日～22 日に実施

※2：：商店街・企業、市民活動団体については、別途関係部局へのヒアリング等を実施している

表 1.2 直近年の既存アンケート調査の概要

| 調査名称 | 調査対象 | 方法 | 配布数 | 有効配布数 | 回収数 | 回収率 | 備考 |
|-----------------------------------------|-----------------|----|-------|-------|-------|--------|-------------|
| ①平塚市・都市マスタープランまちづくりアンケート調査(平成 8 年 3 月) | 20 歳以上の市民 | 郵送 | 5,050 | 5,023 | 2,074 | 41.3% | 市役所・公民館等に配置 |
| | | 設置 | 126 | 126 | 126 | 100.0% | |
| ②(仮称)次期平塚市総合計画策定に関する市民意識調査(平成 17 年 5 月) | 16 歳以上の市民 | 郵送 | 4,999 | 4,967 | 1,610 | 32.4% | |
| ③平塚市住民実態調査(平成 16 年度、第 31 回) | 16 歳以上の市民 | 郵送 | 3,000 | 3,000 | 1,486 | 49.5% | |
| ④平塚市住民実態調査(平成 18 年度、第 32 回) | 20 歳以上の市民 | 郵送 | 3,000 | 3,000 | 1,514 | 50.5% | |
| ⑤平塚市環境基本計画改訂骨子(平成 18 年 4 月) | 市民 | — | — | — | — | — | 調査③-1 による |
| | 事業所、農業関係者、漁業関係者 | 郵送 | 316 | 316 | 162 | 51.3% | |
| ⑥平塚市都市景観計画策定業務(平成 18 年 3 月) | 18 歳以上の市民 | 郵送 | 5,000 | 4,967 | 1,258 | 25.3% | |

1. 市民アンケート調査等からの市民意向の整理

1-1 市民アンケート調査の概要

1) 配布・回収状況

○回収数 1,770 票、回収率 35.6%。

16歳以上の市民から5,000名を無作為に抽出し、郵送で配布・回収を実施した。

有効配付数 4,975 票で、回収率は、次期総合計画アンケート調査の 32.4%（有効配付数 4,967）と同程度であった。

【配付・回収状況】

| 配布数（郵送配布） | 無効配布数（戻り） | 有効配布数 | 回収数 | 回収率 |
|-----------|-----------|---------|---------|--------|
| 5,000 票 | 25 票 | 4,975 票 | 1,770 票 | 35.6 % |

■地域別回収状況

地域別回収率は、31%～39%で、東部地域が低く、南部地域が最も高い。

7地域を17に細分化した地区毎で見ると、東部地域の大野地区は27%と最も低いと同地域を構成するもうひとつの中原地区は35%と中位であり、また最も高いのは南部地域でなく中部地域の城島地区で43%である。

| 項目 | 人口 | 配布数 | 無効配布数 | 有効配布数 | 回収数 | 回収率 |
|---------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 合計 | 259,751 | 5,000 | 25 | 4,975 | 1,770 | 35.6% |
| 有効回答数 | — | — | — | — | 1,724 | 34.7% |
| 無回答 | — | — | — | — | 46 | 0.9% |
| 1. 南部地域 | 40,742 | 785 | 3 | 782 | 306 | 39.1% |
| 2. 中心地域 | 38,349 | 738 | 2 | 736 | 261 | 35.5% |
| 3. 東部地域 | 58,433 | 1,125 | 4 | 1,121 | 345 | 30.8% |
| 4. 北部地域 | 25,819 | 497 | 2 | 495 | 160 | 32.3% |
| 5. 中部地域 | 29,969 | 577 | 8 | 569 | 213 | 37.4% |
| 6. 西部地域 | 20,432 | 393 | 5 | 388 | 135 | 34.8% |
| 7. 旭地域 | 46,007 | 885 | 1 | 884 | 304 | 34.4% |

注：表中7地域は、現行都市マスタープランに準拠。本調査では、さらに次に示す17地区に区分して把握した。

1.南部地域：花水・港地区

2.中心地域：崇善・富士見地区

3.東部地域：大野・中原地区

4.北部地域：神田・横内地区

5.中部地域：城島・豊田・岡崎・金田地区

6.西部地域：北金目・南金目・土沢地区

7.旭地域：旭北・旭南地区

2) 回答者の属性 (問7)

回答者の年代、性別、職業、世帯構成、住宅状況の特徴は、以下の通りである。

- 年代：50～69歳が42%を占め、他の世代より割合が高い
- 性別：女性が男性より6.8ポイント多い
- 職業：会社員・公務員28%及び無職26%が多く、次いで家事従業者15%が多い
- 世帯構成：二世帯(親と子)が53%と最も多く、夫婦のみ世帯が24%
- 住宅：持ち家の戸建て住宅が71%、マンションやアパートが23%

※参考：上記の属性とほぼ同様の傾向を示す(仮称)次期平塚市総合計画策定に関する市民意識調査では、居住年数は、30年以上が49%、20～30年が20%、5～10年が16%であった。

①年代 (上段は票数(票)、下段は割合(%))

| 合計 | 有効 回答数 | 無回答 | 60歳代 | 50歳代 | 40歳代 | 30歳代 | 70歳代 | 20歳代 | 80歳以上 | 19歳以下 |
|-------|-----------|-----|------|------|------|------|------|------|-------|-------|
| 1,770 | 1,745 | 25 | 381 | 353 | 260 | 259 | 220 | 150 | 75 | 47 |
| - | 100.0 | - | 21.8 | 20.2 | 14.9 | 14.8 | 12.6 | 8.6 | 4.3 | 2.7 |

②性別 (上段は票数(票)、下段は割合(%))

| 回収数 | 有効 回答数 | 無回答 | 女性 | 男性 |
|-------|-----------|-----|------|------|
| 1,770 | 1,649 | 121 | 880 | 769 |
| - | 100.0 | - | 53.4 | 46.6 |

③職業 (上段は票数(票)、下段は割合(%))

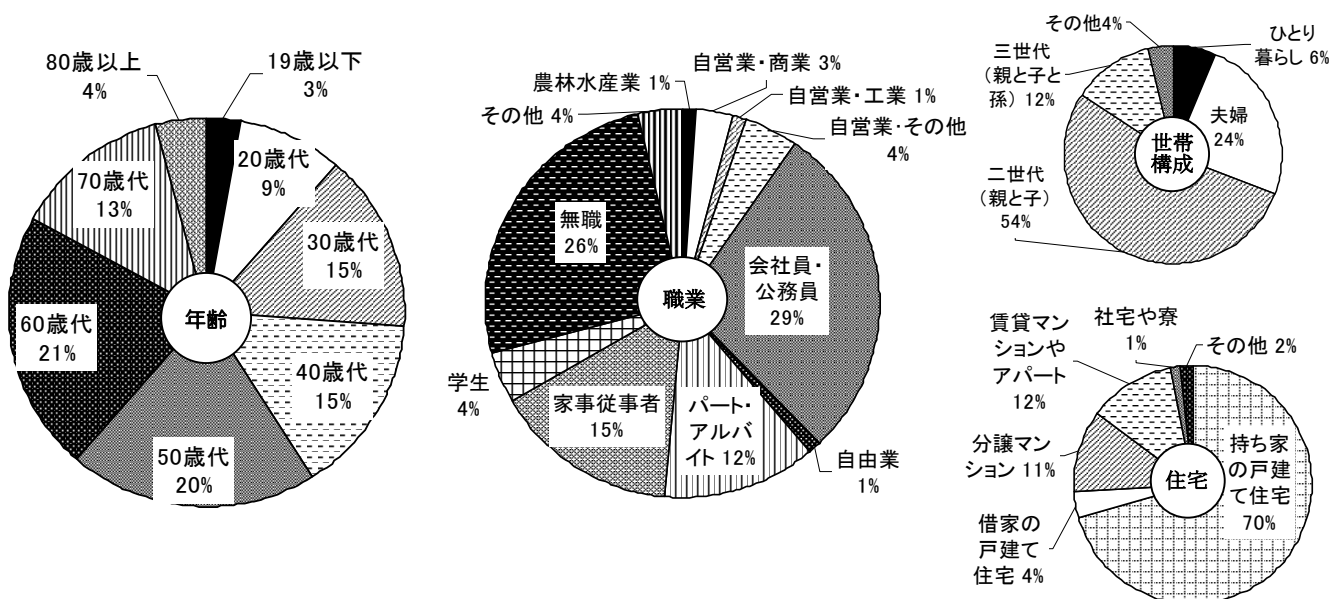
| 合計 | 有効 回答数 | 無回答 | 会社員・ 公務員 | 無職 | 家事 従事者 | パート・ アルバイト | 自営業 (その他) | 学生 | 自営業 (商業) | 自営業 (工業) | 農林 水産業 | 自由業 | その他 |
|-------|-----------|-----|-------------|------|-----------|---------------|--------------|-----|-------------|-------------|-----------|-----|-----|
| 1,770 | 1,747 | 23 | 492 | 449 | 268 | 217 | 76 | 71 | 57 | 19 | 18 | 18 | 62 |
| - | 100.0 | - | 28.2 | 25.7 | 15.3 | 12.4 | 4.4 | 4.1 | 3.3 | 1.1 | 1.0 | 1.0 | 3.5 |

④世帯構成 (上段は票数(票)、下段は割合(%))

| 合計 | 有効 回答数 | 無回答 | 二世帯 (親と子) | 夫婦 | 三世帯 (親と子と孫) | ひとり暮らし | その他 |
|-------|-----------|-----|--------------|------|----------------|--------|-----|
| 1,770 | 1,743 | 27 | 930 | 425 | 214 | 111 | 63 |
| - | 100.0 | - | 53.4 | 24.4 | 12.3 | 6.4 | 3.6 |

⑤住宅状況 (上段は票数(票)、下段は割合(%))

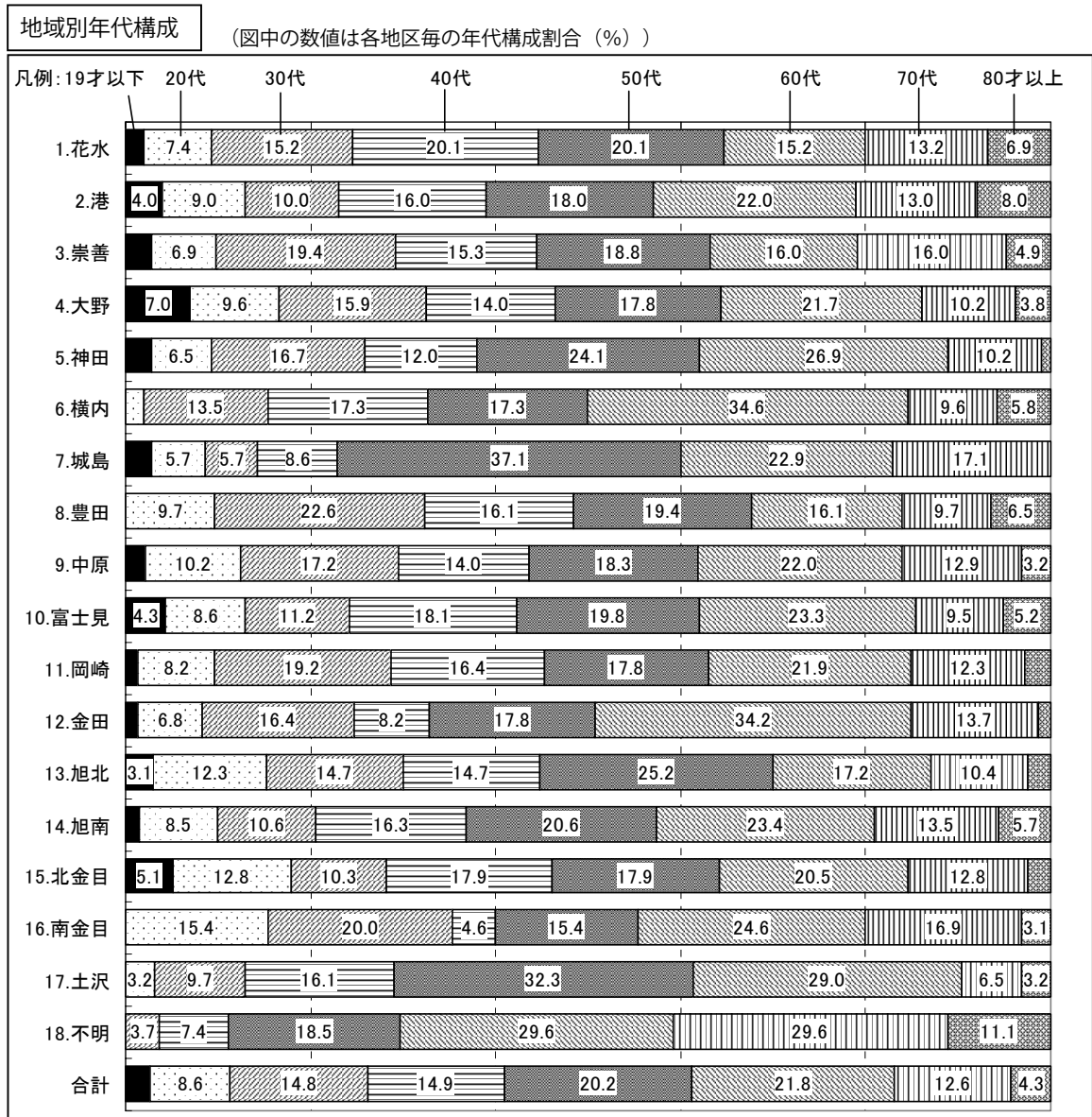
| 合計 | 有効 回答数 | 無回答 | 持ち家の 戸建て住宅 | 賃貸マンション やアパート | 分譲 マンション | 借家の 戸建て住宅 | 社宅や寮 | その他 |
|-------|-----------|-----|---------------|------------------|-------------|--------------|------|-----|
| 1,770 | 1,739 | 31 | 1,226 | 202 | 193 | 66 | 25 | 27 |
| - | 100.0 | - | 70.5 | 11.6 | 11.1 | 3.8 | 1.4 | 1.6 |



⑥地区別状況

■地区別年代構成

30歳代未満（40歳以下）回答者が30%以上と多い地区は、南金目、大野、豊田、旭北などで、逆に60歳以上が40%以上と多い地区は、横内、金田、南金目、港、旭南などである。中間の40～50歳代は、土沢、城島、花水などで40%以上と多く、南金目、金田が少ない。



■地区別性別構成

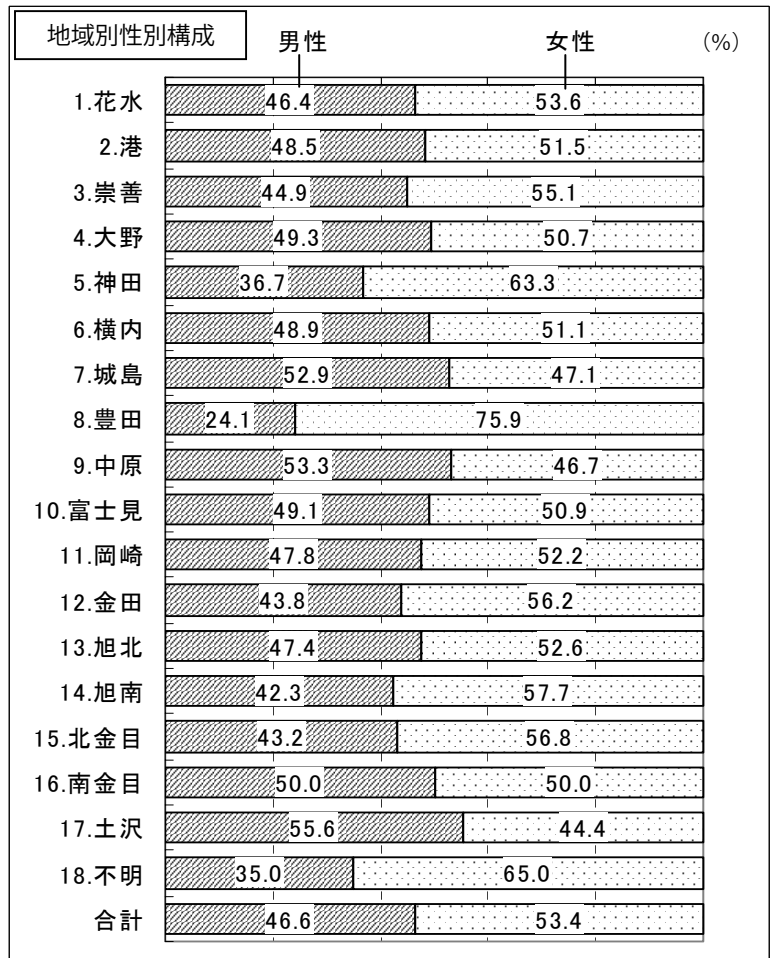
土沢、中原、城島で、男性が平均より5ポイント以上高く50%を越え、南金目は男女半々であるが、他の地区は女性が男性を上回っている。

特に、豊田、神田で女性の割合が高い。

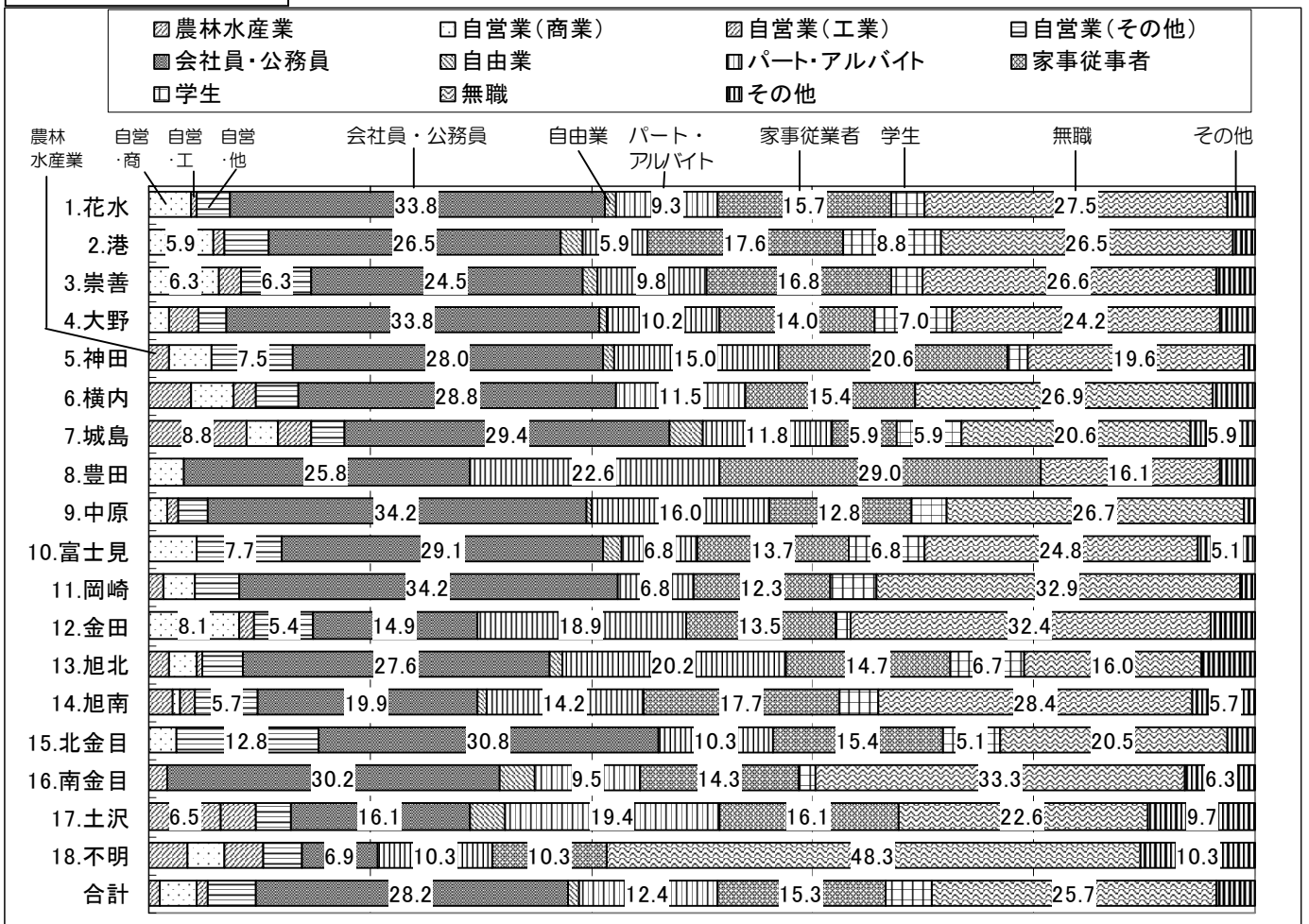
■地区別職業構成

有職の方（パート・アルバイトを除く）と無職の方（家事従業者及び無職）を比較すると、神田、北金目では有職の方が、金田、富士見、旭南では無職の方が各々逆の方を10ポイント以上上回っている。

農業は城島、土沢、横内で多く、自営業（全体）は、北金目、金田、崇善で多い。パート・アルバイトは豊田、旭北、土沢、富士見などで多い。また、学生は港、大野、富士見などで多い。



地域別職業構成 (%)



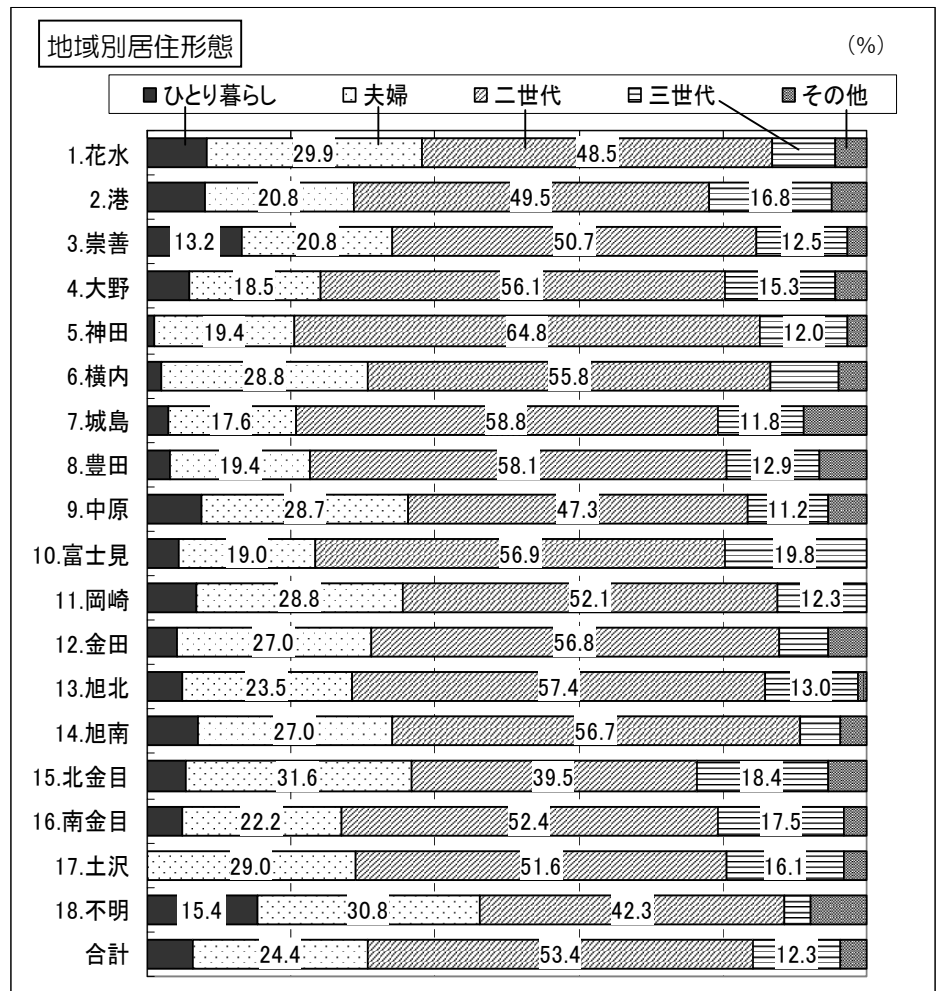
■地区別居住形態

ひとり暮らしは崇善、花水、港等多い。

夫婦のみ世帯は平均で 24%を占め、北金目、花水、土沢等多い。

二世帯での居住は北金目では 40%と少なく、逆に神田では 65%と多い。

三世帯同居が多い地区は、富士見、北金目、南金目等である。

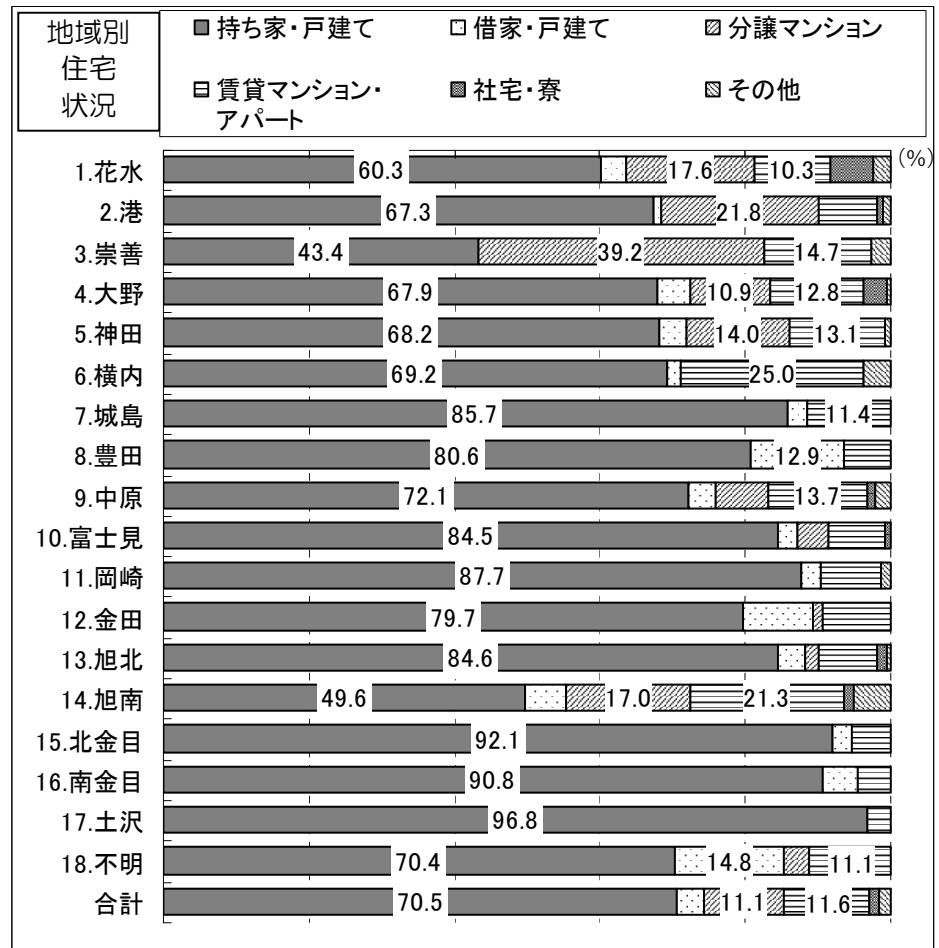


■地区別住宅状況

持ち家（戸建て）は土沢、北金目、南金目で 90%を超えているのに比較し、崇善 43%、旭南 50%などで少ない。

分譲マンションは、崇善では 39%を占め、港、花水、旭南などでも多い。

賃貸のマンションやアパートは、横内、旭南などで多い。



1-2 市民アンケート調査等からの市民意向の整理

1) 住みやすさの評価 (出所: 次期総合計画アンケート調査)

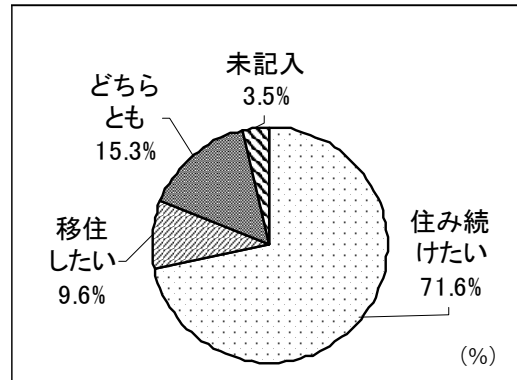
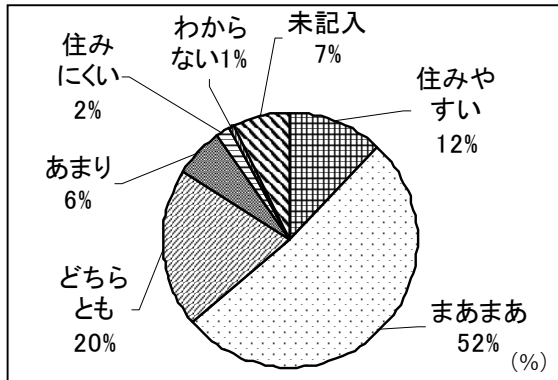
○定住したい理由のトップは「自然環境」。また「交通の便」は定住意向への影響が大きい。

■住みやすさ

○64%が肯定している

■定住意向

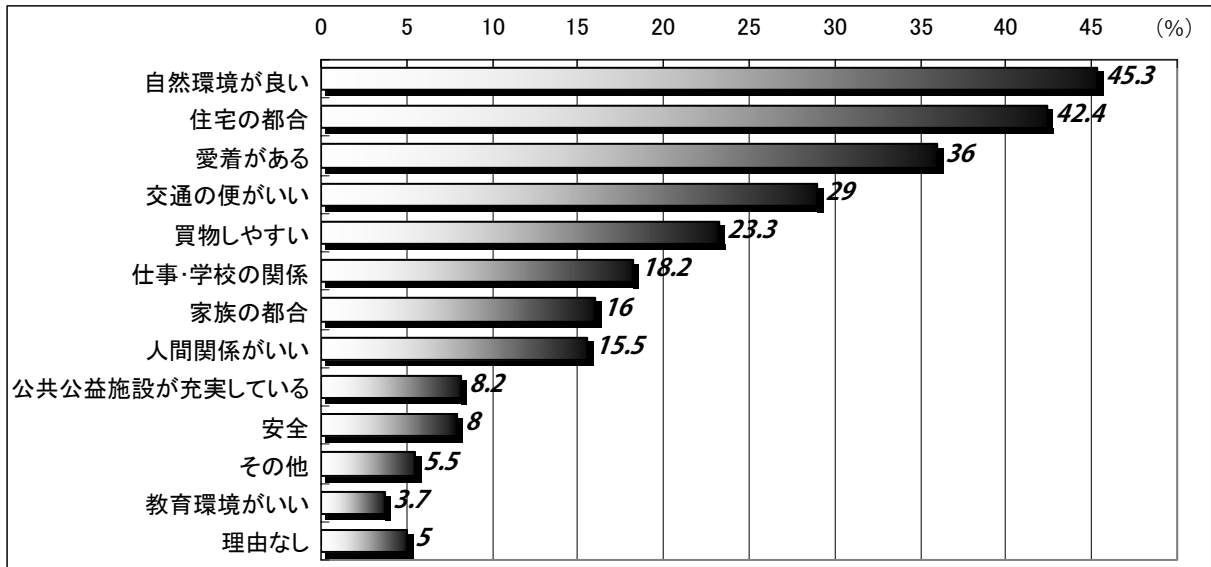
○「住み続けたい」が72%



■住み続けたい理由

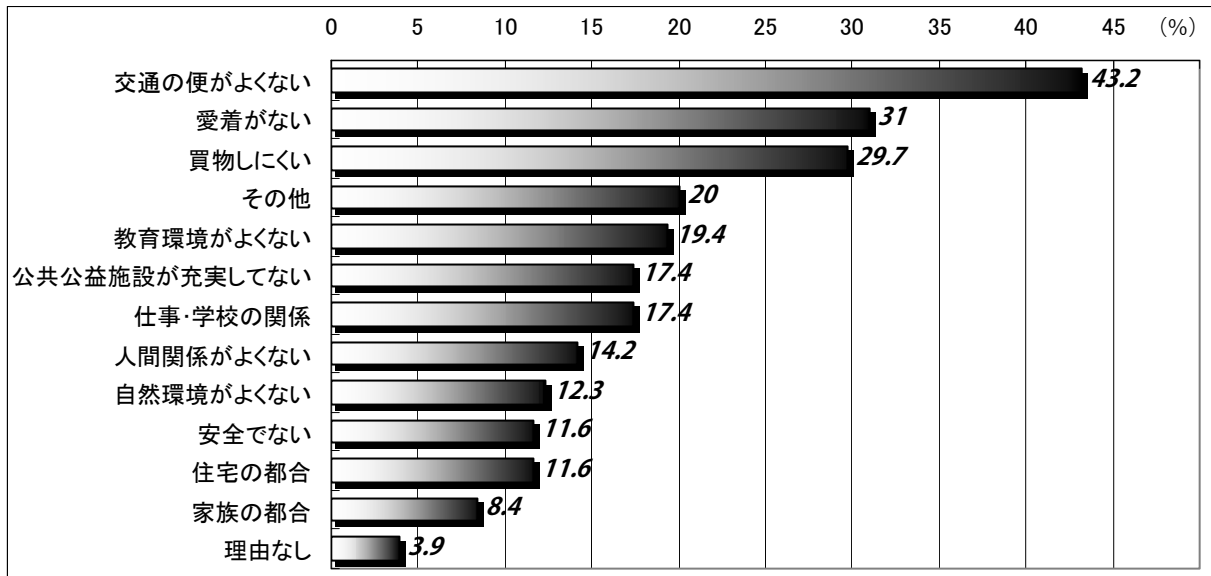
○「自然環境が良い」が一位

定住/移住意向の理由



■移住したい理由

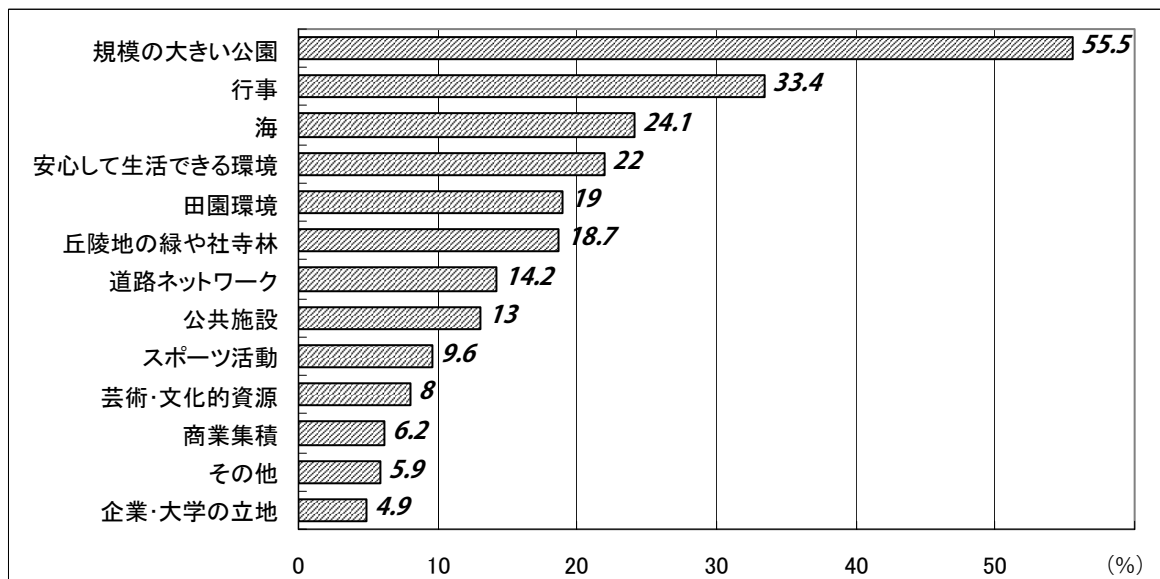
○「交通が不便」が一位。次いで「愛着がない」「買い物にくい」など



2) 都市イメージと重点取組分野 (出所：次期総合計画アンケート調査)

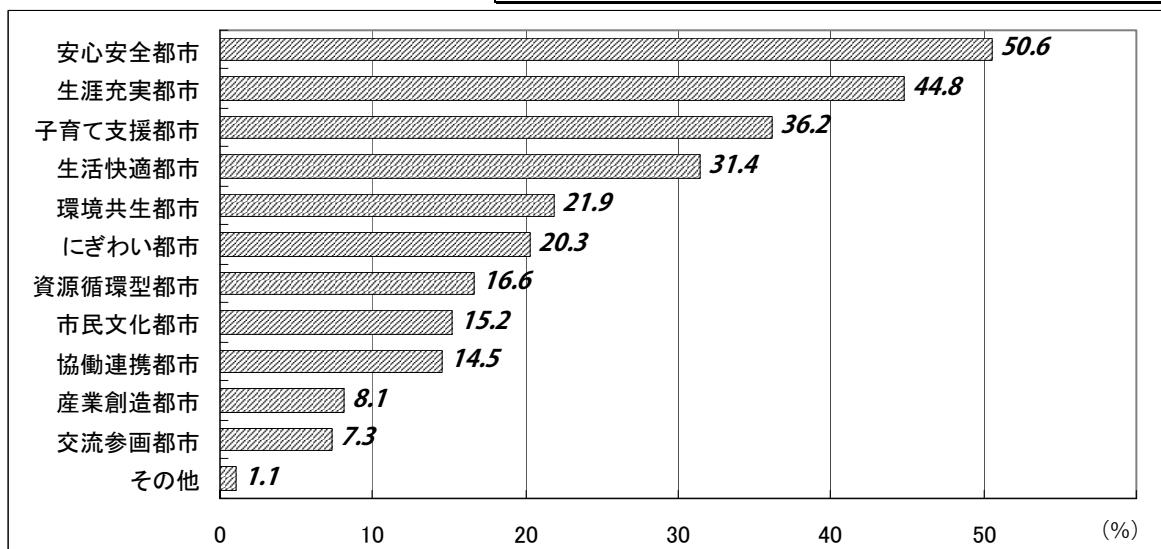
■平塚市に魅力や誇りを感じる点

○「大規模な公園」が一位。次いで「行事」が多い



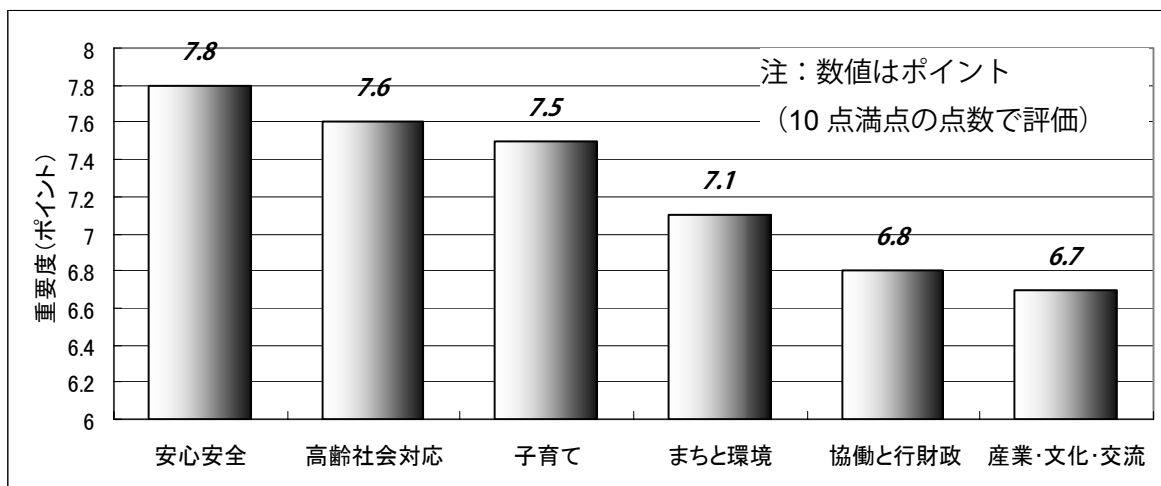
■将来つくりあげべき都市イメージ

○「安全安心都市」が一位。次いで「生涯充実都市」が多い



■重点的に取り組んでもらいたい分野

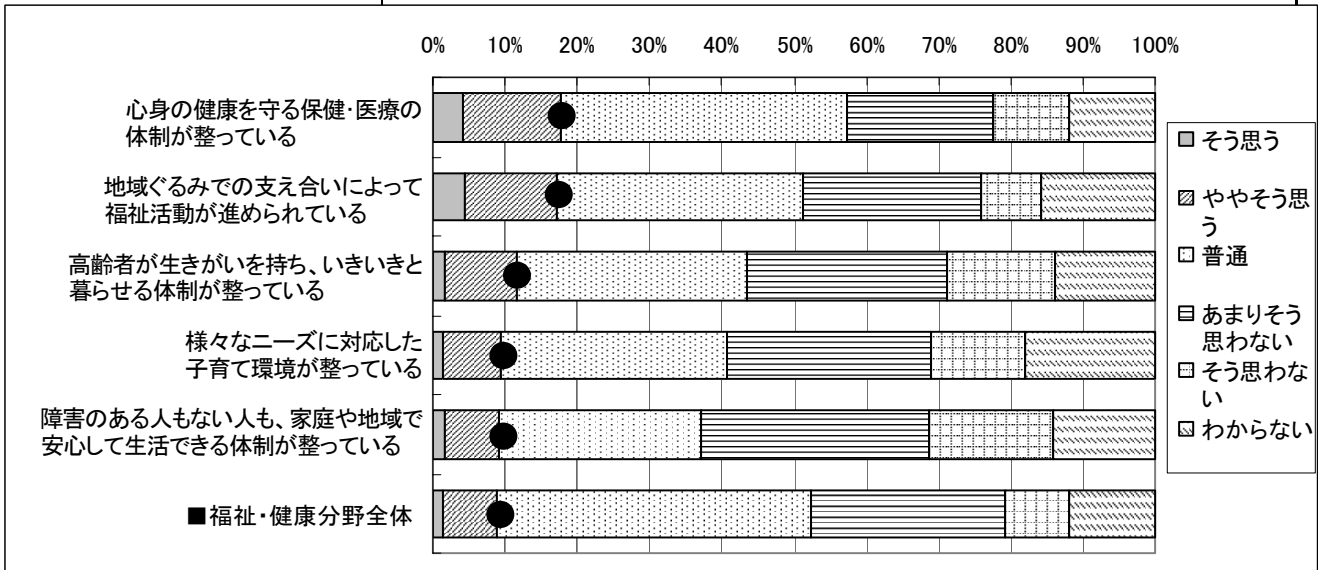
○「安全安心」が一位。「高齢社会対応・子育て」も多い



3) 分野別の現況の満足度 (出所：次期総合計画アンケート調査)

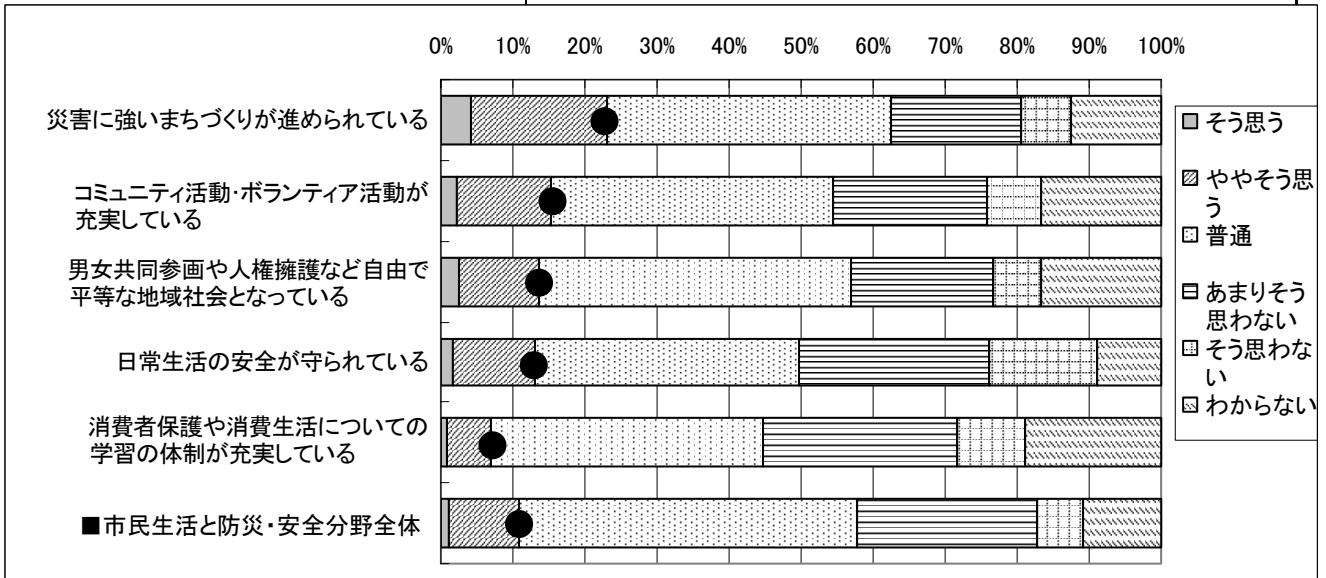
■福祉・健康分野の満足度

○「保健・医療」が一位。「障害者や高齢者、子育て」環境は否定が多い



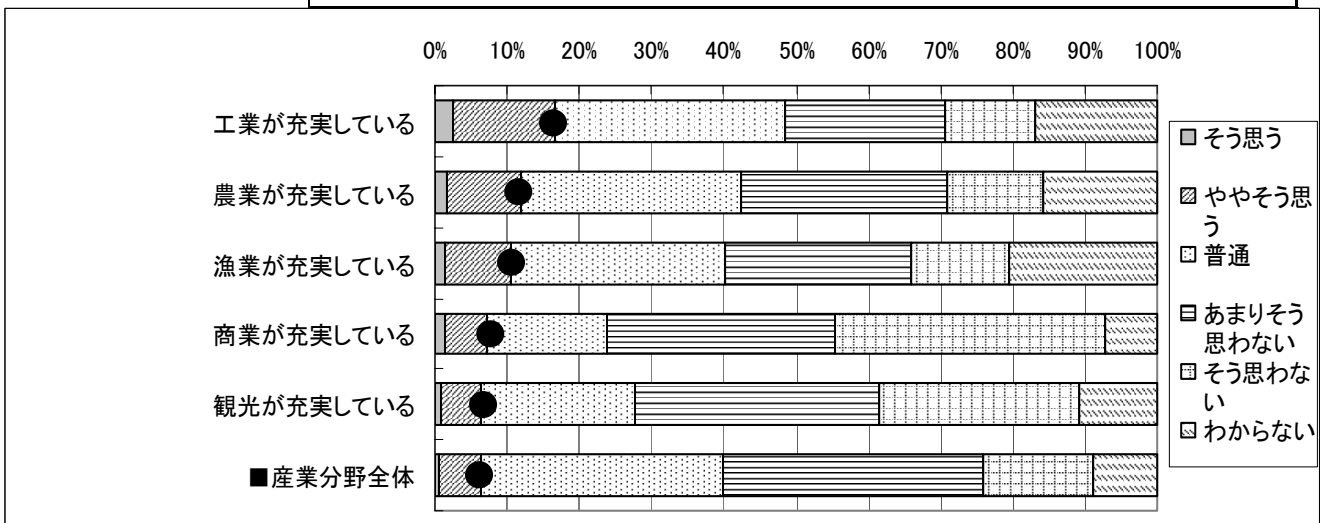
■市民生活と防災・安全分野の満足度

○「防災」が一位。「安全」は否定する人が多い



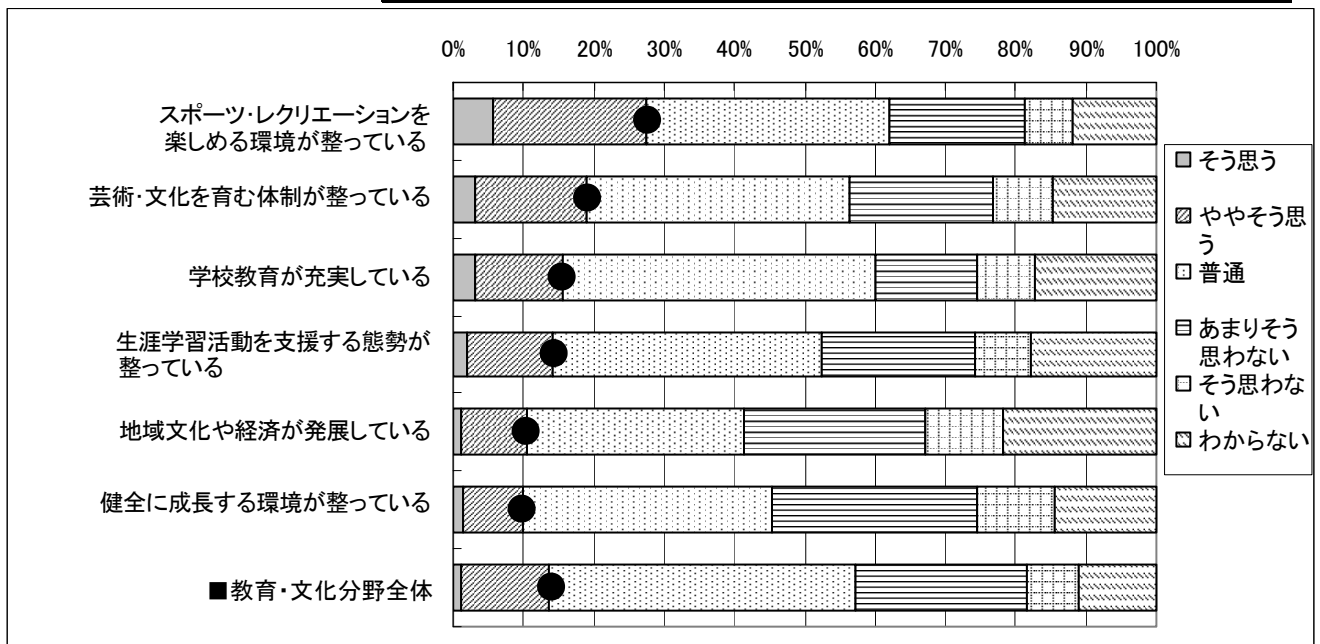
■産業分野の満足度

○「工業」が一位。「商業」は充実していると思わない人が特に多い



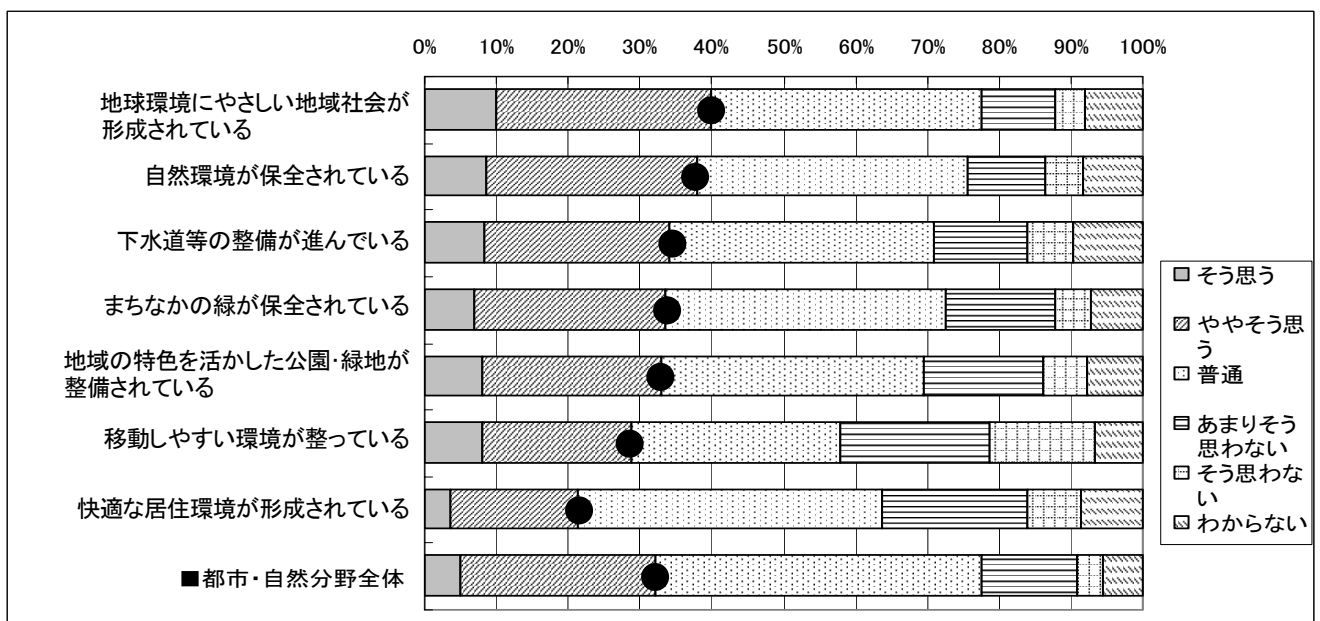
■教育・文化分野の満足度

○「スポーツ・レクリエーション」の満足度が最も高い



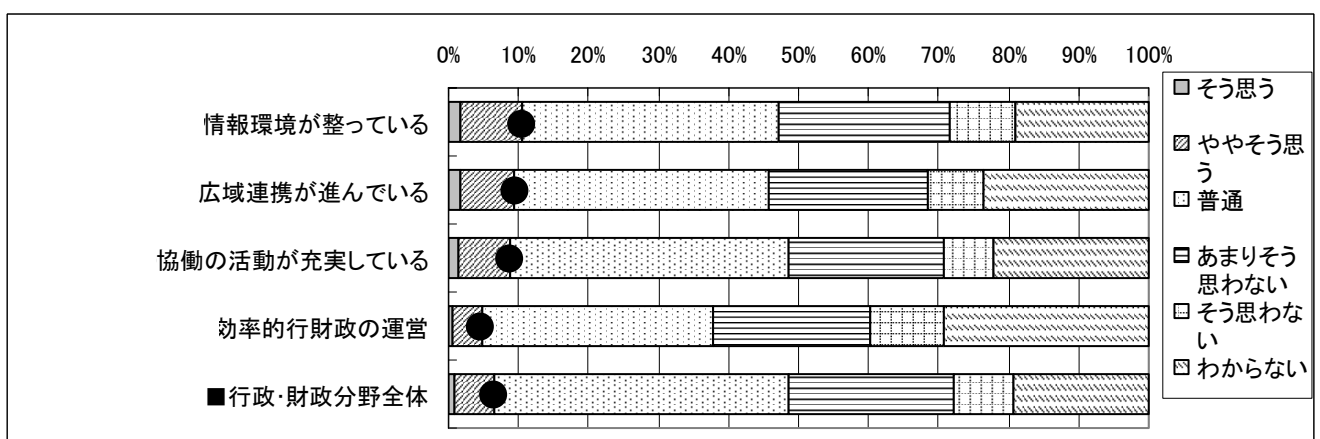
■都市・自然分野の満足度

○「環境にやさしい」、「自然の保全」が上位、「居住環境」が最下位



■行政・財政分野の満足度

○全般的に満足度が低く、特に「後列的財政の運営」の評価が低い



4) 平塚市の都市の価値を高めるためのまちづくりについて (問1)

①平塚駅周辺の中心市街地で、不足していると感じるもの (複数回答 (3つまで))

○駅周辺の中心市街地では、「商業施設の不足」と「魅力や賑わいの不足」を指摘する意見が多い

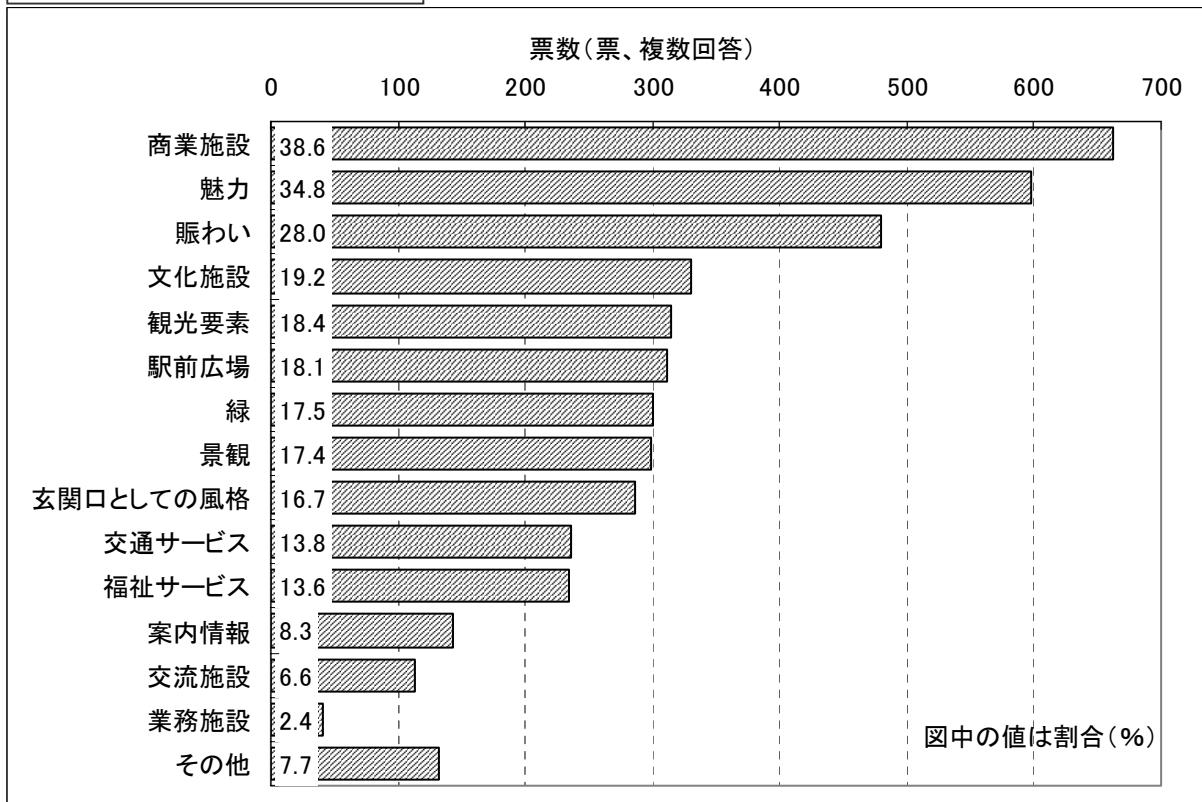
駅周辺の中心市街地で、不足しているという意見が多いのは、「商業施設」39%、「魅力」35%、「賑わい」29%など。

次いで「文化施設」、「駅前広場」、「観光要素」が各々18~19%、「緑」、「景観」、「玄関口としての風格」も各々17%であるが、「業務施設」2%、「交流施設」7%、「案内情報」8%などとする意見は少ない。

【平塚駅周辺の中心市街地で不足しているもの】 (上段は票数(票)、下段は割合(%))

| 合計 | 有効回答者数 | 無回答 | 無効回答 | 商業施設 | 魅力 | 賑わい | 文化施設 | 観光要素 | 駅前広場 | 緑 | 景観 | 玄関口としての風格 | 交通サービス | 福祉サービス | 案内情報 | 交流施設 | 業務施設 | その他 |
|-------|--------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----------|--------|--------|------|------|------|-----|
| 1,770 | 1,715 | 46 | 9 | 662 | 597 | 480 | 330 | 315 | 311 | 300 | 299 | 286 | 236 | 234 | 143 | 113 | 41 | 132 |
| - | 100.0 | - | - | 38.6 | 34.8 | 28.0 | 19.2 | 18.4 | 18.1 | 17.5 | 17.4 | 16.7 | 13.8 | 13.6 | 8.3 | 6.6 | 2.4 | 7.7 |

駅周辺で不足しているもの



■世代別・性別の意見

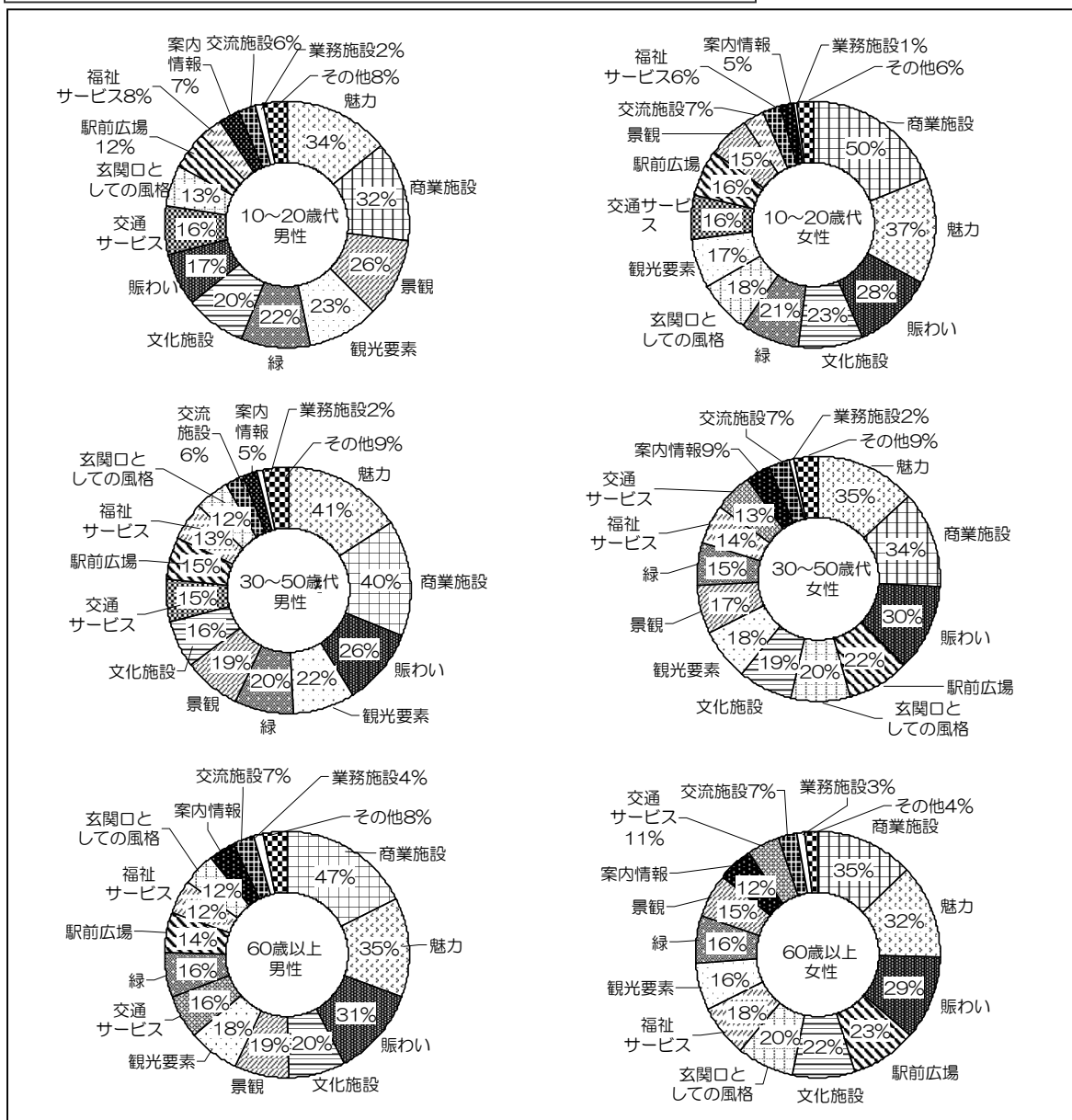
駅周辺について、世代別（10～20歳代、30～50歳代、60～80歳代以上）、男女別に意見の傾向をみると、次のような傾向がみられる。

- ・「商業施設の不足」「魅力の不足」は、全ての世代・性別で上位である
- ・「賑わいの不足」は、10～20歳代の男性を除いて上位である
- ・「文化施設の不足」は、30～50歳代の男性を除く各世代・性別で約2割が指摘している
- ・「景観の不足」は、10～20歳代をはじめ男性の指摘が多い
- ・「緑の不足」は、10～20歳代の男女及び30～50歳代の男性の約2割が指摘している
- ・「観光要素の不足」は、60歳以上を除いての男性の指摘が女性よりやや多い
- ・「駅前広場の不足」は、30歳以上の女性がを第4位にあげている
- ・「玄関口としての風格の不足」は、男性より女性の指摘が多い
- ・「福祉サービスの不足」は、60歳以上の女性の指摘が多い
- ・「業務施設・交流施設・案内情報・交通サービスの不足」は全ての世代・性別で上位にあげられていない

駅周辺で不足しているもの（世代別・性別）

注：世代別・性別毎に、意見別の回答割合（％）を示す。複数回答。

注：数値は、意見数の回答者数に対する割合、地区毎



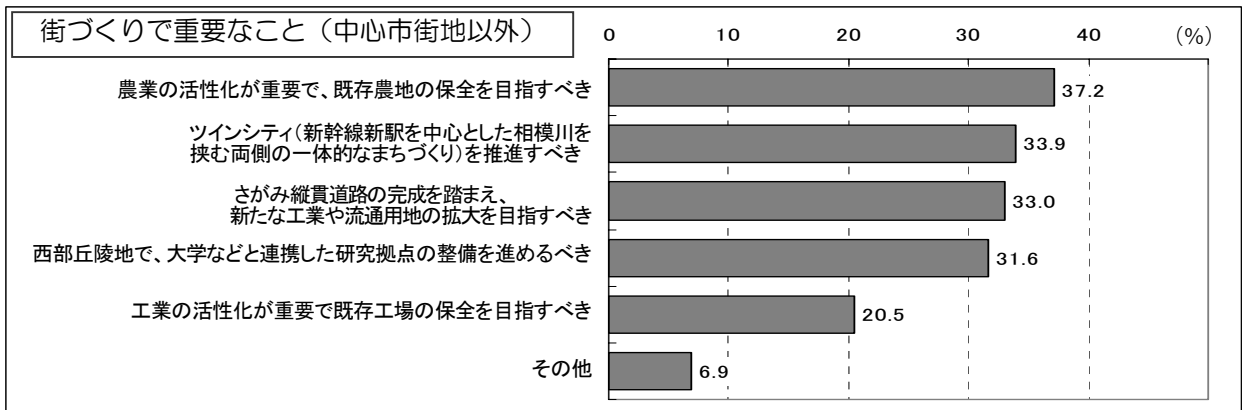
②平塚駅周辺の中心市街地以外での街づくりで、重要と考えること（複数回答（2つまで））

○駅周辺以外のまちづくりでは、農業の活性化が重要とする意見が最も多いものの、ツインシティ整備、工業等用地の拡大、研究拠点整備がそれぞれ支持された

中心市街地以外での街づくりで、重要と考える点は、「農業の活性化」37%、「ツインシティ整備」34%、「工業や流通用地の拡大」33%、「西部丘陵地での研究拠点整備」が32%、「既存工場の保全」は21%など。主な意見の地区別割合を次頁に示す。

【街づくりで重要なこと（中心市街地以外）】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答者数 | 無回答 | 無効回答 | 農業の活性化が重要で、既存農地の保全を目指すべき | ツインシティを推進すべき | さがみ縦貫道路の完成を踏まえ新たな工業や流通用地の拡大を目指すべき | 西部丘陵地で、大学などと連携した研究拠点の整備を進めるべき | 工業の活性化が重要で、既存工場の保全を目指すべき | その他 |
|-------|--------|-----|------|--------------------------|--------------|-----------------------------------|-------------------------------|--------------------------|-----|
| 1,770 | 1,626 | 137 | 7 | 605 | 552 | 536 | 514 | 333 | 112 |
| - | 100.0 | - | - | 37.2 | 33.9 | 33.0 | 31.6 | 20.5 | 6.9 |



■世代別・性別の意見

各項目で支持率が高い属性をみると、農業は60歳以上の女性、既存工業及び西部丘陵整備は60歳以上の男性、新たな工業等用地拡大は30～50歳代の男性、ツインシティ推進は10～20歳代の男女及び30～50歳代の男性などである。

中心市街地以外での街づくりで重要なもの（世代別・性別）

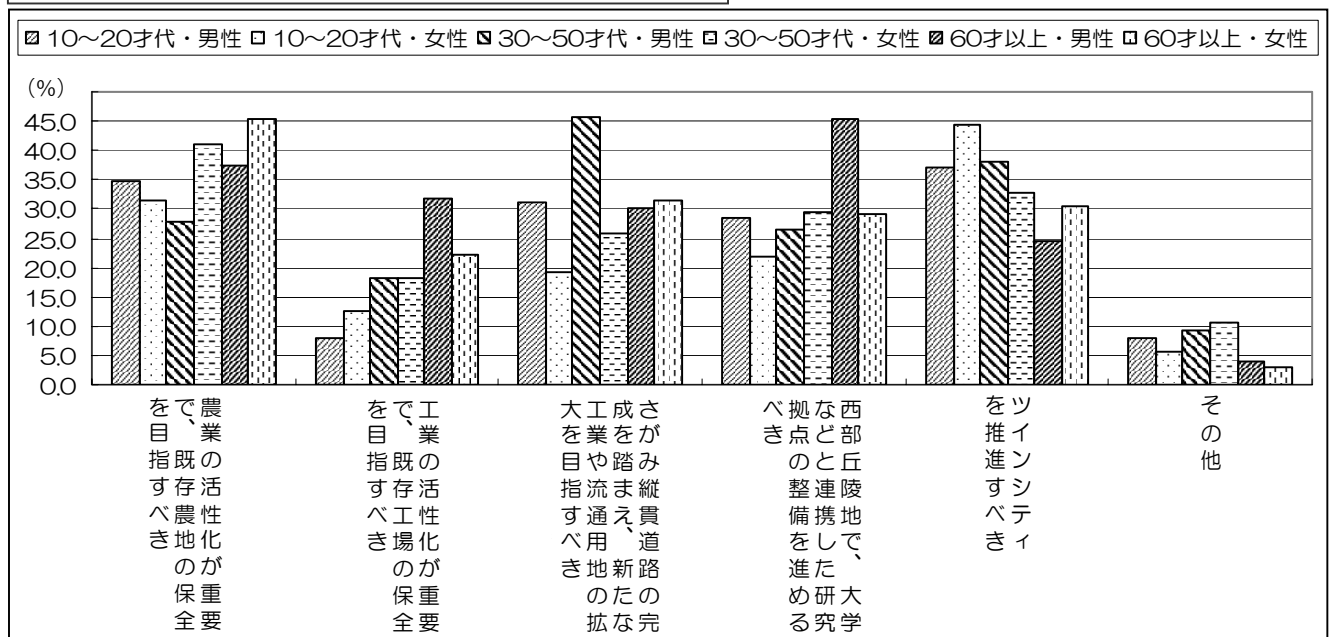
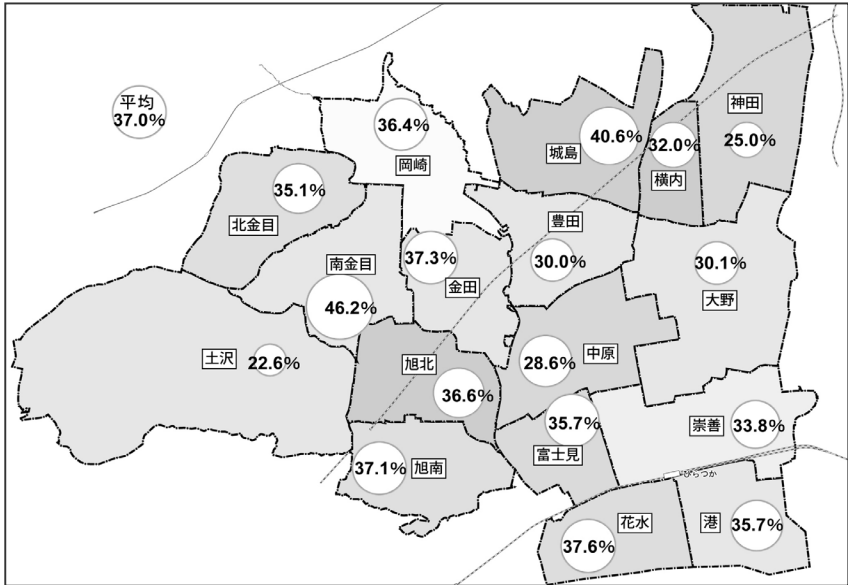


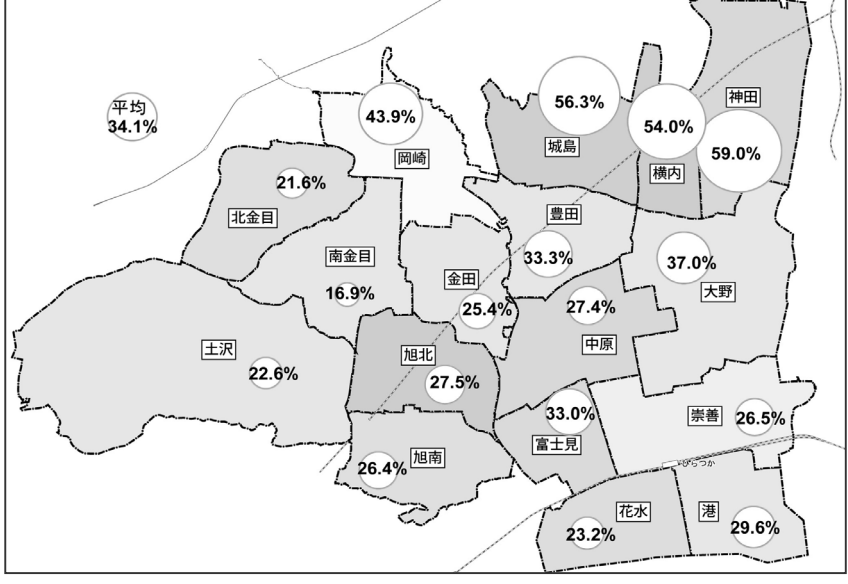
図 中心市街地以外の街づくりで「重要」とする主な意見の地区別割合（8頁参照）

地区別の意見では、居住地に関連の深い項目を支持する傾向がみられる。

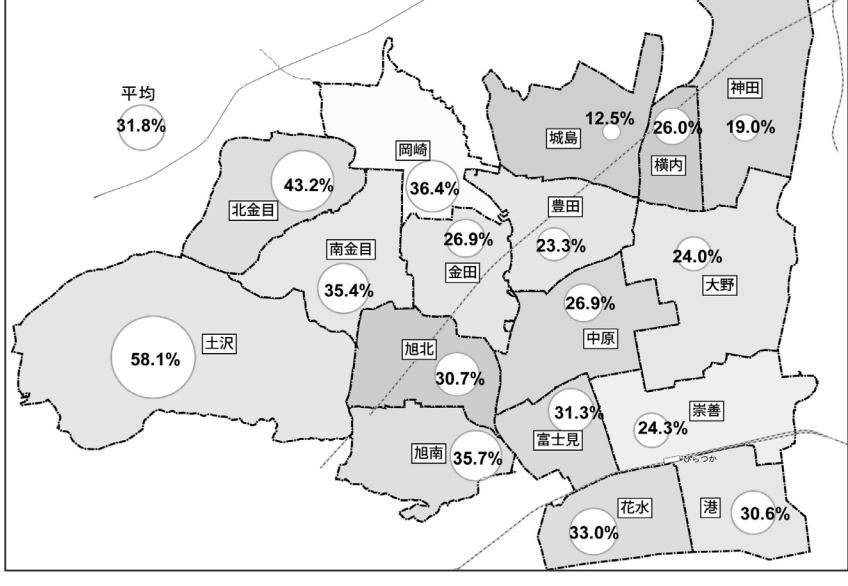
「農業の活性化が重要で、既存農地の保全を目指すべき」と回答した人の地区毎の割合



「ツインシティを推進すべき」と回答した人の地区毎の割合



「西部丘陵地で、大学などと連携した研究拠点の整備を進めるべき」と回答した人の地区毎の割合



③都市の価値を高めるために、重要なこと（複数回答（3つまで））

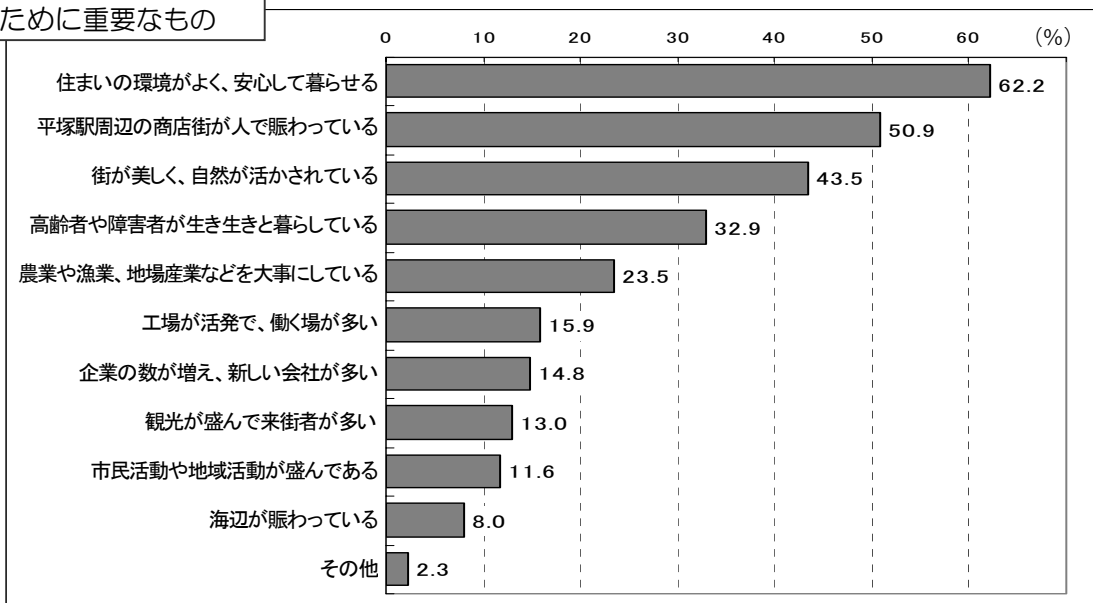
○都市の価値を高めるためには、「安心して暮らせる住まいの環境」、「駅周辺の賑わい」、「街の美しさや自然」などが重要とする意見が多い

都市の価値を高めるために重要な点として、上記3点が各々62～44%の支持を集めた。
次いで、「高齢者が生き生きと暮らしていること」が33%と多い

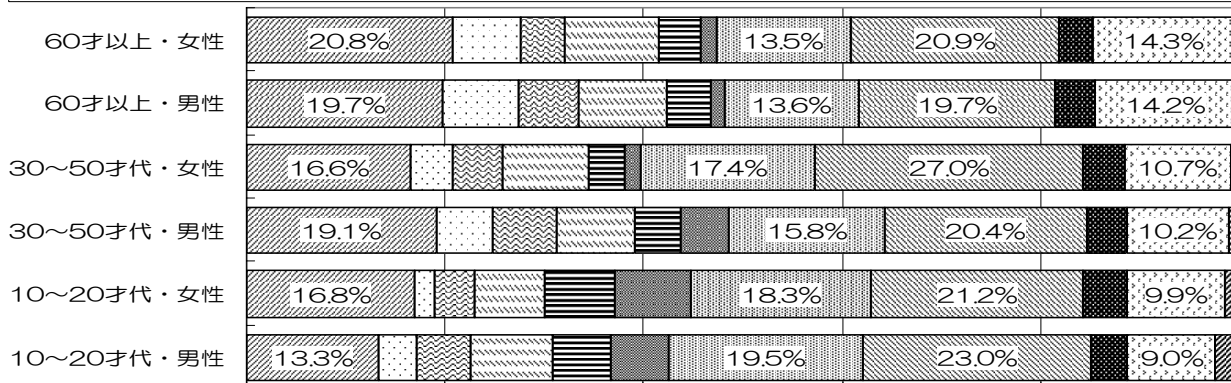
【都市の価値を高めるために重要なこと】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答者数 | 無回答 | 無効回答 | 住まいの環境がよく、安心して暮らせる | 平塚駅周辺の商店街が人で賑わっている | 街が美しく、自然が活かされている | 高齢者や障害者が生き生きと暮らしている | 農業や漁業、地場産業などを大事にしている | 工場が活発で、働く場が多い | 企業が増え、新しい会社が多い | 観光が盛んで来街者が多い | 市民活動や地域活動が盛んである | 海辺が賑わっている | その他 |
|-------|--------|-----|------|--------------------|--------------------|------------------|---------------------|----------------------|---------------|----------------|--------------|-----------------|-----------|-----|
| 1,770 | 1,718 | 45 | 7 | 1,069 | 875 | 747 | 566 | 404 | 274 | 254 | 224 | 200 | 138 | 40 |
| - | 100.0 | - | - | 62.2 | 50.9 | 43.5 | 32.9 | 23.5 | 15.9 | 14.8 | 13.0 | 11.6 | 8.0 | 2.3 |

都市の価値を高めるために重要なもの



- 平塚駅周辺の商店街が人で賑わっている
- 農業や漁業、地場産業などを大事にしている
- 街が美しく、自然が活かされている
- 高齢者や障害者が生き生きと暮らしている
- 工場が活発で、働く場が多い
- 観光が盛んで来街者が多い
- 住まいの環境がよく、安心して暮らせる
- その他
- 企業が増え、新しい会社が多い
- 海辺が賑わっている
- 市民活動や地域活動が盛んである



・60歳以上は「賑わい」、30～50歳代女性は「住まい環境」の支持が多い。

5) 住まいや暮らし方について（問2）

①住まいの周辺で、特に力を入れて欲しいこと（複数回答（3つまで））

○住まいの周辺では、「安全な生活道路整備」「医療施設などの充実」「自然の保全や緑の確保」などが特に望まれている

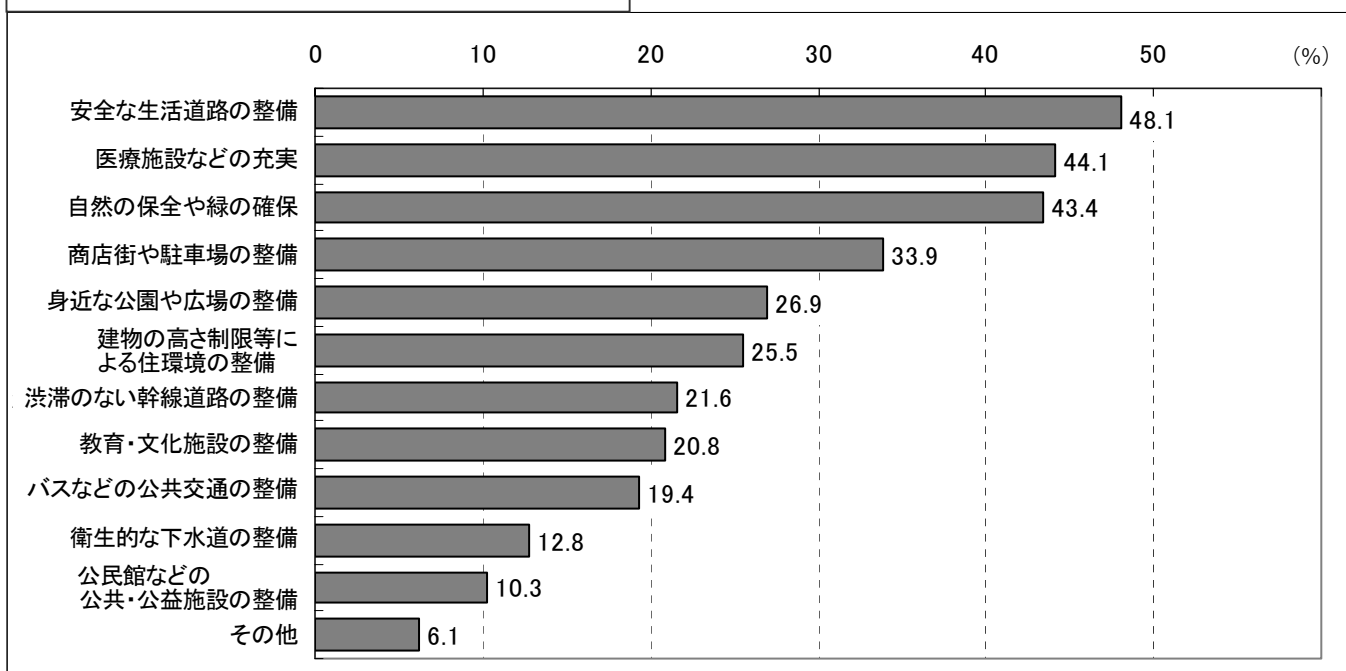
住まいの周辺で、特に力を入れて欲しいのは、上記の3点が、43～48%と多い。

次いで「商店街や駐車場」、「住環境の整備」、「渋滞のない幹線道路の整備」8%などが2割を超えている。公民館などの公共・公益施設の整備についての要請は少ない。

【住まい周辺で特に力を入れて欲しいこと】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答者数 | 無回答 | 無効回答 | 安全な生活道路の整備 | 医療施設などの充実 | 自然の保全や緑の確保 | 商店街や駐車場の整備 | 身近な公園や広場の整備 | 建物の高さ制限等による住環境の整備 | 渋滞のない幹線道路の整備 | 教育・文化施設の整備 | バスなどの公共交通の整備 | 衛生的な下水道の整備 | 公民館などの公共・公益施設の整備 | その他 |
|-------|--------|-----|------|------------|-----------|------------|------------|-------------|-------------------|--------------|------------|--------------|------------|------------------|-----|
| 1,770 | 1,724 | 46 | 0 | 829 | 761 | 748 | 585 | 464 | 440 | 372 | 359 | 334 | 220 | 177 | 106 |
| - | 100.0 | - | - | 48.1 | 44.1 | 43.4 | 33.9 | 26.9 | 25.5 | 21.6 | 20.8 | 19.4 | 12.8 | 10.3 | 6.1 |

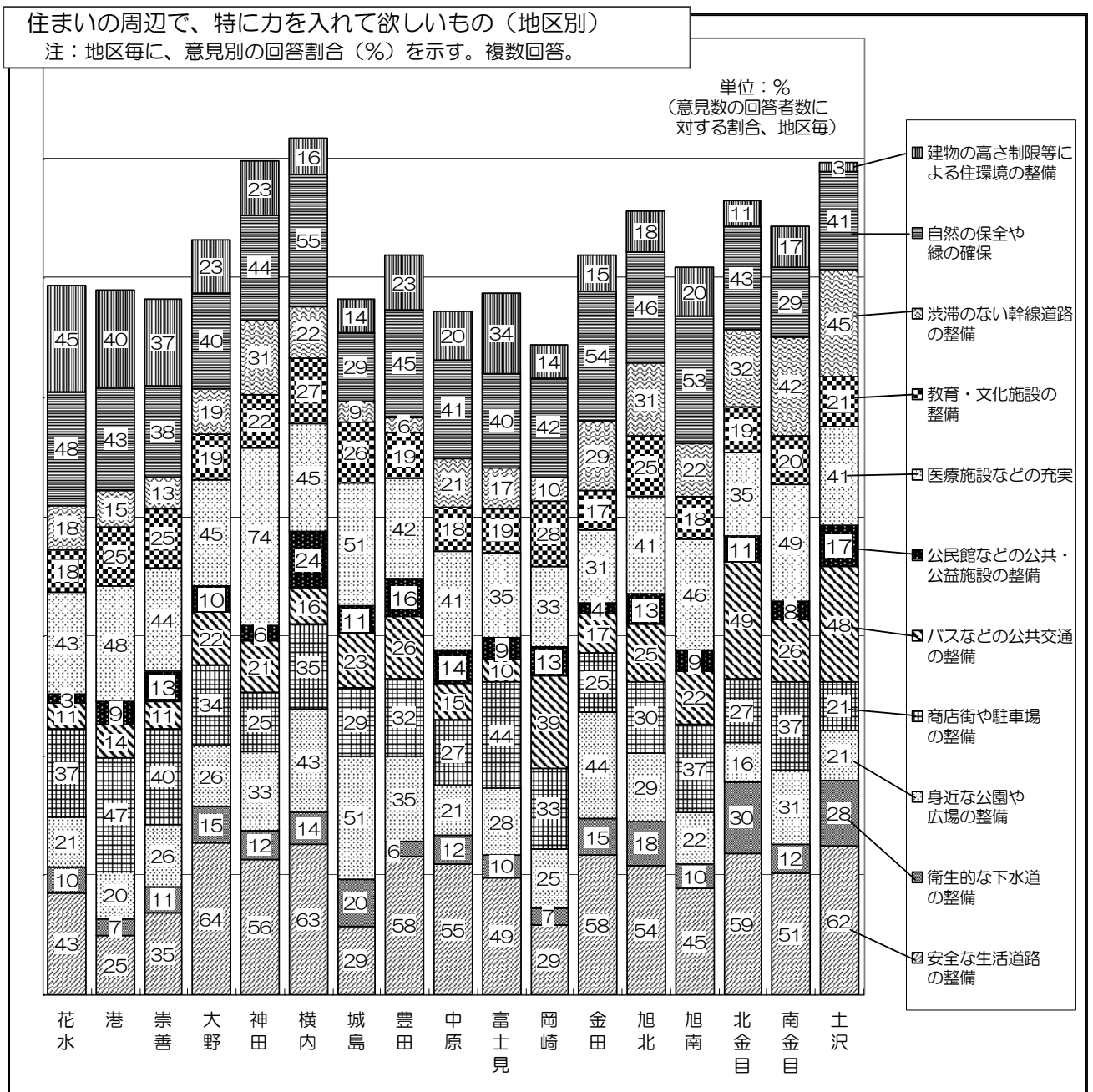
住まいの周辺で、特に力を入れて欲しいもの



■地区別の意見

住まいの周辺で特に力を入れて欲しいものについて地区別にみると、次のような特徴がある。

- ・「安全な生活道路」は、大野、横内、土沢をはじめ多くの地区で上位である
- ・「医療施設など」は、全地区で上位の意見で、特に神田で割合が高い
- ・「自然や緑」は、横内、金田、旭南をはじめ多くの地区で上位である
- ・「商店街や駐車場」は、港、富士見、崇善をはじめ割合の高い地区が多い
- ・「公園や広場」は、城島、金田、横内などで割合が高い
- ・「住環境」は、花水、港、崇善、富士見などで割合が高い
- ・「幹線道路」は、土沢、南金目、神田、旭北、北金目などで割合が高い
- ・「バス等の公共交通」は、土沢、北金目、岡崎などで割合が高い

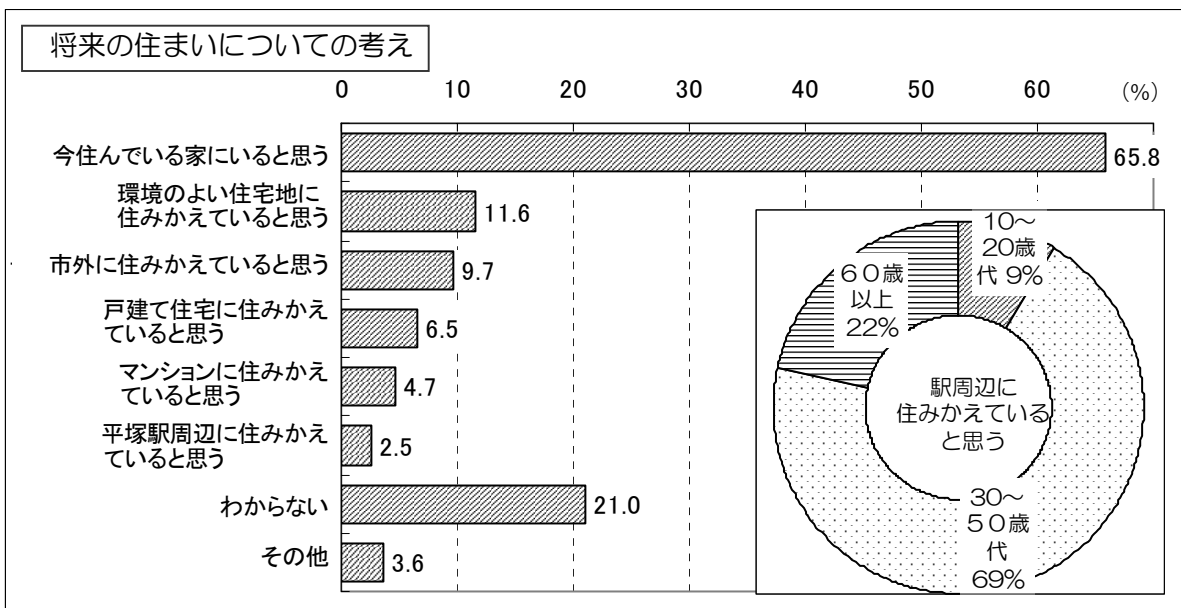


②将来の住まいについての考え（複数回答（2つまで））

○将来の住まいについては、「今住んでいる家」が最も多く、「環境のよい住宅地に住みかえ」が12.％、「市外への住みかえ」が10.％。「駅周辺への住みかえ」は少ない

【将来の住まいについての考え】（上段は票数（票）、下段は割合（％））

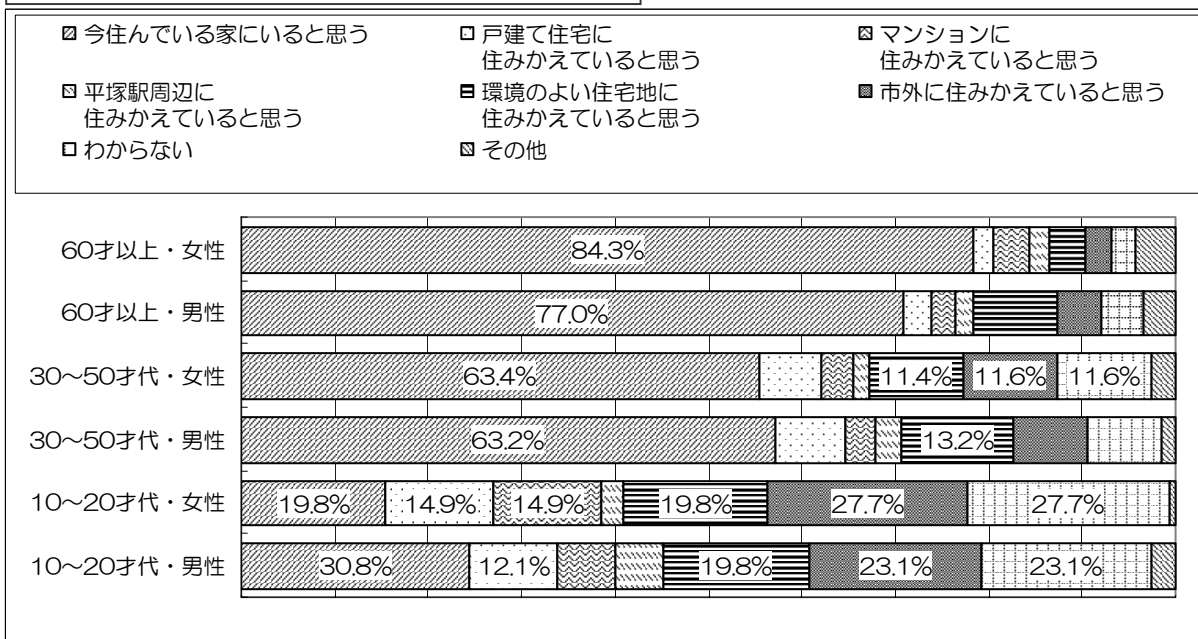
| 合計 | 有効回答者数 | 無回答 | 無効回答 | 今住んでいる家 | 環境のよい住宅地に住みかえている | 市外に住みかえている | 戸建て住宅に住みかえている | マンションに住みかえている | 平塚駅周辺に住みかえている | わからない | その他 |
|-------|--------|-----|------|---------|------------------|------------|---------------|---------------|---------------|-------|-----|
| 1,770 | 1,741 | 28 | 1 | 1,146 | 202 | 169 | 113 | 82 | 44 | 365 | 63 |
| - | 100.0 | - | - | 65.8 | 11.6 | 9.7 | 6.5 | 4.7 | 2.5 | 21.0 | 3.6 |



■世代別・性別の意見

30～50歳代の63%、60歳以上の78～84%が現在の家に住み続けるとしている。住みかえについては環境の良い住宅地への意向が高く、また、10～20歳代の23～28%、30～50歳代の女性の12%が「市外」に住みかえていると思うと回答している。

将来の住まいについての考え（世代別・性別）



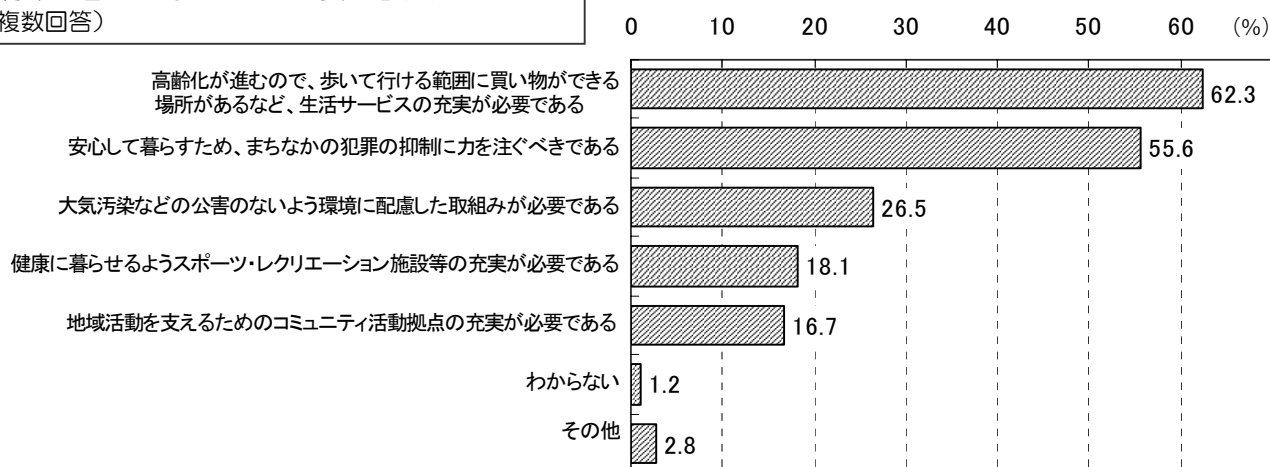
③将来の暮らし方でとくに必要と思われるもの（複数回答（2つまで））

○将来の暮らし方については、主に「高齢化が進むので、歩いて行ける範囲に買い物ができる場所があるなど、生活サービスの充実が必要である」、「安心して暮らすため、まちなかの犯罪の抑制に力を注ぐべきである」がとくに必要と思われている

【将来の暮らし方で特に必要と思われること】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答者数 | 無回答 | 無効回答 | 高齢化が進むので、歩いて行ける範囲に買い物ができる場所があるなど、生活サービスの充実が必要である | 安心して暮らすため、まちなかの犯罪の抑制に力を注ぐべきである | 大気汚染などの公害のないよう環境に配慮した取組みが必要である | 健康に暮らせるようスポーツ・レクリエーション施設等の充実が必要である | 地域活動を支えるためのコミュニティ活動拠点の充実が必要である | わからない | その他 |
|-------|--------|-----|------|--------------------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|-------|-----|
| 1,770 | 1,728 | 33 | 9 | 1,077 | 960 | 458 | 313 | 288 | 20 | 49 |
| - | 100.0 | - | - | 62.3 | 55.6 | 26.5 | 18.1 | 16.7 | 1.2 | 2.8 |

将来の暮らし方でとくに必要と思われるもの（複数回答）

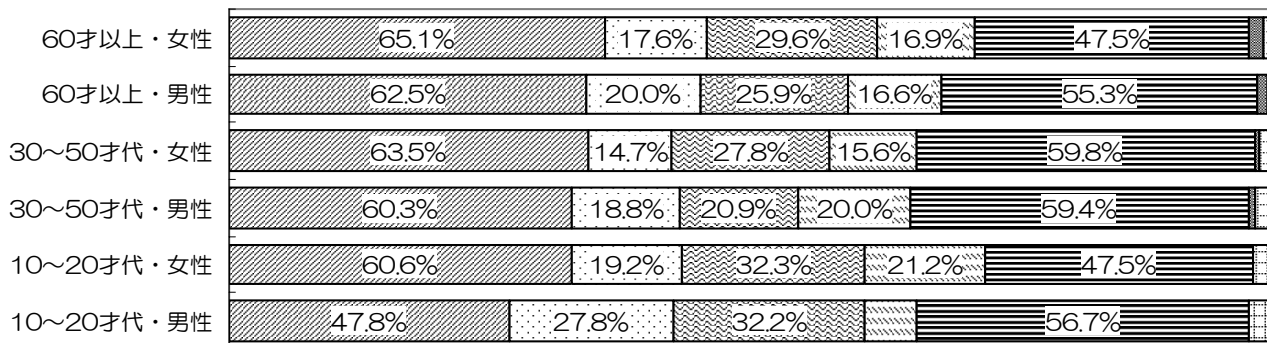


■世代別・性別の意見

「生活サービス」は60歳以上の女性をはじめとして、各世代ともに要請が高い。「犯罪の抑制」も同様に各世代ともに高く、特に30～50歳代は「生活サービス」と同レベルで、10～20歳代の男性では一位である。

将来の暮らし方でとくに必要と思われるもの（世代別・性別、複数回答）

- 高齢化が進むので、歩いて行ける範囲に買い物ができる場所があるなど、生活サービスの充実が必要である
- 健康に暮らせるようスポーツ・レクリエーション施設等の充実が必要である
- 大気汚染などの公害のないよう環境に配慮した取組みが必要である
- 地域活動を支えるためのコミュニティ活動拠点の充実が必要である
- 安心して暮らすため、まちなかの犯罪の抑制に力を注ぐべきである
- わからない
- その他



6) 平塚市の特性である「海岸」、「農地」、「丘陵地」について（問3）

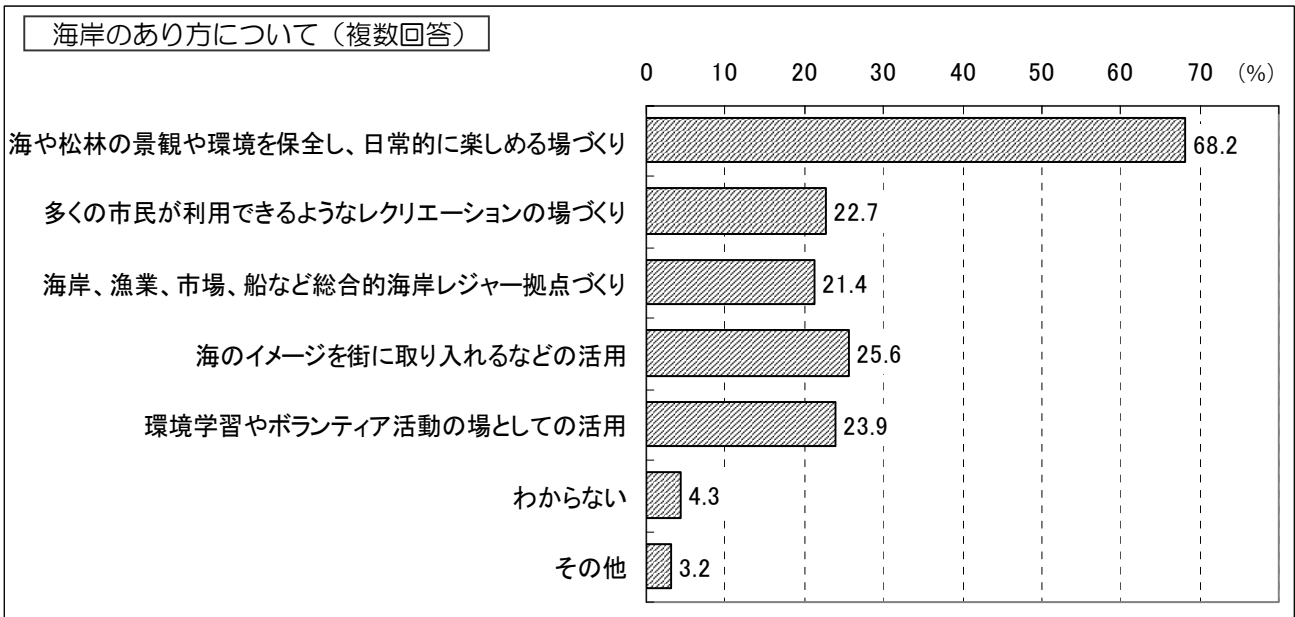
①平塚市の海岸のあり方について
（複数回答（2つまで））

- ・海岸については、「景観や環境を保全し、日常的に楽しめる場づくり」が68%
- ・「地域資源としての活用」など、その他の活用は各々21~26%



【海岸のり方】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答者数 | 無効回答 | 無回答 | 海や松林の景観や環境を保全し、日常的に楽しめる場づくりを進める | 海のイメージを街に取り入れるなど、地域資源としてもっと活用する | 環境学習やボランティア活動（清掃活動など）の場としての活用を進める | 多くの市民が利用できるようなレクリエーションの場づくりを進める | 海岸、漁業、市場、船などのある総合的海岸レジャー拠点づくりを進める | わからない | その他 |
|-------|--------|------|-----|---------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|-------|-----|
| 1,770 | 1,732 | 34 | 4 | 1,182 | 443 | 414 | 394 | 370 | 74 | 55 |
| - | 100.0 | - | - | 68.2 | 25.6 | 23.9 | 22.7 | 21.4 | 4.3 | 3.2 |



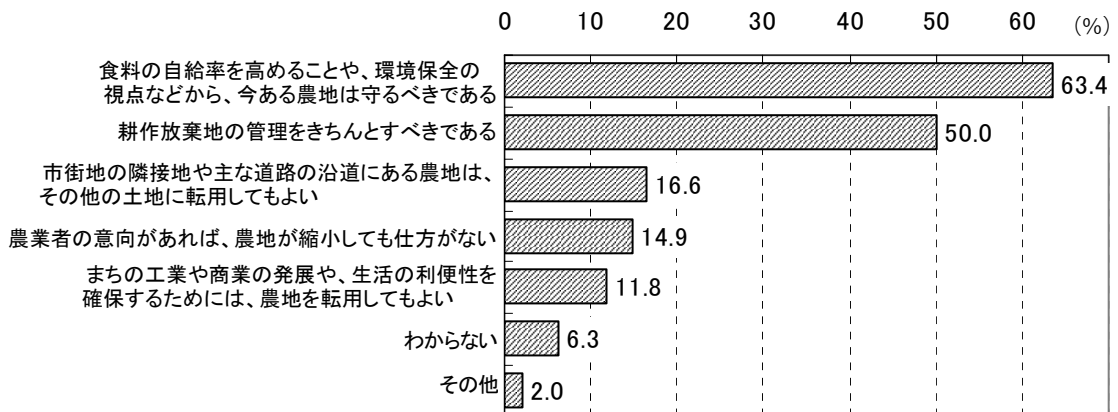
②平塚市の農地のあり方について（複数回答（2つまで））

・農地については、「守るべき」が63%、「耕作放棄地の管理」が50%と多い。逆に「転用や縮小」は12~17%と比較的少ない

【農地のあり方】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答者数 | 無回答 | 無効回答 | 食料の自給率を高めることや、環境保全の視点などから、今ある農地は守るべき | 耕作放棄地の管理をきちんとすべき | 市街地の隣接地や主な道路の沿道にある農地は、その他の土地に転用してもよい | 農業者の意向があれば、農地が縮小しても仕方ない | まちの工業や商業の発展や、生活の利便性を確保するためには、農地を転用してもよい | わからない | その他 |
|-------|--------|-----|------|--------------------------------------|------------------|--------------------------------------|-------------------------|-----------------------------------------|-------|-----|
| 1,770 | 1,726 | 36 | 8 | 1,095 | 863 | 286 | 257 | 204 | 109 | 35 |
| - | 100.0 | - | - | 63.4 | 50.0 | 16.6 | 14.9 | 11.8 | 6.3 | 2.0 |

農地のあり方について（複数回答）

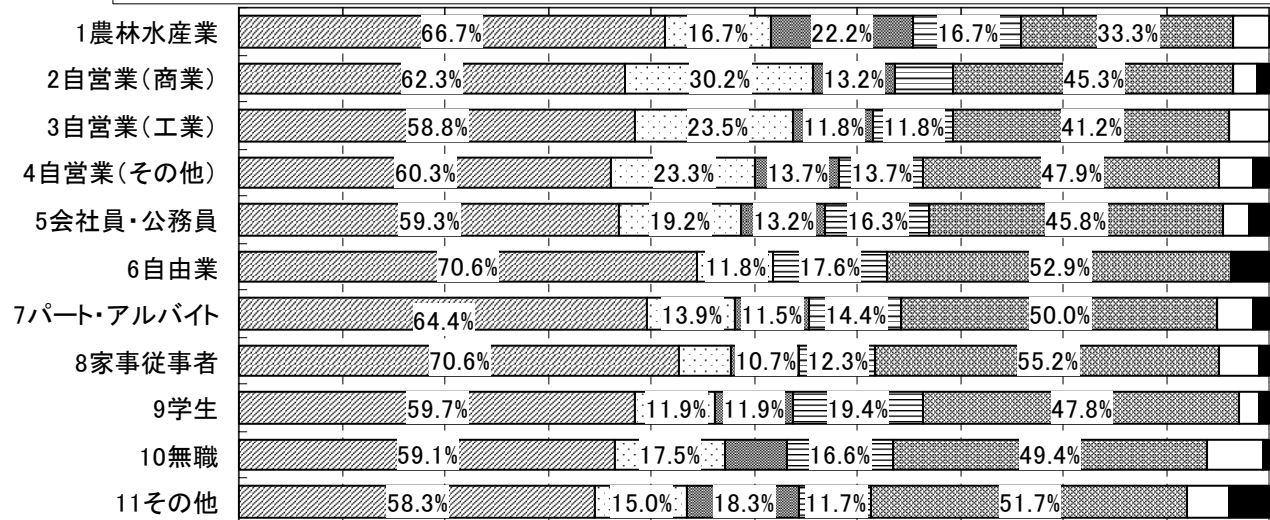


■職業別の意見

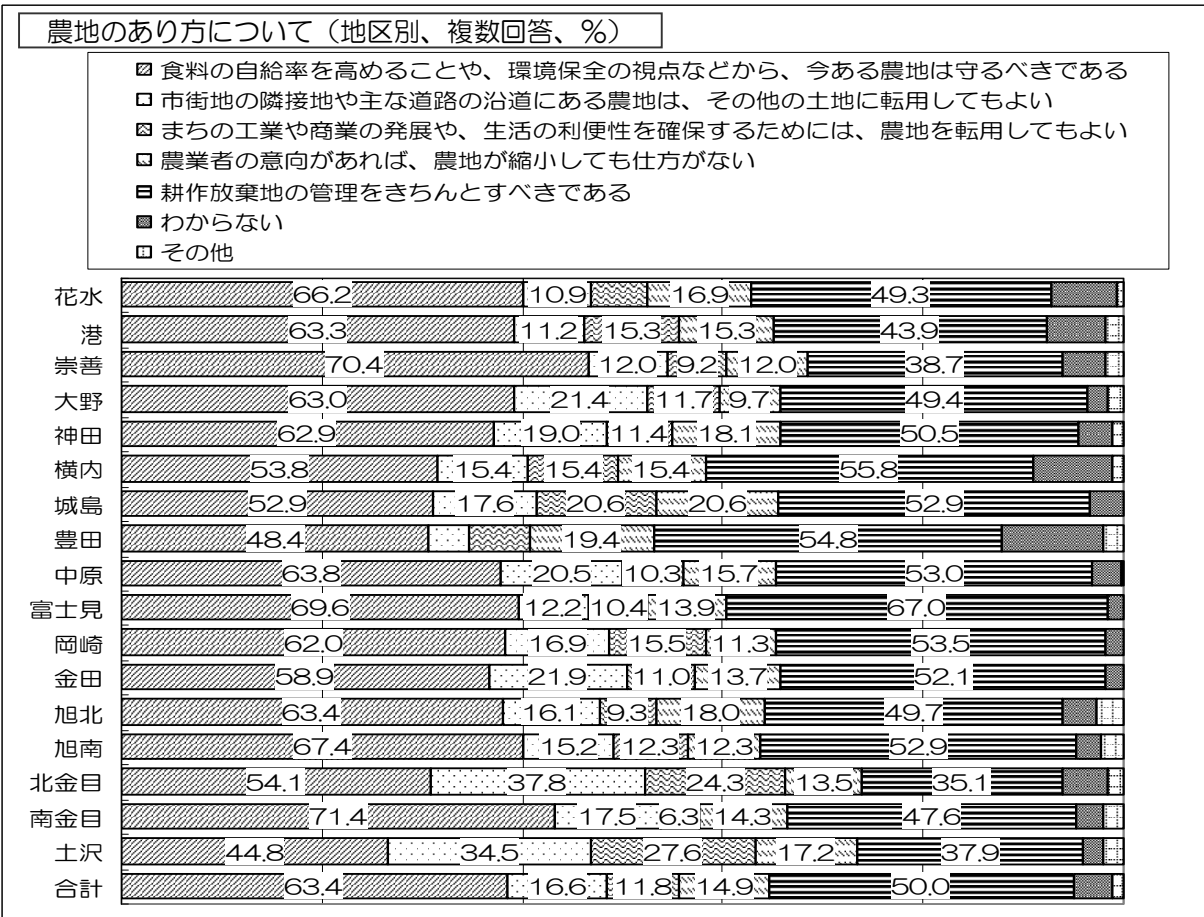
農林水産業の方は「守るべき」が多いものの、その他の土地への転用や農業者の意向による縮小を支持する意見も多く、他の職業の方よりも「耕作放棄地の管理」が少ない。

農地のあり方について（職業別、複数回答）

- ☑ 1 食料の自給率を高めることや、環境保全の視点などから、今ある農地は守るべきである
- 2 市街地の隣接地や主な道路の沿道にある農地は、その他の土地に転用してもよい
- 3 まちの工業や商業の発展や、生活の利便性を確保するためには、農地を転用してもよい
- ☐ 4 農業者の意向があれば、農地が縮小しても仕方ない
- 5 耕作放棄地の管理をきちんとすべきである
- 6 わからない
- 7 その他



■地区別の意見



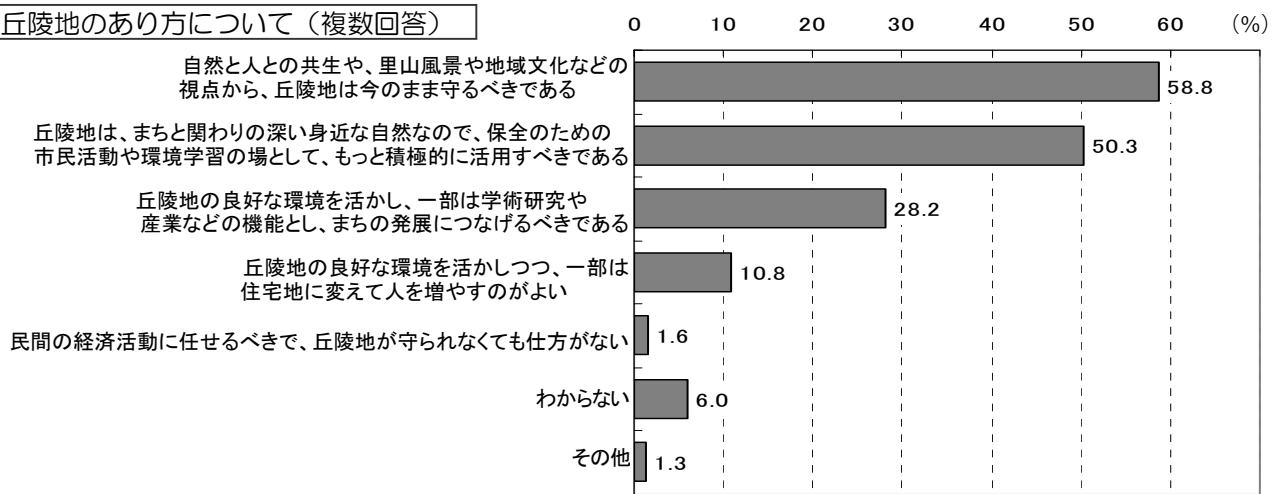
③平塚市の丘陵地のあり方について（複数回答（2つまで））

○丘陵地は、「いまのまま守るべき」、「学習の場などに活用すべき」が多い
 「環境の良い住宅地にする」、「守られなくてもしかたがない」は少ないが、「学術研究や産業のために活用すべき」は28%

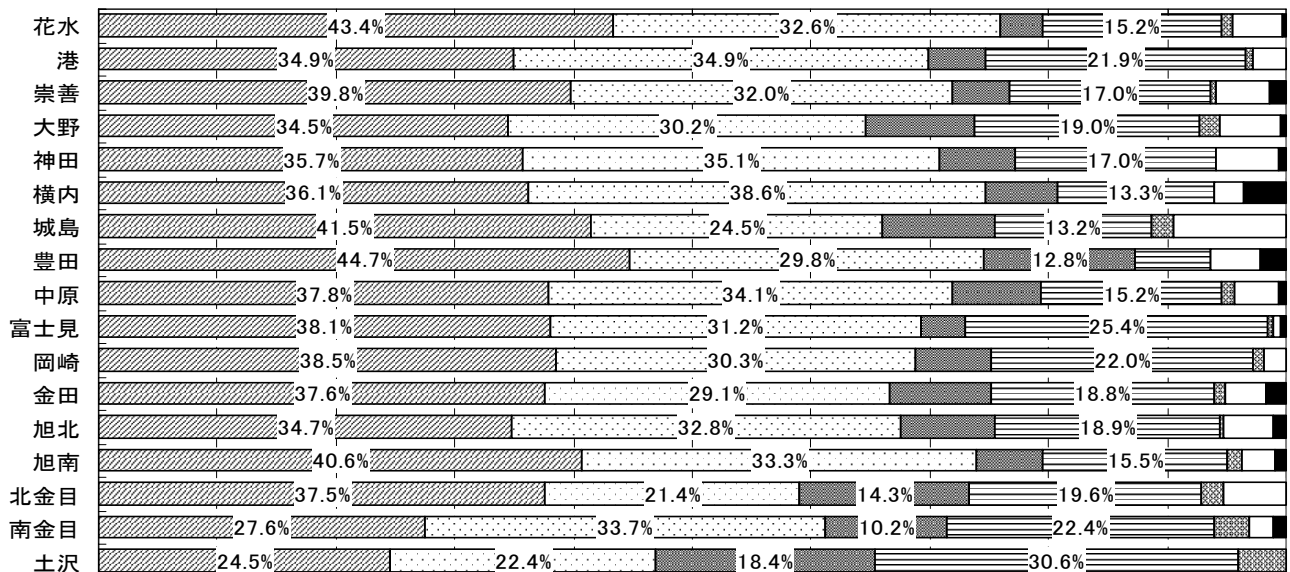
【丘陵地のあり方】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答者数 | 無回答 | 無効回答 | 自然と人との共生や、里山風景や地域文化などの視点から、丘陵地は今のまま守るべき | 丘陵地は、まちと関わりの深い身近な自然なので、保全のための市民活動や環境学習の場として、もっと積極的に活用すべき | 丘陵地の良好な環境を活かし、一部は学術研究や産業などの機能とし、まちの発展につなげるべき | 丘陵地の良好な環境を活かしつつ、一部は住宅地に変えて人を増やすのがよい | 民間の経済活動に任せるべきで、丘陵地が守られなくても仕方ない | わからない | その他 |
|-------|--------|-----|------|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|-------|-----|
| 1,770 | 1,725 | 45 | 0 | 1,014 | 867 | 486 | 186 | 27 | 103 | 22 |
| - | 100.0 | - | - | 58.8 | 50.3 | 28.2 | 10.8 | 1.6 | 6.0 | 1.3 |

丘陵地のあり方について（複数回答）



- 自然と人との共生や、里山風景や地域文化などの視点から、丘陵地は今のまま守るべき
 - 丘陵地は、まちと関わりの深い身近な自然なので、保全のための市民活動や環境学習の場として、もっと積極的に活用すべき
 - 丘陵地の良好な環境を活かしつつ、一部は住宅地に変えて人を増やすのがよい
 - 丘陵地の良好な環境を活かし、一部は学術研究や産業などの機能とし、まちの発展につなげるべき
 - 民間の経済活動に任せるべきで、丘陵地が守られなくても仕方ない
 - わからない
 - その他
- 土沢、南金目では「今のまま守るべき」より「活用すべき」という割合が他の地域より多い



7) 平塚市の「道路・交通」について (問4)

①道路・交通環境で「特に改善が必要である」もの (それぞれ複数回答 (いくつでも))

○自宅近くについては、
 歩く環境では「車や自転車のマナーが悪い」「歩道が設置されていない」「歩道が狭い」、
 自転車の環境では「自転車の走行空間が不足」、などに対する改善が特に望まれている

自宅近くの歩く環境で、特に改善が必要なものは、「車や自転車のマナーが悪い」が45%と最も多く、次いで「歩道が設置されていない」が36%、「歩道が狭い」が34%となっており、歩行空間の確保についての要望が多い。

その他、「車の交通量やスピードで危険」「路面の凹凸、段差および勾配」「電柱や標識が邪魔」が約30%を占めている。

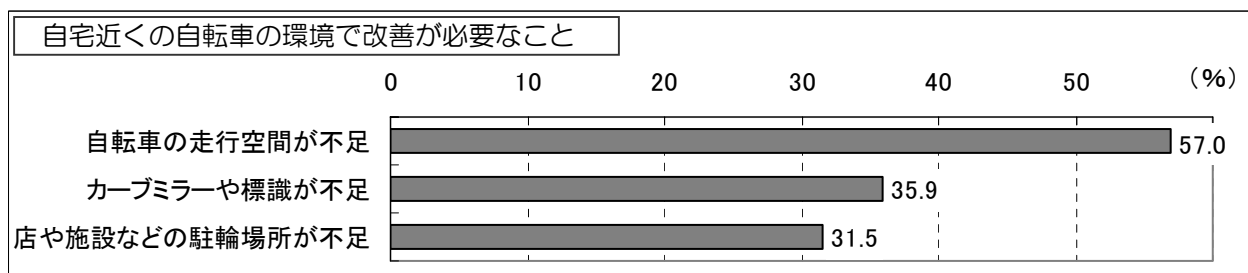
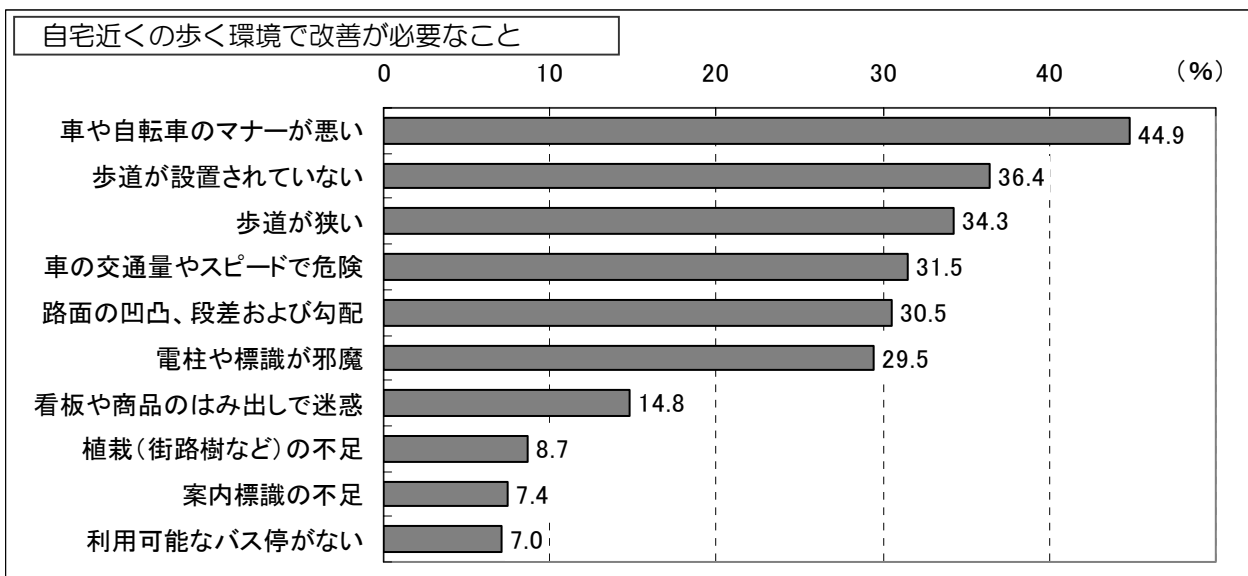
自宅近くの自転車の環境で、特に改善が必要なものは、「自転車の走行空間が不足」が57%と最も多く、走行空間の確保についての要望が多い。

【自宅近くの歩く環境の改善点】 (上段は票数 (票)、下段は割合 (%))

| 合計 | 有効回答者数 | 無回答 | 無効回答 | 車や自転車のマナーが悪い | 歩道が設置されていない | 歩道が狭い | 車の交通量やスピードで危険 | 路面の凹凸、段差および勾配 | 電柱や標識が邪魔 | 看板や商品のはみ出しで迷惑 | 植栽の不足 | 案内標識の不足 | 利用可能なバス停がない |
|-------|--------|-----|------|--------------|-------------|-------|---------------|---------------|----------|---------------|-------|---------|-------------|
| 1,770 | 1,604 | 166 | 0 | 720 | 584 | 550 | 505 | 489 | 473 | 237 | 139 | 119 | 113 |
| - | 100.0 | - | - | 44.9 | 36.4 | 34.3 | 31.5 | 30.5 | 29.5 | 14.8 | 8.7 | 7.4 | 7.0 |

【自宅近くの自転車の環境の改善点】 (上段は票数 (票)、下段は割合 (%))

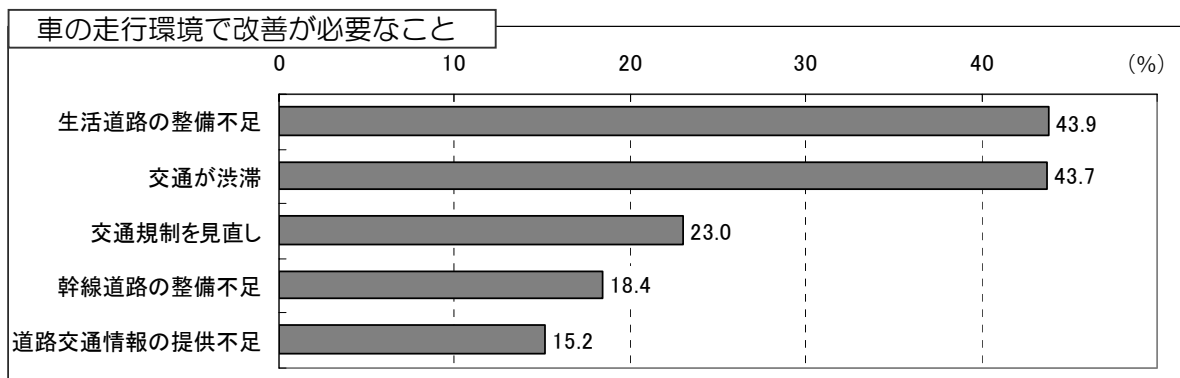
| 合計 | 有効回答者数 | 無回答 | 無効回答 | 自転車の走行空間が不足 | カーブミラーや標識が不足 | 店や施設などの駐輪場所が不足 |
|-------|--------|-----|------|-------------|--------------|----------------|
| 1,770 | 1,327 | 443 | 0 | 756 | 477 | 418 |
| - | 100.0 | - | - | 57.0 | 35.9 | 31.5 |



○車の走行環境では、主に「交通渋滞」「生活道路整備」に対する改善が望まれている

【車の走行環境の改善点】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答者数 | 無回答 | 無効回答 | 生活道路の整備不足 | 交通が渋滞 | 交通規制を見直し | 幹線道路の整備不足 | 道路交通情報の提供不足 |
|-------|--------|-----|------|-----------|-------|----------|-----------|-------------|
| 1,770 | 1,172 | 598 | 0 | 514 | 512 | 270 | 216 | 178 |
| - | 100.0 | - | - | 43.9 | 43.7 | 23.0 | 18.4 | 15.2 |



■地区別の意見（次頁図参照）

地区別では、通行空間の改善を必要とする地区と、駐輪環境の改善を必要とする地区に大別される。

【自宅近くの歩行環境】（上位項目について、割合は地区毎の意見総数に対して）

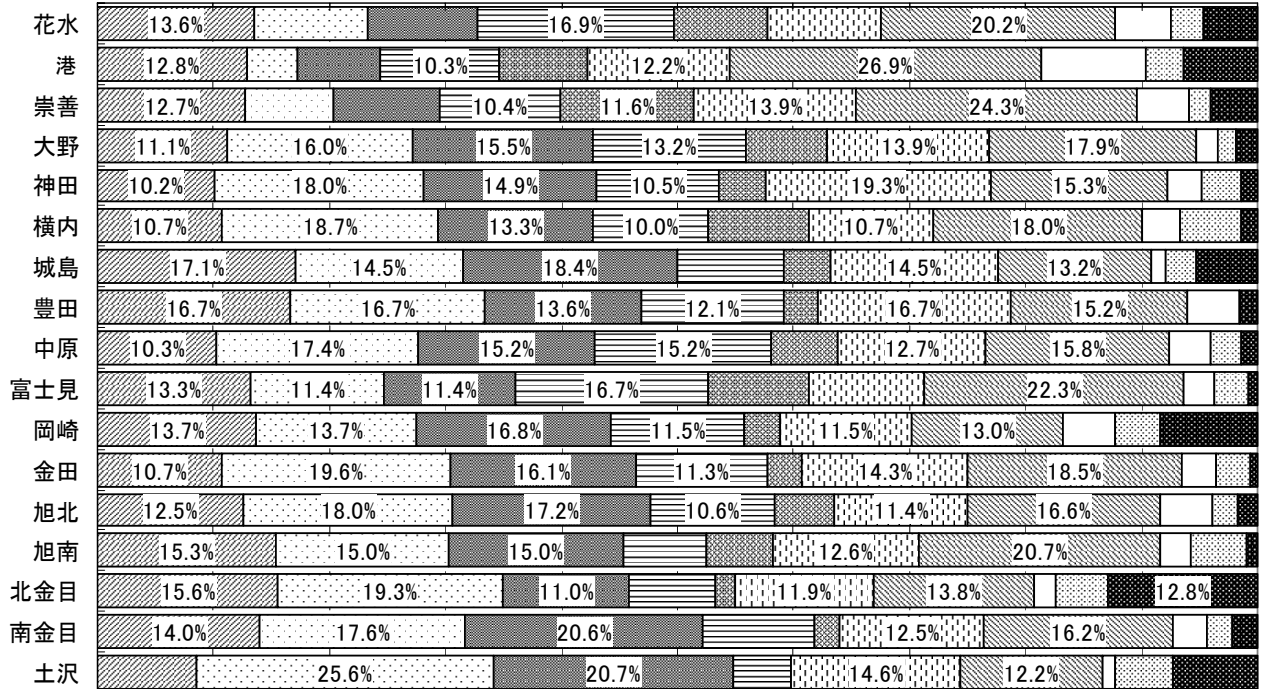
| 項目 | 意見の割合が高い地区 | 意見の割合が低い地区 |
|---------------|------------------|-------------------|
| 車や自転車のマナーが悪い | 港、崇善、富士見で 22%以上 | 土沢、岡崎、城島で 13%以下 |
| 歩道が設置されていない | 土沢、金田、北金目で 19%以上 | 港、崇善、花水で 10%以下 |
| 歩道が狭い | 土沢、南金目、城島で 18%以上 | 港、崇善、花水で 10%以下 |
| 車の交通量やスピードで危険 | 神田 19%、豊田 17%など | 花水、富士見、横内で 11%以下 |
| 路面の凹凸、段差および勾配 | 城島、豊田、北金目で 16%以上 | 土沢、神田、中原で 10%以下 |
| 電柱や標識が邪魔 | 花水、富士見、中原で 15%以上 | 土沢、旭南、南金目等で 10%以下 |

【自転車や車の走行環境】（上位の項目について、割合は地区毎の意見総数に対して）

| | | |
|-------------|------------------|----------------|
| 自転車の走行空間が不足 | 金田、大野、城島等で 27%以上 | 港、崇善で 12%以下 |
| 生活道路の整備不足 | 豊田で 29%、北金目で 24% | 港、崇善で 10%以下 |
| 交通が渋滞 | 南金目で 26%、旭北で 22% | 城島、大野で 10.2%以下 |

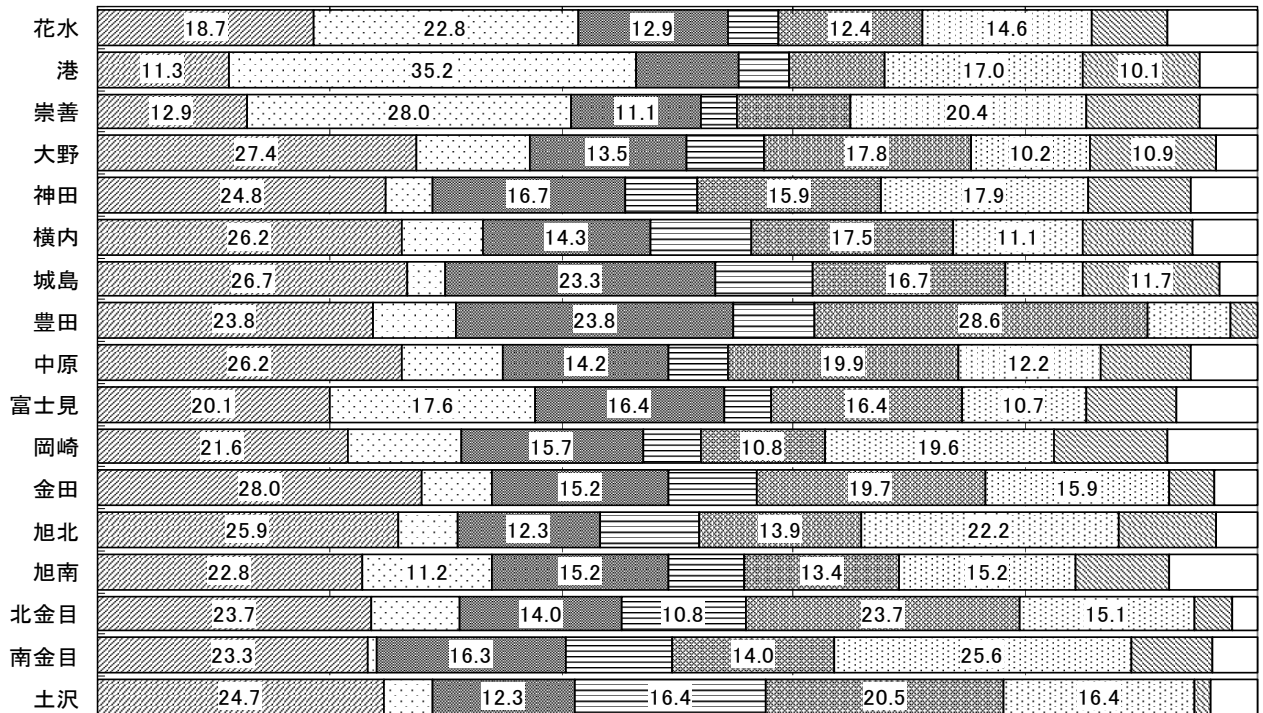
地区別の意見（自宅近くの歩く環境で改善が必要なこと）

- 路面の凹凸、段差および勾配
- 歩道が設置されていない
- 歩道が狭い
- 電柱や標識が邪魔
- 看板や商品のはみ出しで迷惑
- 車の交通量やスピードで危険
- 車や自転車のマナーが悪い
- 植栽（街路樹など）の不足
- 案内標識の不足
- 利用可能なバス停がない



地区別の意見（自宅近くの自転車の環境、及び車の走行環境で改善が必要なこと）

- 自転車の走行空間が不足
- 店や施設などの駐輪場所が不足
- 自転車用のミラーや標識が不足
- 幹線道路の整備不足
- 生活道路の整備不足
- 交通が渋滞
- 交通規制を見直し
- 道路交通情報の提供不足



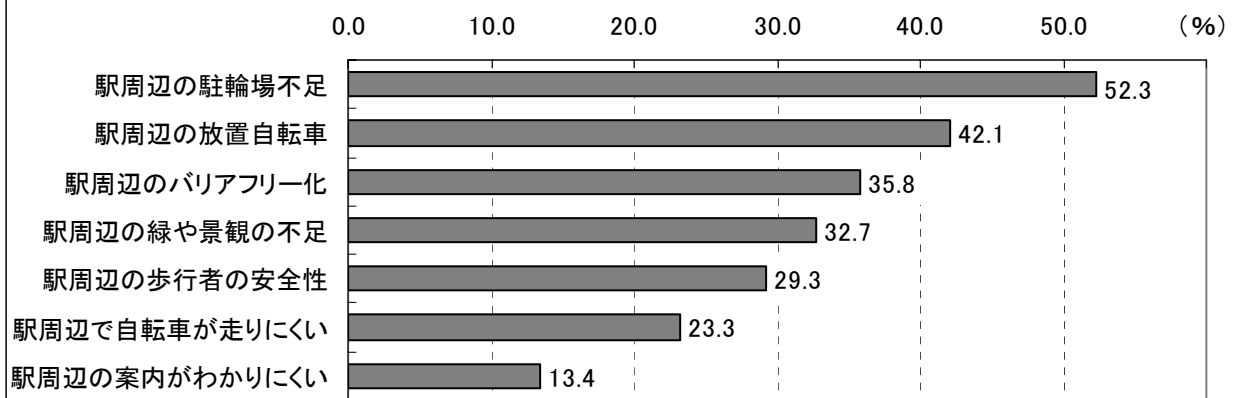
○平塚駅周辺の交通環境では、駐輪環境やバリアフリーに対する改善が望まれている

平塚駅周辺の交通環境で、特に改善が必要なものは、「駅周辺の駐輪場不足」が53%と最も多く、次いで「駅周辺の放置自転車」が43%、「駅周辺のバリアフリー化」が36%を占めている。「緑や景観」及び「歩行者の安全性」についても約30%の人が、改善が必要としている。

【平塚駅周辺の交通環境の改善点】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答者数 | 無回答 | 無効回答 | 駐輪場不足 | 放置自転車 | バリアフリー化 | 緑や景観の不足 | 歩行者の安全性 | 自転車が走りにくい | 案内がわかりにくい | バスやタクシーが利用しにくい |
|-------|--------|-----|------|-------|-------|---------|---------|---------|-----------|-----------|----------------|
| 1,770 | 1,629 | 141 | 0 | 852 | 685 | 583 | 533 | 477 | 379 | 218 | 112 |
| - | 100.0 | - | - | 52.3 | 42.1 | 35.8 | 32.7 | 29.3 | 23.3 | 13.4 | 6.9 |

平塚駅周辺の交通環境で改善が必要なこと

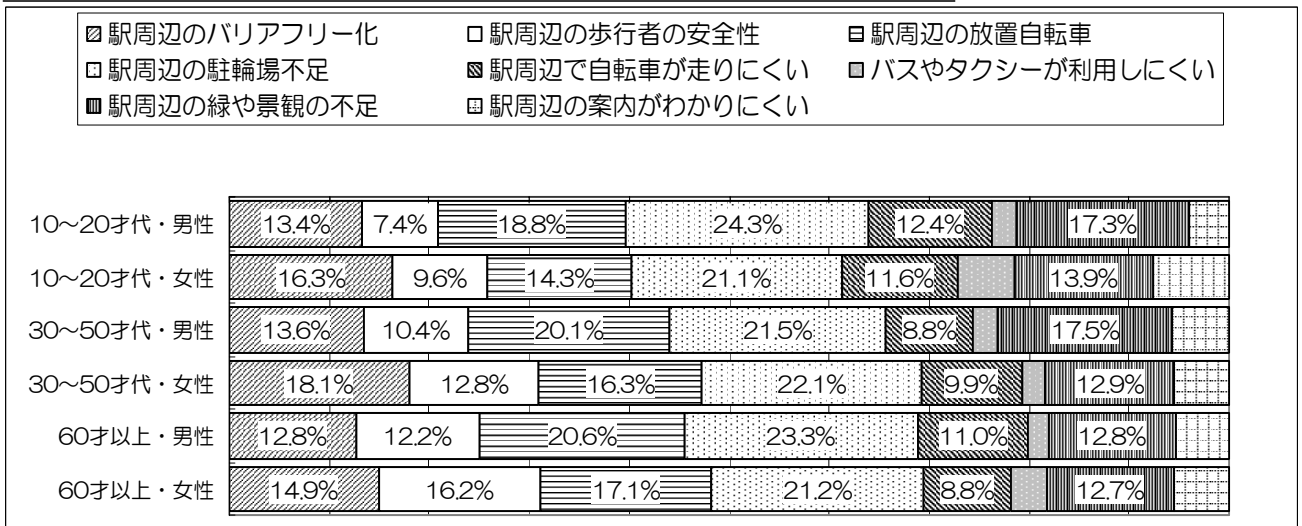


■世代別・性別の意見（図中の値は、属性別意見総数に対する割合）

各世代・性別毎で改善の必要性を指摘している割合が高いのは以下の通りである。

- ・バリアフリー化：60歳以下の女性
- ・歩行者の安全性：60歳以上の女性
- ・放置自転車：60歳以上の男性
- ・バスやタクシーの利用しにくさ：女性より男性
- ・緑や景観の不足：60歳以下の男性

平塚駅周辺の交通環境で改善が必要なこと（世代別・性別、複数回答）



②鉄道・バスで「特に改善が必要である」もの（複数回答（いくつでも））

○鉄道・バスで特に改善が必要と思われるものは、
 鉄道……通勤通学時の混雑
 バス……バス停施設、運行本数、定時制
 平塚駅……一般車の乗降場所、高齢者などの送迎車の乗降場所など、自家用車の送迎動線・場所
 に対するものが、歩く環境より問題とされている

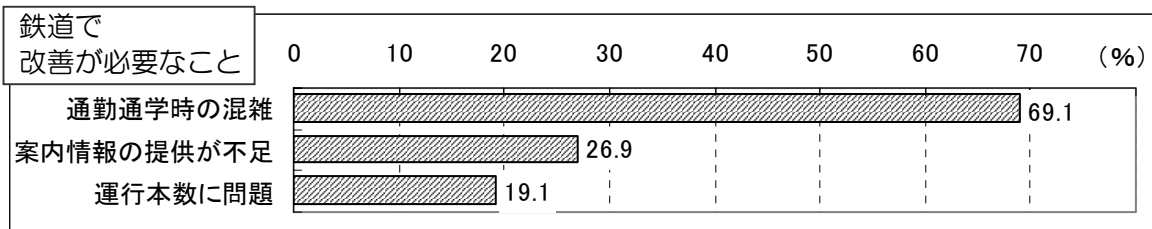
鉄道で特に改善が必要なものは、「通勤通学時の混雑」が69%と最も多く、次いで「案内情報の提供が不足」が27%を占める。

バスで特に改善が必要なものは、「バス停の施設（上屋やベンチ）不足」「運行本数が少ない」「時刻どおりに来ない」がそれぞれ40%。

平塚駅で特に改善が必要なものは、「一般車の乗降場所に問題」が48%、「高齢者などを送迎する車の乗降場所」が46%、「駅前広場の機能」が38%。

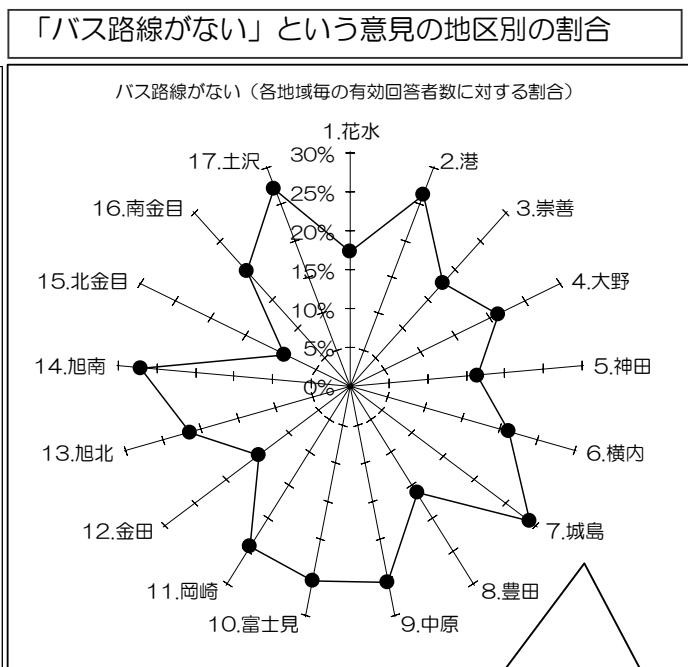
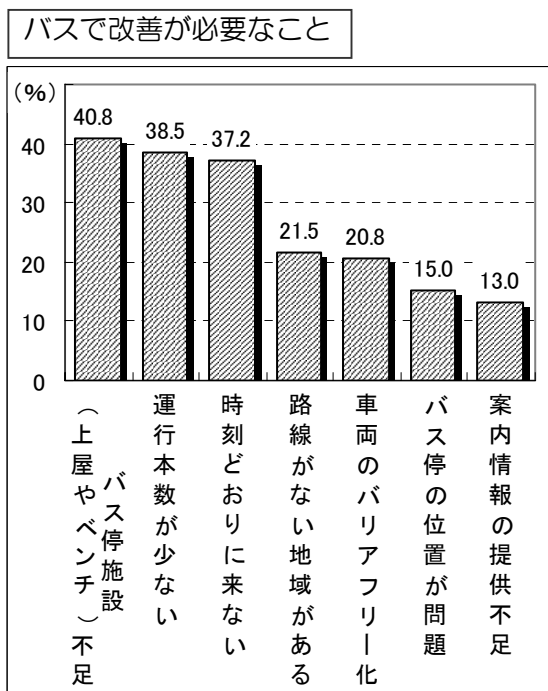
【鉄道の改善点】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答者数 | 無回答 | 無効回答 | 通勤通学時の混雑 | 案内情報の提供が不足 | 運行本数に問題 |
|-------|--------|-----|------|----------|------------|---------|
| 1,770 | 795 | 975 | 0 | 549 | 214 | 152 |
| - | 100.0 | - | - | 69.1 | 26.9 | 19.1 |



【バスの改善点】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

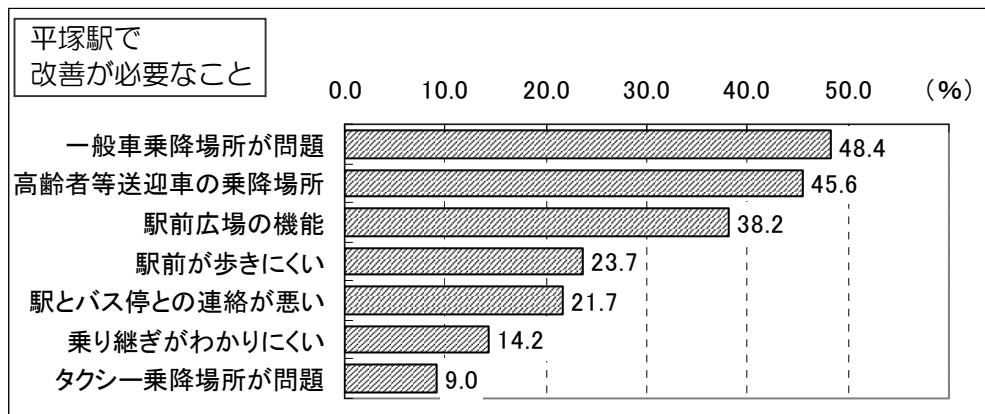
| 合計 | 有効回答者数 | 無回答 | 無効回答 | バス停の施設（上屋やベンチ）不足 | 運行本数が少ない | 時刻どおりに来ない | 路線がない地域がある | 車両のバリアフリー化 | バス停の位置が問題 | 案内情報の提供不足 |
|-------|--------|-----|------|------------------|----------|-----------|------------|------------|-----------|-----------|
| 1,770 | 1,383 | 387 | 0 | 564 | 533 | 515 | 298 | 287 | 208 | 180 |
| - | 100.0 | - | - | 40.8 | 38.5 | 37.2 | 21.5 | 20.8 | 15.0 | 13.0 |



城島、旭南、土沢などで「バスが少ない」という意見が多い。北金目、金田、豊田、花水、神田などでは少ない

【平塚駅の改善点】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

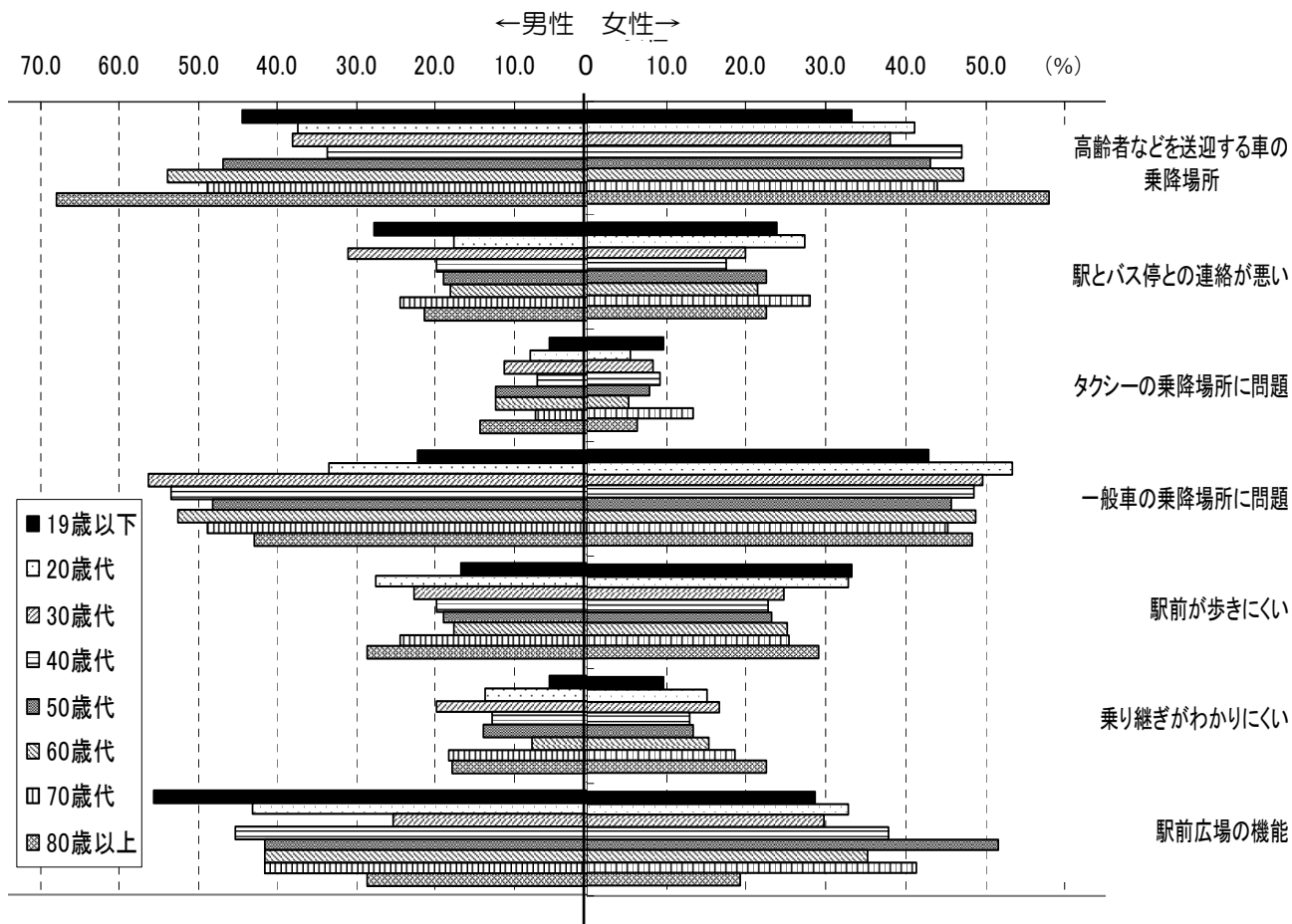
| 合計 | 有効回答者数 | 無回答 | 無効回答 | 一般車の乗降場所が問題 | 高齢者などを送迎する車の乗降場所 | 駅前広場の機能 | 駅前が歩きにくい | 駅とバス停との連絡が悪い | 乗り継ぎがわかりにくい | タクシーの乗降場所が問題 |
|-------|--------|-----|------|-------------|------------------|---------|----------|--------------|-------------|--------------|
| 1,770 | 1,470 | 300 | 0 | 711 | 670 | 561 | 348 | 319 | 209 | 133 |
| - | 100.0 | - | - | 48.4 | 45.6 | 38.2 | 23.7 | 21.7 | 14.2 | 9.0 |



■年代別、性別の意見（各性別世代別の有効回答者数に対する割合）

各世代別性別毎で、改善の必要性を指摘している割合が高いのは以下の通りである。

- ・ 高齢者などの送迎場所は、80歳以上の高齢者が特に改善が必要としている
- ・ 駅とバス停の連絡は、ばらつきはあるものの概ね各属性の2～3割が指摘
- ・ 一般車の乗降場所は、男性の方がやや指摘する割合が高い
- ・ 駅前の歩きにくさは、30歳未満の女性の要望が高い
- ・ 駅前広場の機能は、10代の男性の要望が高い

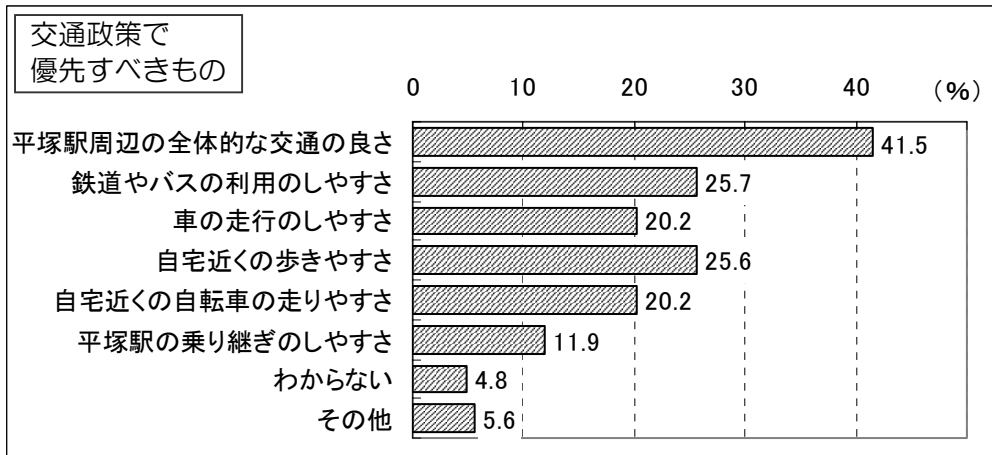


③今後の交通政策で優先すべきもの（複数回答（2つまで））

○今後の交通政策では「平塚駅周辺の全体的な交通の良さ」への意見が特に多い
 次いで、「鉄道やバスの利用のしやすさ」「車の走行のしやすさ」「自宅近くの歩きやすさ」など

【今後の交通政策で優先すべきもの】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答者数 | 無回答 | 無効回答 | 平塚駅周辺の全体的な交通の良さ | 鉄道やバスの利用のしやすさ | 自宅近くの歩きやすさ | 自宅近くの自転車の走りやすさ | 車の走行のしやすさ | 平塚駅の乗り継ぎのしやすさ | わからない | その他 |
|-------|--------|-----|------|-----------------|---------------|------------|----------------|-----------|---------------|-------|-----|
| 1,770 | 1,575 | 171 | 24 | 654 | 404 | 403 | 318 | 318 | 187 | 76 | 88 |
| - | 100.0 | - | - | 41.5 | 25.7 | 25.6 | 20.2 | 20.2 | 11.9 | 4.8 | 5.6 |

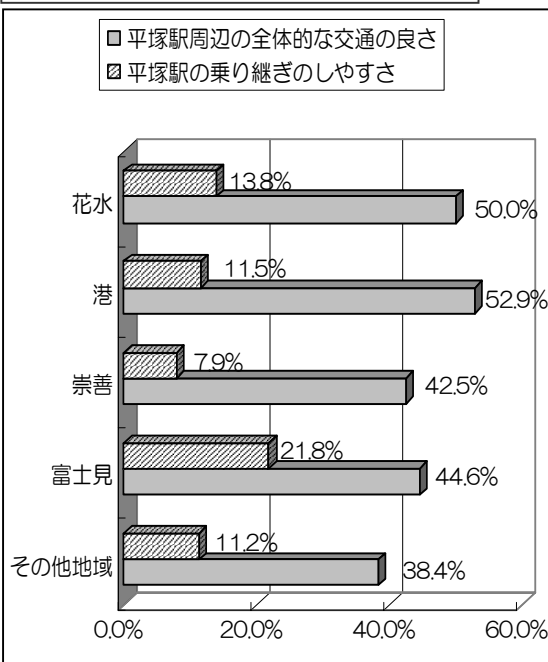


■地区別の意見（各地区毎の有効回答者数に対する割合）

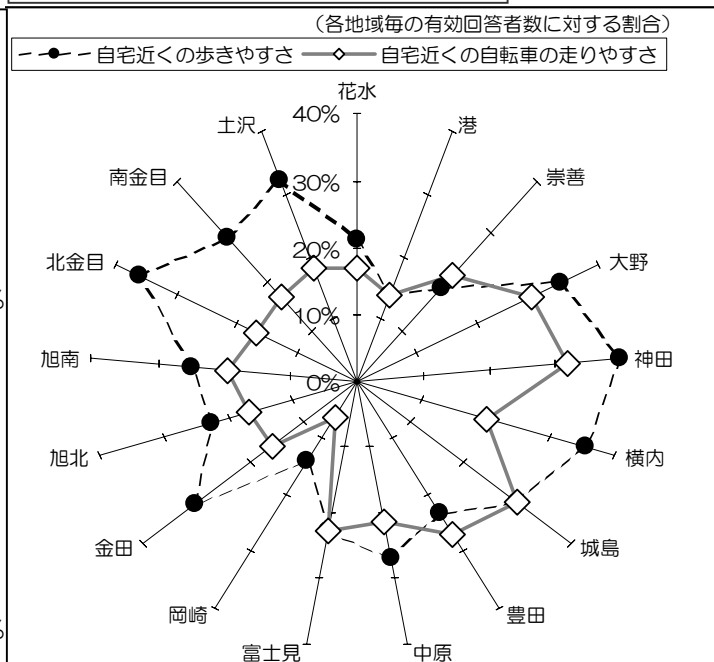
優先すべき交通政策についての、地区別の意見は以下のとおりである。

- ・ 駅周辺の全体的な交通の良さについては、駅南側地区で他の地区より割合が高い
- ・ 駅の乗り継ぎのしやすさについては、富士見地区での割合が高い
- ・ 自宅近くの歩きやすさは、駅周辺や岡崎で割合が低い
- ・ 自転車の走りやすさは、神田、城島などで割合が高く、岡崎と港などで低い
- ・ 自宅近くの歩きやすさと自転車の走りやすさは、地区別に必ずしも関連していない

駅周辺に関する地区別の主な意見



自宅近くに関する地区別の主な意見



8) 普段の「交通機関の利用」について（問5）

①各交通機関を利用する頻度（それぞれ単数回答）

○鉄道とバスは「年に数日」「月1～2日」とほとんど利用しない人が多く、一方、車と自転車は「週に4～5日以上」と毎日利用している人が多い。その他、タクシーとバイクは他と比較して「利用しない」人が多い。

鉄道の利用頻度は、「年に数日」が37%と最も多く、次いで「月1～2日」が25%を占めている。

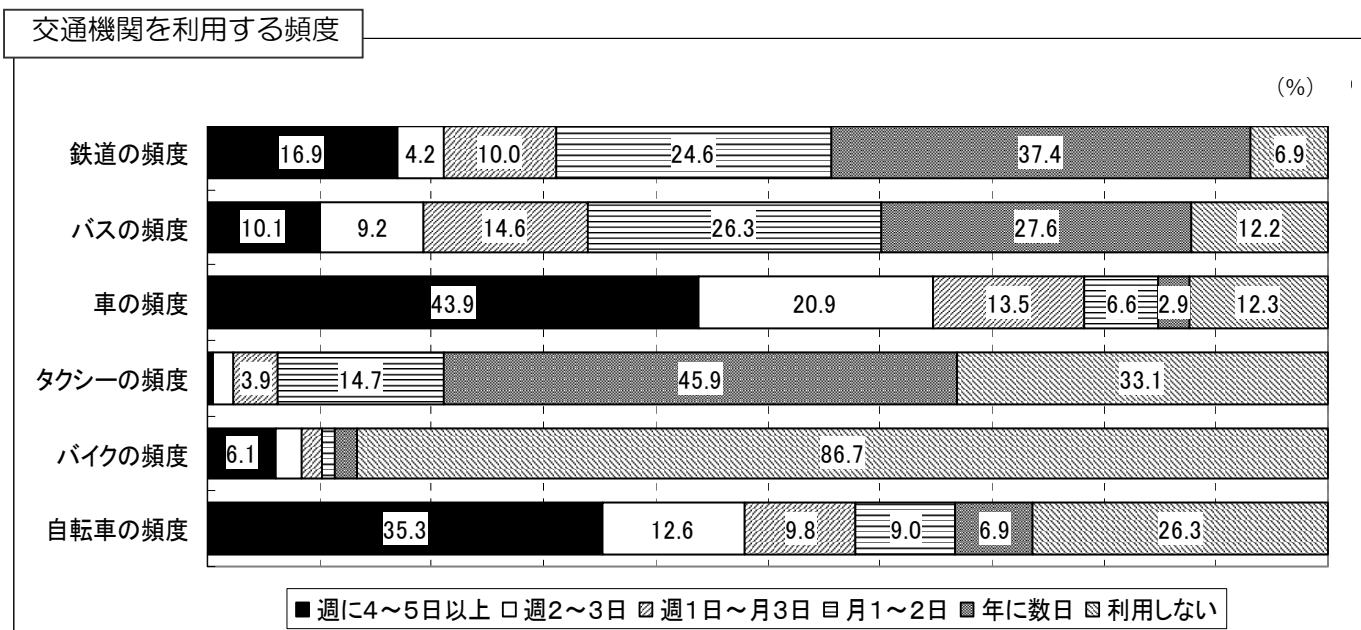
バスの利用頻度は、「年に数日」「月1～2日」が26～28%と多い。

車の利用頻度は、「週に4～5日以上」が44%と最も高く、次いで「週2～3日」が21%を占めている。

タクシーの利用頻度は、「年に数日」が46%と最も多く、次いで「利用しない」が33%を占めている。

バイクの利用頻度は、「利用しない」が87%と、殆どの人が利用していない状況である。

自転車の利用頻度は、「週に4～5日以上」が35%と最も多く、次いで「利用しない」が26%を占めている。



■各交通機関を利用する頻度－1（それぞれ単数回答、上段は票数（票）、下段は割合（%））

【鉄道の利用頻度】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答数 | 無回答 | 無効回答 | 年に数日 | 月1～2日 | 週に4～5日以上 | 週1日～月3日 | 利用しない | 週2～3日 |
|-------|-------|-----|------|------|-------|----------|---------|-------|-------|
| 1,770 | 1,635 | 134 | 1 | 611 | 402 | 277 | 164 | 113 | 68 |
| - | 100.0 | - | - | 37.4 | 24.6 | 16.9 | 10.0 | 6.9 | 4.2 |

【バスの利用頻度】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答数 | 無回答 | 無効回答 | 年に数日 | 月1～2日 | 週1日～月3日 | 利用しない | 週に4～5日以上 | 週2～3日 |
|-------|-------|-----|------|------|-------|---------|-------|----------|-------|
| 1,770 | 1,666 | 104 | 0 | 459 | 438 | 244 | 204 | 168 | 153 |
| - | 100.0 | - | - | 27.6 | 26.3 | 14.6 | 12.2 | 10.1 | 9.2 |

■各交通機関を利用する頻度－2（それぞれ単数回答、上段は票数（票）、下段は割合（%））

【車の利用頻度】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答数 | 無回答 | 無効回答 | 週に4～5日以上 | 週2～3日 | 週1日～月3日 | 利用しない | 月1～2日 | 年に数日 |
|-------|-------|-----|------|----------|-------|---------|-------|-------|------|
| 1,770 | 1,628 | 142 | 0 | 714 | 340 | 219 | 200 | 107 | 48 |
| - | 100.0 | - | - | 43.9 | 20.9 | 13.5 | 12.3 | 6.6 | 2.9 |

【タクシーの利用頻度】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答数 | 無回答 | 無効回答 | 年に数日 | 利用しない | 月1～2日 | 週1日～月3日 | 週2～3日 | 週に4～5日以上 |
|-------|-------|-----|------|------|-------|-------|---------|-------|----------|
| 1,770 | 1,608 | 162 | 0 | 738 | 532 | 237 | 63 | 31 | 7 |
| - | 100.0 | - | - | 45.9 | 33.1 | 14.7 | 3.9 | 1.9 | 0.4 |

【バイクの利用頻度】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答数 | 無回答 | 無効回答 | 利用しない | 週に4～5日以上 | 週2～3日 | 年に数日 | 週1日～月3日 | 月1～2日 |
|-------|-------|-----|------|-------|----------|-------|------|---------|-------|
| 1,770 | 1,561 | 209 | 0 | 1,353 | 95 | 37 | 30 | 28 | 18 |
| - | 100.0 | - | - | 86.7 | 6.1 | 2.4 | 1.9 | 1.8 | 1.2 |

【自転車の利用頻度】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

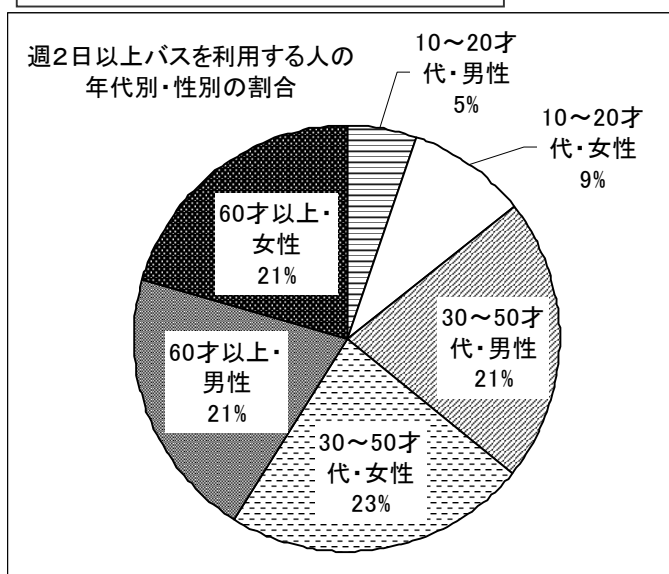
| 合計 | 有効回答数 | 無回答 | 無効回答 | 週に4～5日以上 | 利用しない | 週2～3日 | 週1日～月3日 | 月1～2日 | 年に数日 |
|-------|-------|-----|------|----------|-------|-------|---------|-------|------|
| 1,770 | 1,617 | 153 | 0 | 571 | 426 | 204 | 159 | 146 | 111 |
| - | 100.0 | - | - | 35.3 | 26.3 | 12.6 | 9.8 | 9.0 | 6.9 |

■世代別、性別のバス・自転車の利用状況

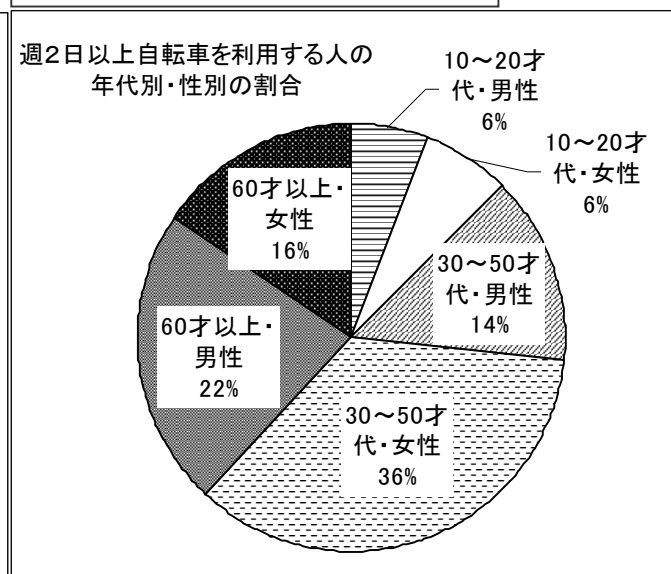
週2日以上バスを利用する人の世代別・性別人数の割合は、30～50歳代及び、60歳以上が各々42～44%を占める。10～20歳代の、特に男性の利用は少ない。

週2日以上自転車を利用する人の世代別・性別人数の割合は、30～50歳代の女性が多い。60歳以上では男性が多くなり、男女計で38%を占める。

世代別、性別のバス利用状況



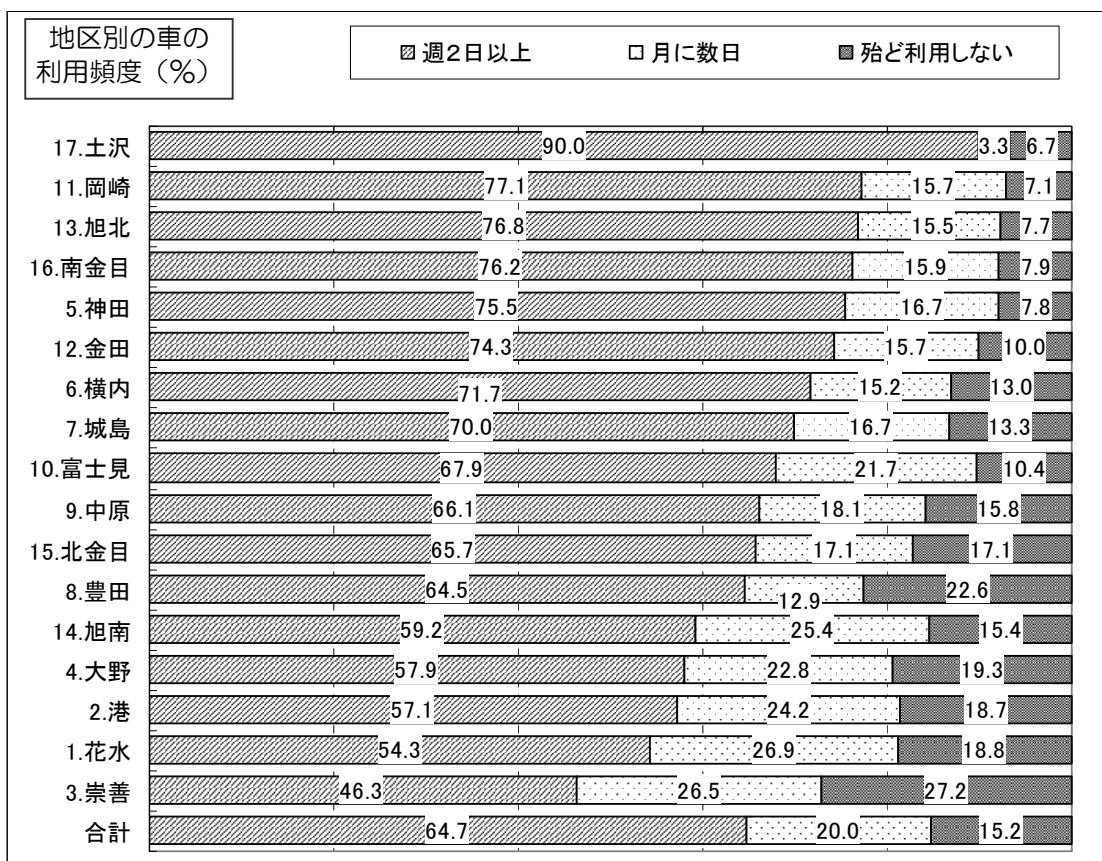
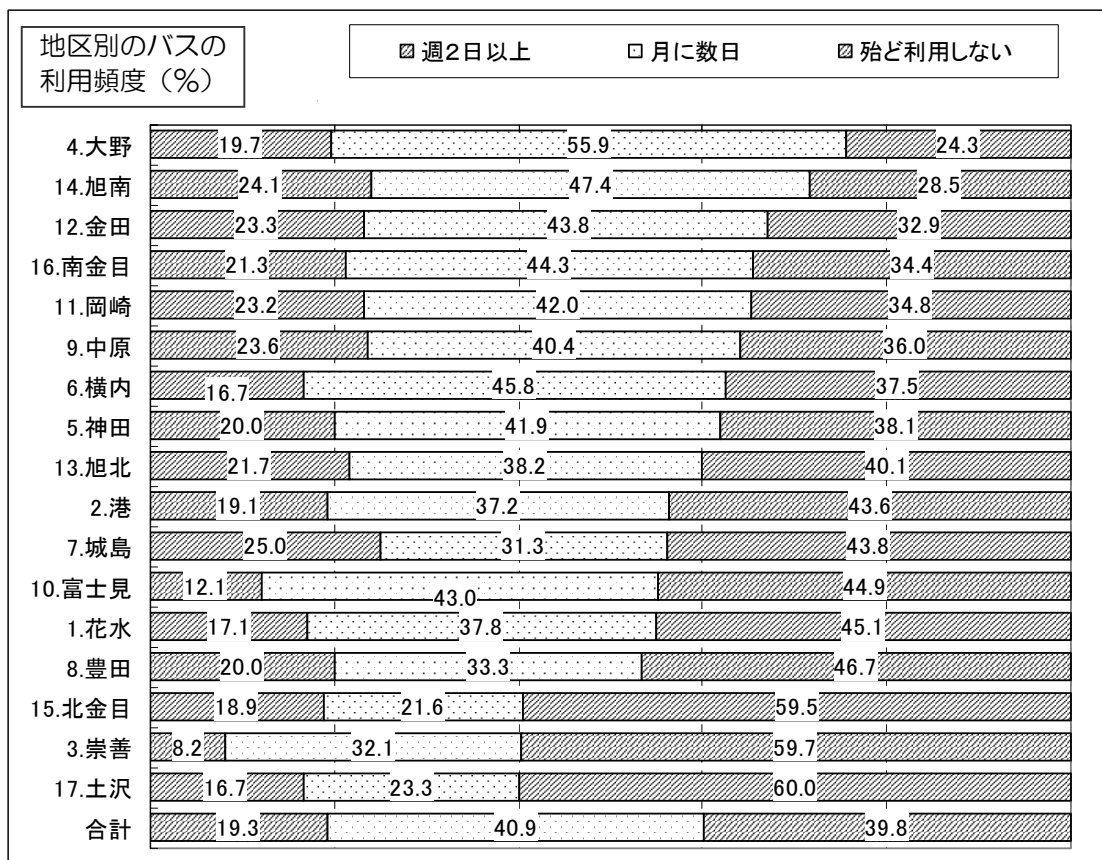
世代別、性別の自転車利用状況



■地区別の交通機関利用状況

バスを殆ど利用しない人は、24～60%と、地区別の違いが大きい。

また、車を週に2日以上利用する人も同様に、46～90%と、地区別の違いが大きい。



②週に1日以上「鉄道」を利用する方の最寄駅（それぞれ単数回答）

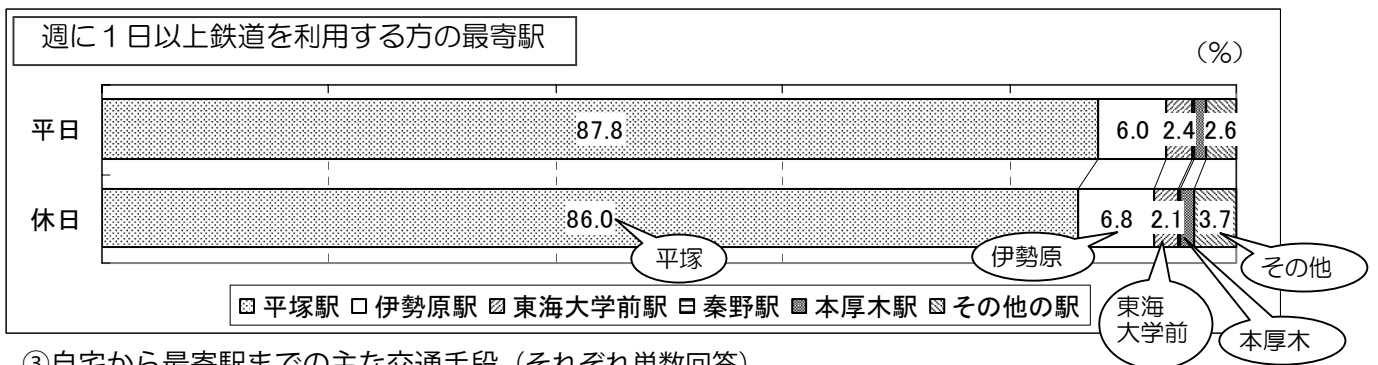
○平日・休日ともに86～88%の人が「平塚駅」を最寄駅として利用している。

【平日の利用駅】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答数 | 無回答 | 無効回答 | 平塚駅 | 伊勢原駅 | 東海大学前 駅 | 本厚木駅 | 秦野駅 | その他の駅 |
|-----|-------|-----|------|------|------|------------|------|-----|-------|
| 509 | 467 | 42 | 0 | 410 | 28 | 11 | 5 | 1 | 12 |
| - | 100.0 | - | - | 87.8 | 6.0 | 2.4 | 1.1 | 0.2 | 2.6 |

【休日の利用駅】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答数 | 無回答 | 無効回答 | 平塚駅 | 伊勢原駅 | 東海大学前 駅 | 本厚木駅 | 秦野駅 | その他の駅 |
|-----|-------|-----|------|------|------|------------|------|-----|-------|
| 509 | 429 | 79 | 1 | 369 | 29 | 9 | 5 | 1 | 16 |
| - | 100.0 | - | - | 86.0 | 6.8 | 2.1 | 1.2 | 0.2 | 3.7 |



③自宅から最寄駅までの主な交通手段（それぞれ単数回答）

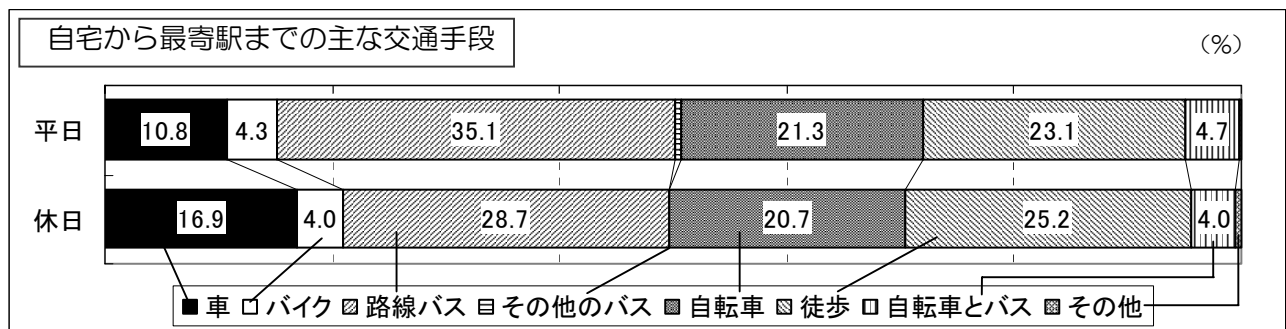
○最寄駅まで利用する交通手段としては、「路線バス」が平日35%、休日29%と最も多く、次いで「徒歩」が23～25%、「自転車」が21%を占めている。車の利用は平日11%、休日17%

【平日の最寄り駅までの主な交通手段】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答数 | 無回答 | 無効回答 | 路線バス | 徒歩 | 自転車 | 車 | 自転車と バス | バイク | その他の バス | その他 |
|-----|-------|-----|------|------|------|------|------|------------|-----|------------|-----|
| 467 | 464 | 0 | 3 | 163 | 107 | 99 | 50 | 22 | 20 | 2 | 1 |
| - | 100.0 | - | - | 35.1 | 23.1 | 21.3 | 10.8 | 4.7 | 4.3 | 0.4 | 0.2 |

【休日の最寄り駅までの主な交通手段】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答数 | 無回答 | 無効回答 | 路線バス | 徒歩 | 自転車 | 車 | 自転車と バス | バイク | その他の バス | その他 |
|-----|-------|-----|------|------|------|------|------|------------|-----|------------|-----|
| 429 | 425 | 3 | 1 | 122 | 107 | 88 | 72 | 17 | 17 | 0 | 2 |
| - | 100.0 | - | - | 28.7 | 25.2 | 20.7 | 16.9 | 4.0 | 4.0 | 0.0 | 0.5 |



■平塚駅以外の駅利用について

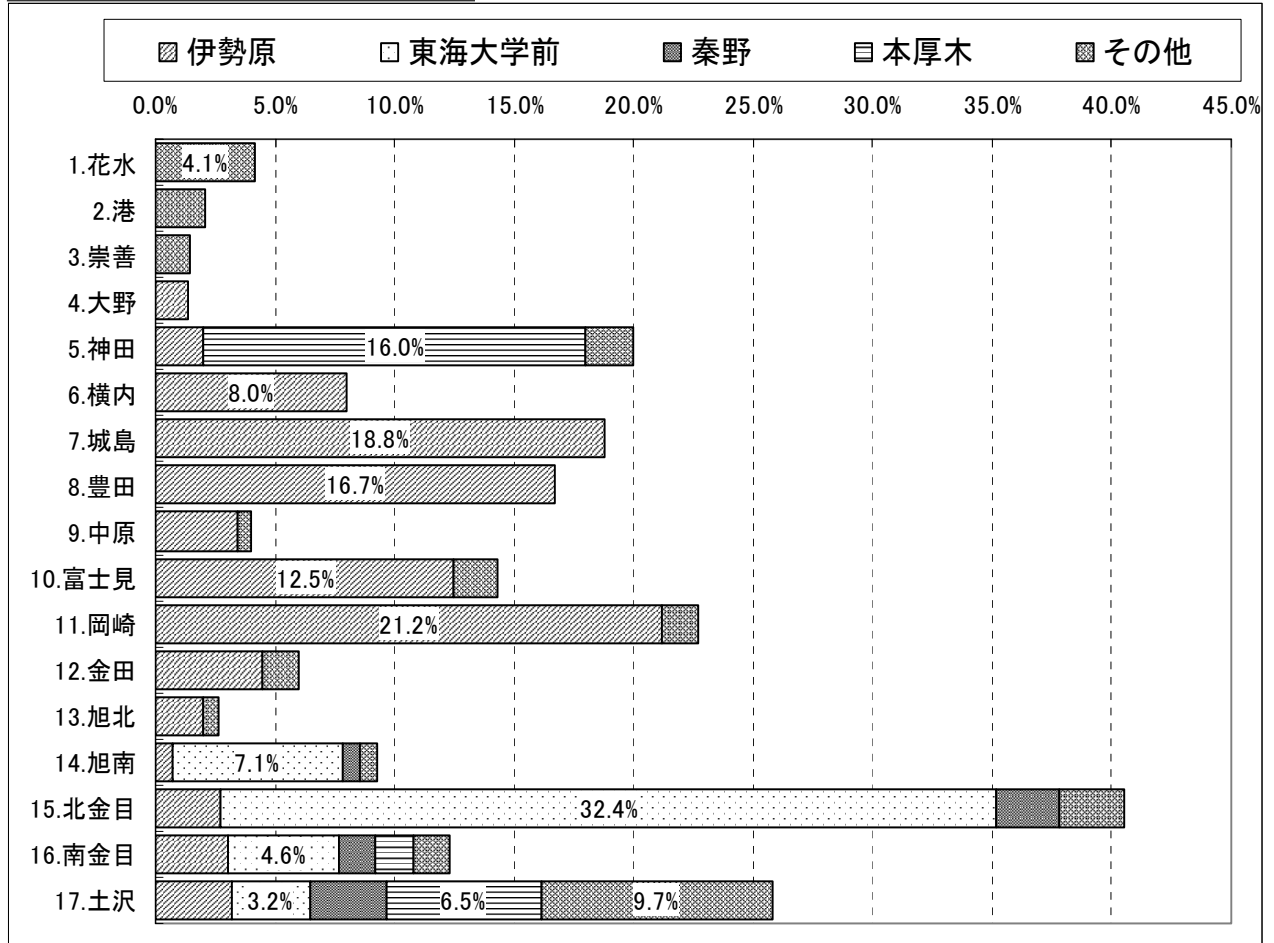
北金目で約 40%、土沢、岡崎、神田で約 20~25%は、平塚駅以外を利用している。

平塚駅以外の利用は、概ねの地区では伊勢原駅だが、北金目では東海大学前駅、神田では本厚木駅の利用が多い。

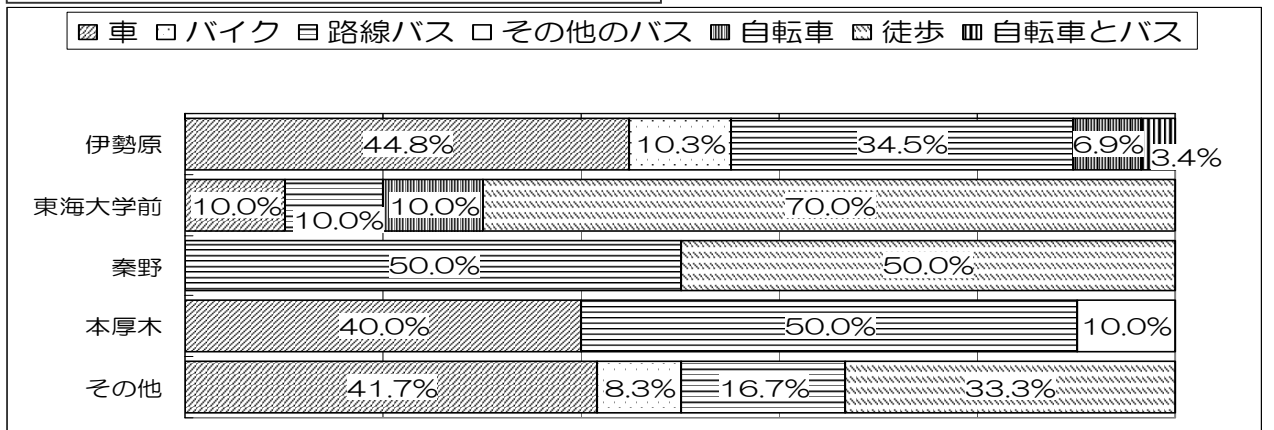
平塚、伊勢原、秦野、本厚木以外の駅の利用は、大半の地区で若干みられる。

東海大学前は徒歩が 70%、秦野は徒歩とバス、本厚木と伊勢原はバスと車で利用している。

地区別の駅利用状況（平塚駅以外）



自宅から最寄り駅までの交通手段（平塚駅以外）



9) 「公益的施設」について (問6)

①市内の公益的施設で、「特に改善が必要である」もの(複数回答(いくつでも))

○特に改善が必要なものとしては、公益的施設では「高齢者や障害者のための施設」42%、「文化施設(市民ホールなど)」36%が多い。自宅近くの公園では「公衆トイレ」が42%と最も多い

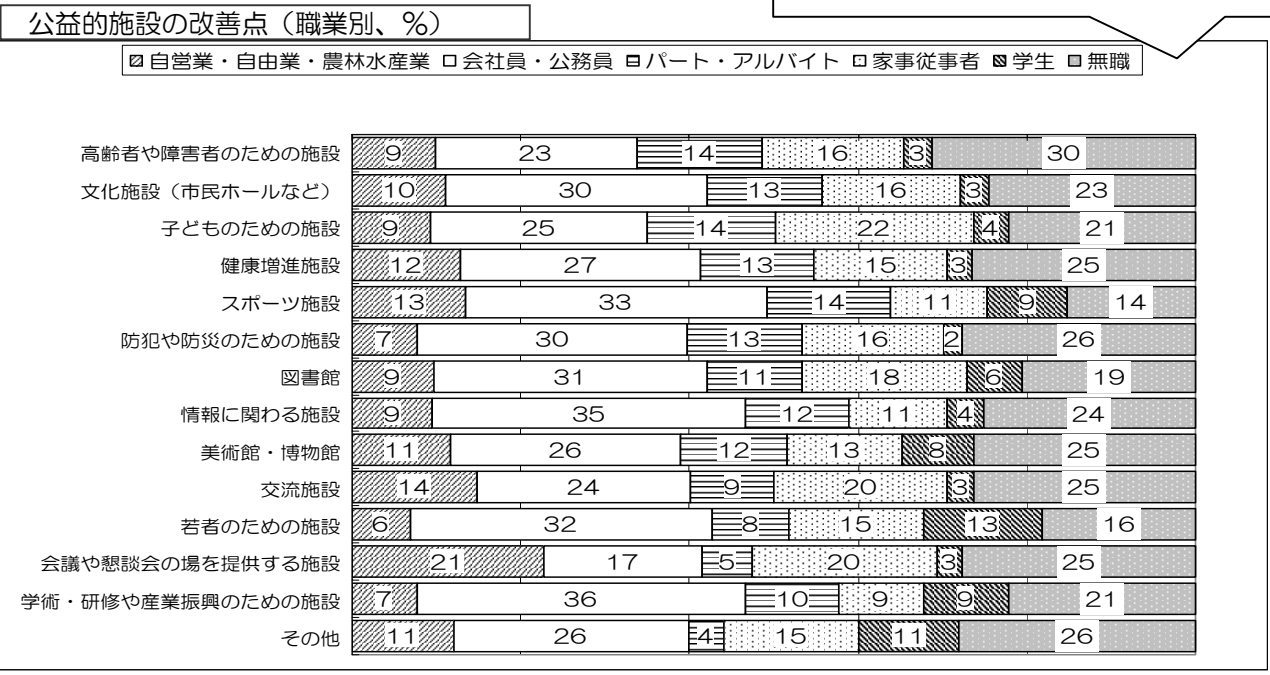
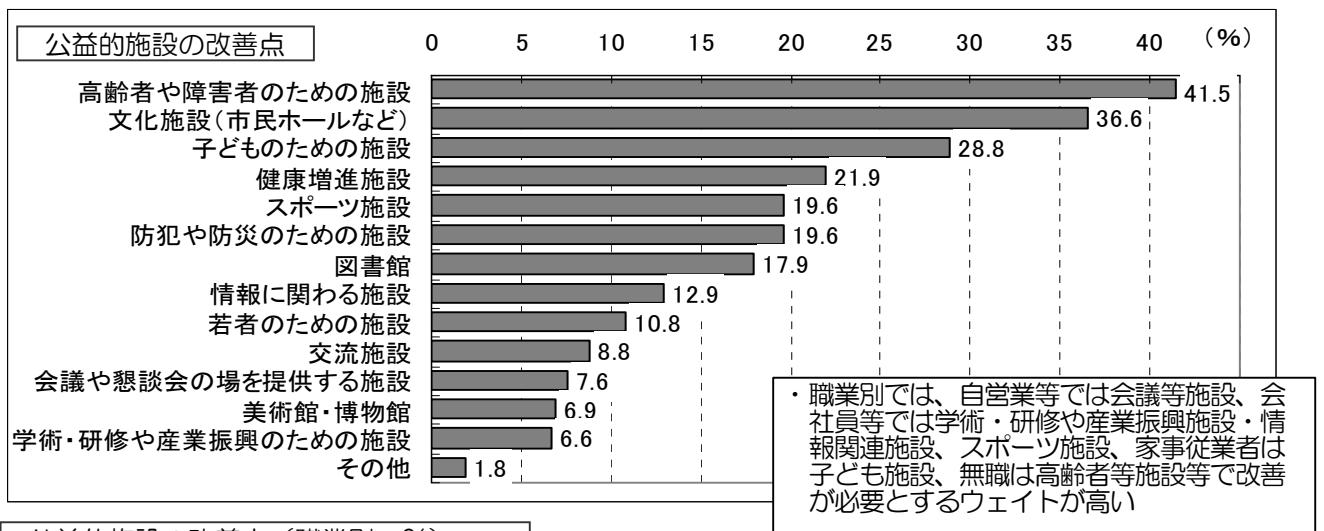
公益的施設の改善点としては、「高齢者や障害者のための施設」が42%と最も多く、次いで「文化施設(市民ホールなど)」が36%、「子どものための施設」が29%を占めている。

自宅近くの公園の改善点としては、「公衆トイレ」が43%と最も多く、次いで「適切な管理」、「安全への配慮」、「高齢者のための健康・運動施設など」が29~31%を占めている。

■公益的施設

【公益的施設の改善点】(上段は票数(票)、下段は割合(%))

| 合計 | 有効回答者数 | 無回答 | 無効回答 | 高齢者や障害者のための施設 | 文化施設(市民ホールなど) | 子どものための施設 | 健康増進施設 | スポーツ施設 | 防犯や防災のための施設 | 図書館 | 情報に関する施設 | 若者のための施設 | 交流施設 | 会議や懇談会の場を提供する施設 | 美術館・博物館 | 学術・研修や産業振興のための施設 | その他 |
|-------|--------|-----|------|---------------|---------------|-----------|--------|--------|-------------|------|----------|----------|------|-----------------|---------|------------------|-----|
| 1,770 | 1,461 | 309 | 0 | 606 | 534 | 421 | 320 | 287 | 286 | 262 | 189 | 158 | 128 | 111 | 101 | 97 | 27 |
| - | 100.0 | - | - | 41.5 | 36.6 | 28.8 | 21.9 | 19.6 | 19.6 | 17.9 | 12.9 | 10.8 | 8.8 | 7.6 | 6.9 | 6.6 | 1.8 |

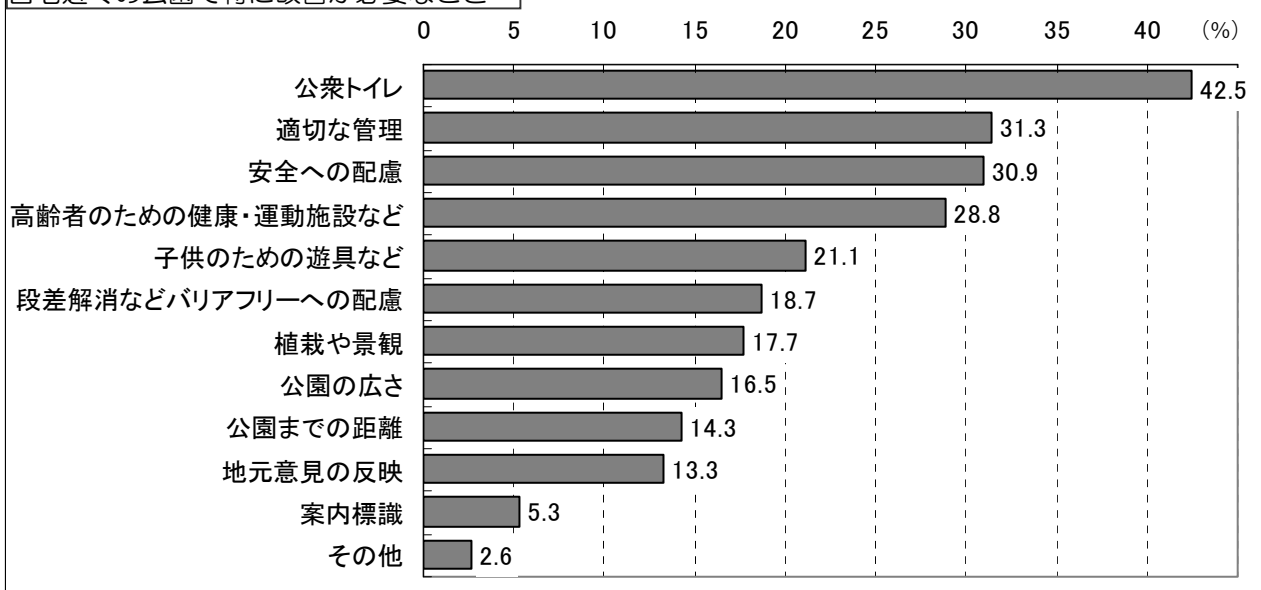


■自宅近くの公園

【自宅近くの公園の改善点】（上段は票数（票）、下段は割合（％））

| 合計 | 有効回答者数 | 無回答 | 無効回答 | 公衆トイレ | 適切な管理 | 安全への配慮 | 高齢者のための健康・運動施設など | 子供のための遊具など | 段差解消などバリアフリーへの配慮 | 植栽や景観 | 公園の広さ | 公園までの距離 | 地元意見の反映 | 案内標識 | その他 |
|-------|--------|-----|------|-------|-------|--------|------------------|------------|------------------|-------|-------|---------|---------|------|-----|
| 1,770 | 1,477 | 293 | 0 | 627 | 463 | 457 | 426 | 312 | 276 | 261 | 244 | 211 | 196 | 79 | 39 |
| - | 100.0 | - | - | 42.5 | 31.3 | 30.9 | 28.8 | 21.1 | 18.7 | 17.7 | 16.5 | 14.3 | 13.3 | 5.3 | 2.6 |

自宅近くの公園で特に改善が必要なこと

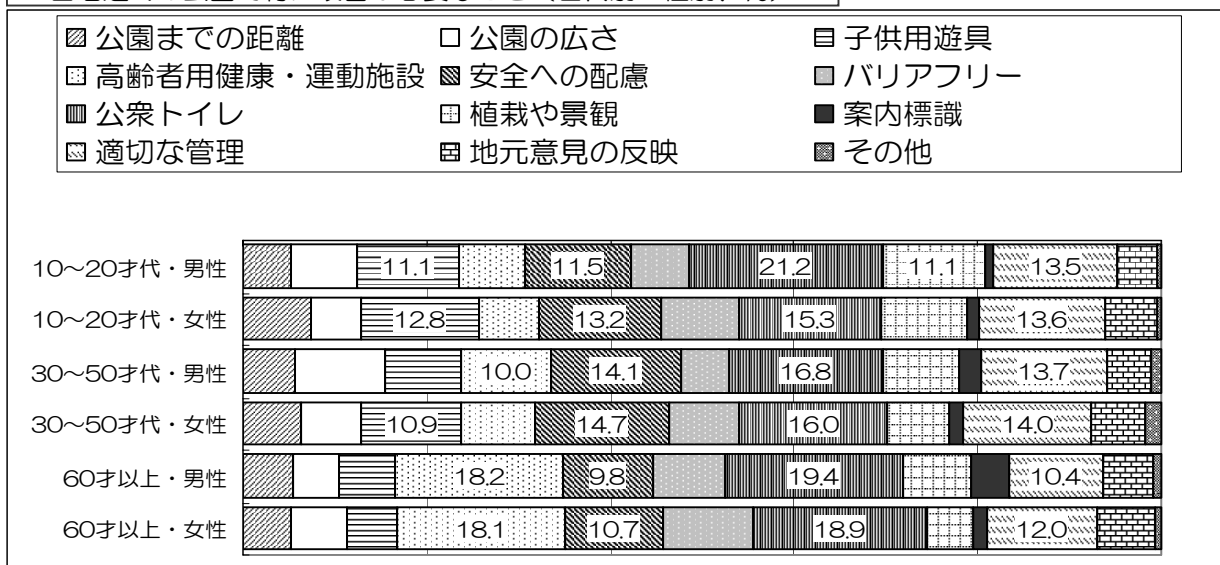


■世代別・性別の意見

若い男性や高齢者を筆頭に、各世代で公衆トイレの改善がトップにあげられた。

高齢者用運動施設は60歳以上の方（男女とも）、子供用遊具は30～50歳代の女性の方のウエイトが高い。また、安全への配慮については30～50歳代の関心が高く、植栽や景観への関心は、10～20歳代が高いなど、世代間の関心の違いがみられた。

自宅近くの公園で特に改善が必要なこと（世代別・性別、％）



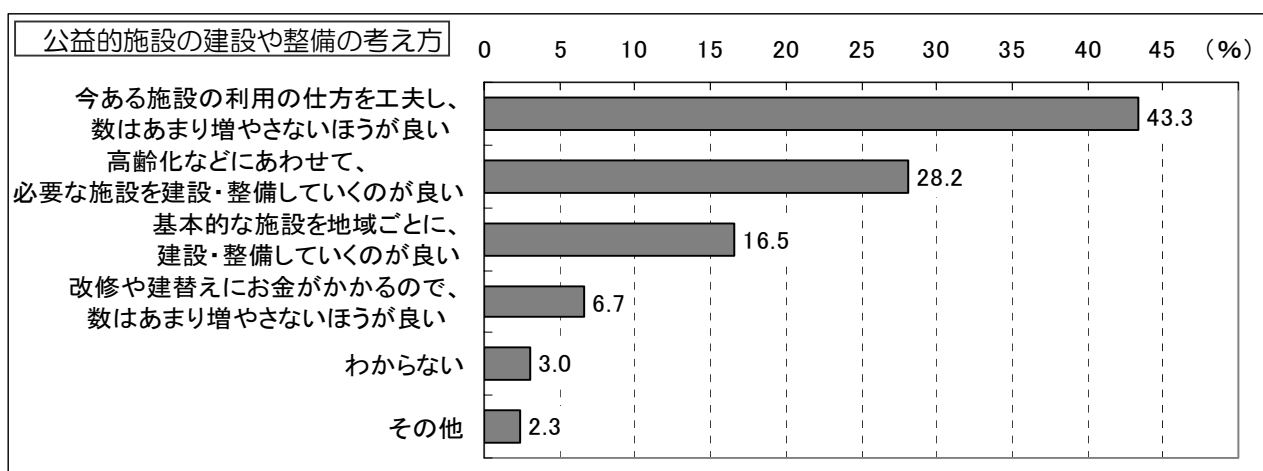
②今後の公益的施設の建設や整備の考え方（単数回答）

○「今ある施設の利用の仕方を工夫し、数はあまり増やさないほうが良い」が43%と最も多い

今後の公益的施設の建設や整備の考え方として、上記回答が43%と最も多く、次いで「高齢化などにあわせて、必要な施設を建設・整備していくのが良い」が29%を占めている。

【今後の公益的施設の建設や整備の考え方】（上段は票数（票）、下段は割合（%））

| 合計 | 有効回答数 | 無回答 | 無効回答 | 今ある施設の利用の仕方を工夫し、数はあまり増やさないほうが良い | 高齢化などにあわせて、必要な施設を建設・整備していくのが良い | 基本的な施設を地域ごとに、建設・整備していくのが良い | 改修や建替えにお金がかかるので、数はあまり増やさないほうが良い | わからない | その他 |
|-------|-------|-----|------|---------------------------------|--------------------------------|----------------------------|---------------------------------|-------|-----|
| 1,770 | 1,623 | 69 | 78 | 703 | 457 | 268 | 108 | 49 | 38 |
| - | 100.0 | - | - | 43.3 | 28.2 | 16.5 | 6.7 | 3.0 | 2.3 |

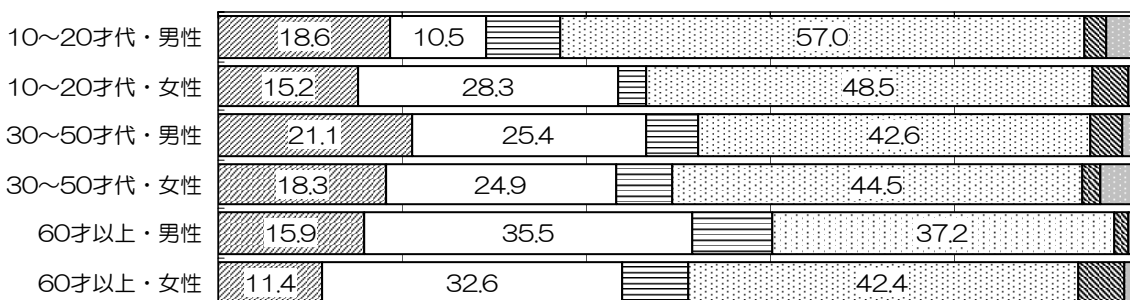


■世代別・性別の意見

10～20歳代、特に男性は、施設数は増やさずに既存施設の利用を工夫すべきとしている。
60歳以上は、既存施設の利用がトップだが、高齢化対応施設が必要としている。
地域毎の施設については30～50歳代が必要としている。

公益的施設の建設や整備の考え方（世代別・性別、%）

- 基本的な施設を地域ごとに、建設・整備していくのが良い
- 改修や建替えにお金がかかるので、数はあまり増やさないほうが良い
- わからない
- 高齢化などにあわせて、必要な施設を建設・整備していくのが良い
- 今ある施設の利用の仕方を工夫し、数はあまり増やさないほうが良い
- その他



2. 街頭インタビュー調査

1) 実施状況

平塚駅周辺（北口・南口のバス停周辺、駅前広場や駅階段周辺）で、インタビュー調査を実施した。

実施方法は、平塚市の腕章をし、市の依頼書を携帯した調査員が聞き取り。

設問内容は、属性2項目（住所、来街目的）、駅周辺について10項目（「印象」4項目、「使いやすさ」6項目）及び自由意見とした。

回収数は200票（うち、北口140票、南口60票）とした。

■回収結果

| 区分 | 回収票数 | 割合% |
|----|------|-------|
| 北口 | 140 | 70.0 |
| 南口 | 60 | 30.0 |
| 合計 | 200 | 100.0 |

■性別

| 区分 | 回収票数 | 割合%※ |
|----|------|------|
| 女性 | 96 | 50.5 |
| 男性 | 94 | 49.5 |
| 不明 | 10 | - |

※母数は、調査員が記録した190票

■時間帯別回収状況

| 時間帯 | 回収票数 | 割合% |
|------|-------|-------|
| 8時台 | 13 | 6.6 |
| 9時台 | 31 | 15.7 |
| 10時台 | 23 | 11.7 |
| 11時台 | 23 | 11.7 |
| 12時台 | 13 | 6.6 |
| 13時台 | 18 | 9.1 |
| 14時台 | 21 | 10.7 |
| 15時台 | 15 | 7.6 |
| 16時台 | 20 | 10.2 |
| 17時台 | 15 | 7.6 |
| 18時台 | 5 | 2.5 |
| 不明 | 3 | - |
| 合計 | 200.0 | 100.0 |

2) 実施結果

①属性

○住所：回答者は74%が市外居住者（県内）で、市内は24%。県外は2%と少なかった

| 区分 | 北口 | | 南口 | | 合計 | |
|--------|-----|-------|----|-------|-----|-------|
| | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% |
| 市内 | 32 | 23.2 | 16 | 26.7 | 48 | 24.2 |
| 県内（市外） | 103 | 74.6 | 43 | 71.7 | 146 | 73.7 |
| その他 | 3 | 2.2 | 1 | 1.7 | 4 | 2.0 |
| 無回答 | 2 | - | 0 | - | 2 | - |
| 合計 | 140 | 100.0 | 60 | 100.0 | 200 | 100.0 |

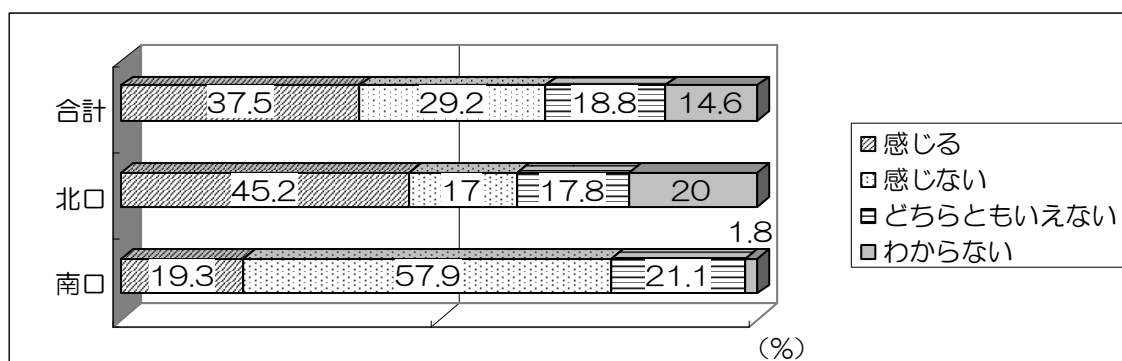
○来街目的：仕事34%が最も多く、買物18%、通勤・通学が19%、その他が30%であった

| 区分 | 北口 | | 南口 | | 合計 | |
|--------|-----|-------|----|-------|-----|-------|
| | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% |
| 通勤 | 11 | 8.1 | 8 | 14.0 | 19 | 9.8 |
| 通学 | 13 | 9.6 | 4 | 7.0 | 17 | 8.8 |
| 仕事（業務） | 45 | 33.1 | 20 | 35.1 | 65 | 33.7 |
| 買物 | 25 | 18.4 | 9 | 15.8 | 34 | 17.6 |
| その他 | 42 | 30.9 | 16 | 28.1 | 58 | 30.1 |
| 無回答 | 4 | - | 2 | - | 6 | - |
| 合計 | 140 | 100.0 | 60 | 100.0 | 200 | 100.0 |

②平塚駅の駅前や周辺の印象

○駅周辺の賑わいについて

- ・北口では45%が「賑わいを感じる」、29%が「賑わいを感じない」
- ・南口では19%が「賑わいを感じる」、58%が「賑わいを感じない」



| (1)賑わい | 感じる (%) | 感じない (%) | どちらともいえない (%) | わからない (%) | インタビュー数 (人) | 有効回答数 (人) |
|--------|---------|----------|---------------|-----------|-------------|-----------|
| 合計 | 37.5 | 29.2 | 18.8 | 14.6 | 200 | 192 |
| 北口 | 45.2 | 17.0 | 17.8 | 20.0 | 140 | 135 |
| 南口 | 19.3 | 57.9 | 21.1 | 1.8 | 60 | 57 |

■玄関口としての風格

○駅周辺の玄関口としての風格について

- ・北口：風格を感じる、感じない、どちらともいえない、が各々30%
- ・南口：約半数が風格を感じず、「感じる」は25%にとどまる

| 区分 | 北口 | | 南口 | | 合計 | |
|-----------|-----|-------|----|-------|-----|-------|
| | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% |
| 感じる | 42 | 30.0 | 15 | 25.0 | 57 | 28.5 |
| 感じない | 45 | 32.1 | 29 | 48.3 | 74 | 37.0 |
| どちらともいえない | 42 | 30.0 | 14 | 23.3 | 56 | 28.0 |
| わからない | 11 | 7.9 | 2 | 3.3 | 13 | 6.5 |
| 無回答 | 0 | - | 0 | - | 0 | - |
| 合計 | 140 | 100.0 | 60 | 100.0 | 200 | 100.0 |

■平塚らしさ

○駅周辺の平塚らしさについて

- ・北口、南口ともに、半数近い人が「平塚らしさ」を感じている

| 区分 | 北口 | | 南口 | | 合計 | |
|-----------|-----|-------|----|-------|-----|-------|
| | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% |
| 感じる | 65 | 46.4 | 27 | 45.0 | 92 | 46.0 |
| 感じない | 27 | 19.3 | 19 | 31.7 | 46 | 23.0 |
| どちらともいえない | 25 | 17.9 | 5 | 8.3 | 30 | 15.0 |
| わからない | 23 | 16.4 | 9 | 15.0 | 32 | 16.0 |
| 無回答 | 0 | - | 0 | - | 0 | - |
| 合計 | 140 | 100.0 | 60 | 100.0 | 200 | 100.0 |

■みどりや景観

○駅周辺のみどりや景観の良さについて

- ・南口は感じる人が36%と多い。北口、南口ともに、感じないという人は20%

| 区分 | 北口 | | 南口 | | 合計 | |
|-----------|-----|-------|----|-------|-----|-------|
| | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% |
| 感じる | 51 | 36.4 | 37 | 61.7 | 88 | 44.0 |
| 感じない | 26 | 18.6 | 13 | 21.7 | 39 | 19.5 |
| どちらともいえない | 44 | 31.4 | 10 | 16.7 | 54 | 27.0 |
| わからない | 19 | 13.6 | 0 | 0.0 | 19 | 9.5 |
| 無回答 | 0 | - | 0 | - | 0 | - |
| 合計 | 140 | 100.0 | 60 | 100.0 | 200 | 100.0 |

③平塚駅周辺の「使いやすさ」

■わかりやすさ（案内：公共施設やバス等の案内標識など）

○駅周辺の「わかりやすさ」

- ・北口は良いとする人が59%と多い。南口は、良いが38%、悪いが32%

| 区分 | 北口 | | 南口 | | 合計 | |
|-----------|-----|-------|----|-------|-----|-------|
| | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% |
| 良い | 83 | 59.3 | 23 | 38.3 | 106 | 53.0 |
| 悪い | 23 | 16.4 | 19 | 31.7 | 42 | 21.0 |
| どちらともいえない | 22 | 15.7 | 12 | 20.0 | 34 | 17.0 |
| わからない | 12 | 8.6 | 6 | 10.0 | 18 | 9.0 |
| 無回答 | 0 | - | 0 | - | 0 | - |
| 合計 | 140 | 100.0 | 60 | 100.0 | 200 | 100.0 |

■歩きやすさ（歩道や道路の段差や障害物など）

○駅周辺の「歩きやすさ」

- ・北口は、良いが41%、悪いが35%。南口は良いとする人が68%

| 区分 | 北口 | | 南口 | | 合計 | |
|-----------|-----|-------|----|-------|-----|-------|
| | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% |
| 良い | 58 | 41.4 | 41 | 68.3 | 99 | 49.5 |
| 悪い | 49 | 35.0 | 8 | 13.3 | 57 | 28.5 |
| どちらともいえない | 26 | 18.6 | 11 | 18.3 | 37 | 18.5 |
| わからない | 7 | 5.0 | 0 | 0.0 | 7 | 3.5 |
| 無回答 | 0 | - | 0 | - | 0 | - |
| 合計 | 140 | 100.0 | 60 | 100.0 | 200 | 100.0 |

■歩行者の安全性（人と自転車、人と車など）

○駅周辺の「歩行者の安全性」

- ・北口は、47%が「悪い」と回答。南口は良いとする人が57%

| 区分 | 北口 | | 南口 | | 合計 | |
|-----------|-----|-------|----|-------|-----|-------|
| | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% |
| 良い | 40 | 28.6 | 34 | 56.7 | 74 | 37.0 |
| 悪い | 66 | 47.1 | 12 | 20.0 | 78 | 39.0 |
| どちらともいえない | 27 | 19.3 | 13 | 21.7 | 40 | 20.0 |
| わからない | 7 | 5.0 | 1 | 1.7 | 8 | 4.0 |
| 無回答 | 0 | - | 0 | - | 0 | - |
| 合計 | 140 | 100.0 | 60 | 100.0 | 200 | 100.0 |

■乗り換えのしやすさ（電車からバス、バスからバスなど）

○駅周辺の「乗り換えのしやすさ」

・北口は81%、南口は53%が「良い」と回答

| 区分 | 北口 | | 南口 | | 合計 | |
|-----------|-----|-------|----|-------|-----|-------|
| | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% |
| 良い | 113 | 80.7 | 32 | 53.3 | 145 | 72.5 |
| 悪い | 12 | 8.6 | 5 | 8.3 | 17 | 8.5 |
| どちらともいえない | 12 | 8.6 | 10 | 16.7 | 22 | 11.0 |
| わからない | 3 | 2.1 | 13 | 21.7 | 16 | 8.0 |
| 無回答 | 0 | - | 0 | - | 0 | - |
| 合計 | 140 | 100.0 | 60 | 100.0 | 200 | 100.0 |

■自転車の走りやすさ（歩行者との分離、歩道の広さなど）

○駅周辺の「自転車の走りやすさ」

・北口は「悪い」が39%、南口は「良い」が38%

| 区分 | 北口 | | 南口 | | 合計 | |
|-----------|-----|-------|----|-------|-----|-------|
| | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% |
| 良い | 31 | 22.1 | 23 | 38.3 | 54 | 27.0 |
| 悪い | 55 | 39.3 | 7 | 11.7 | 62 | 31.0 |
| どちらともいえない | 35 | 25.0 | 10 | 16.7 | 45 | 22.5 |
| わからない | 19 | 13.6 | 20 | 33.3 | 39 | 19.5 |
| 無回答 | 0 | - | 0 | - | 0 | - |
| 合計 | 140 | 100.0 | 60 | 100.0 | 200 | 100.0 |

■駐輪場の整備状況（駐輪場が足りているか）

○駅周辺の「駐輪場の整備状況」

・北口では「悪い」が多いものの、全体では「悪い、良い、わからない」に意見がわかれた

| 区分 | 北口 | | 南口 | | 合計 | |
|-----------|-----|-------|----|-------|-----|-------|
| | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% | 票数 | 割合% |
| 良い | 38 | 27.1 | 18 | 30.0 | 56 | 28.0 |
| 悪い | 51 | 36.4 | 20 | 33.3 | 71 | 35.5 |
| どちらともいえない | 23 | 16.4 | 3 | 5.0 | 26 | 13.0 |
| わからない | 28 | 20.0 | 19 | 31.7 | 47 | 23.5 |
| 無回答 | 0 | - | 0 | - | 0 | - |
| 合計 | 140 | 100.0 | 60 | 100.0 | 200 | 100.0 |

3. その他の意向調査

3-1 製造業アンケート調査

1) 配布・回収状況

従業員数30人以上の製造業156社に郵送で配布・回収し、回収率は36.5%であった。

| 配布数 | 回収数 | 回収率 |
|-----|-----|-------|
| 156 | 57 | 36.5% |

2) 対象事業所の種別・規模

本社が46%、生産工場が74%で、19%が研究・開発機能を有している。敷地面積では5000㎡未満が39%、5,000~10,000㎡が36%、10,000㎡以上が25%である。

| 敷地面積(㎡) | 事業所数 | 割合% |
|-----------|---------|----------|
| 生産工場 | 42 | 73.7% |
| 本社 | 26 | 45.6% |
| 研究所・開発室 | 11 | 19.3% |
| 加工工場 | 9 | 15.8% |
| 検査工場 | 8 | 14.0% |
| 支社・営業所 | 1 | 1.8% |
| その他 | 4 | 7.0% |
| 合計(複数回答数) | 57(101) | (177.2%) |

| 敷地面積(㎡) | 事業所数 | 割合% | |
|--------------|------|--------|--------|
| 1000㎡以下 | 3 | 8.3% | 38.9% |
| 1000~2000 | 3 | 8.3% | |
| 2001~3000 | 3 | 8.3% | |
| 3001~4000 | 4 | 11.1% | |
| 4001~5000 | 1 | 2.8% | 36.1% |
| 5001~10000 | 6 | 16.7% | |
| 10001~20000 | 7 | 19.4% | |
| 20001~30000 | 4 | 11.1% | 25.0% |
| 30001~50000 | 1 | 2.8% | |
| 50001~100000 | 2 | 5.6% | |
| 100001~ | 2 | 5.6% | |
| 合計 | 36 | 100.0% | 100.0% |

※割合は、対回収合計数57事業所

3) 操業環境の問題点

■道路環境・相隣関係(割合は、対回収合計数57事業所)

○「問題あり」は、道路環境では40%、相隣関係では9%である

| | | | |
|------|------|----|-------|
| 道路環境 | 問題なし | 33 | 57.9% |
| | 問題あり | 23 | 40.4% |
| 相隣関係 | 問題なし | 51 | 89.5% |
| | 問題あり | 5 | 8.8% |

道路環境の問題の内訳

○道路の渋滞や開かずの踏切

- ・テクノロードの渋滞(朝・夕)
- ・量販店の渋滞
- ・須馬踏切は通行時間が短く混雑する

○周辺の路上駐車

- ・一般の路上駐車による見通し等の問題(複数)
- ・大型トラックの違法駐車(待機トラック)の問題(通行の障害やゴミの不法投棄)
- ・向かいの会社へ用があるトラックが、毎朝片側車線をつぶしている為通りにくい。

○交通規制や走行方法

- ・新田1号線(相模川左岸堤防)のスピード違反
- ・幹線道路に面しているのに、左折進入が出来ない

○周辺道路の整備不足

- ・未整備で大型トラックが入りにくい
- ・前の道路が狭い
- ・歩道が狭い
- ・出入時の歩道での接触リスクが高い
- ・ブロック塀が多く、見通しが悪い
- ・未舗装による砂ぼこり
- ・降雨時の排水が悪い

○周辺道路の管理や付帯設備

- ・街路樹(イチョウ)の落葉
- ・街路灯の間隔が長く暗い

相隣関係の問題の内訳（道路・交通以外）

○騒音等

- ・隣接の公共施設に工場の騒音で迷惑をかけている
- ・準工業地帯であったが、最近では住宅の方が増え、昼間の就業時間内でも音がうるさいと苦情がくる
- ・隣に一般居住の住宅があるため、全般に留意して操業している
- ・出きる限り近所に配慮している

○その他

- ・JR線貨物線路の継ぎ目の騒音がうるさくて迷惑している（住宅側はロングレールになっていて静かである（ので同じように対応して欲しい））

4) 交通

■利用交通手段（複数回答、事業所数及び割合（対回収合計数57事業所））

○交通手段は、クルマ 84%、自転車 51%、路線バス 37%が多い。バイクも 19%みられる。

○徒歩が多いのは3社、自社及び共同の送迎バスは1社と少なかった

| | | |
|----------|-----|--------|
| 自動車 | 48 | 84.2% |
| 自転車 | 29 | 50.9% |
| 路線バス | 21 | 36.8% |
| バイク | 11 | 19.3% |
| 徒歩 | 3 | 5.3% |
| 自社送迎バス | 1 | 1.8% |
| その他送迎バス | 0 | 0.0% |
| 合計（複数回答） | 113 | 198.2% |

■困っていること（複数回答、事業所数及び割合（対回収合計数57事業所））

○交通面で困っていることは、駐車場の不足 37%と、バスの問題 29%が多い。バイクも 19%みられる

| | | |
|-------|----|-------|
| 駐車場不足 | 19 | 37.3% |
| 駐輪場不足 | 4 | 7.8% |
| バス | 15 | 29.4% |
| その他 | 1 | 2.0% |
| 合計 | 47 | 82.5% |

バスについての意見の内訳

○運行本数

- ・帰社時間帯の本数が少ない（複数）
- ・土・祭日本数が少ない（複数）
- ・休日の運行本数が少ない（複数）
- ・東八幡工業団地行きの朝便が少ない（7:45～8:10 台）
- ・横浜ゴム前経由の本数が少ない

○運行時間

- ・バスの最終便が早い(20:20)
- ・終バスが早すぎる

○定時性

- ・時間通りに運行されない（複数）
- ・雨天時の大幅な遅れ（出勤時間帯）
- ・渋滞による遅れの激化

○その他

- ・秦野・伊勢原方面からは、JR平塚駅での乗換えが必要
- ・最寄のバス停が遠い（徒歩 10 分）
- ・陸の離れ小島みたいな感じ
- ・雨の日に困る
- ・一社ではワンマン、もう一社入れたら

5) 建替・転出意向（※割合は、対回収合計数 57 事業所）

○転出は 5 %、3 件、現在地での建替えは 12%、7 件みられた。不明が 9 %、5 件ある

| | | |
|-------------|----|-------|
| ア. 現在地での建替え | 7 | 12.3% |
| イ. 転出・移転 | 3 | 5.3% |
| 計画・構想なし | 40 | 70.2% |
| わからない | 5 | 8.8% |
| 合計 | 55 | 96.5% |

ア. 建替え意向のある企業の展開方向（上記アの 7 事業所対象）

現在地での建替えでも 43%は敷地の拡張をしている。43%が困っていると回答。

| | | |
|-----------|---|-------|
| 現在の敷地内で可能 | 4 | 57.1% |
| 他とあわせて | 3 | 42.9% |
| 困っていること | 3 | 42.9% |

■困っていること

- ・緑地面積の規制があり、増築できない
- ・隣接地の拡充

イ. 転出意向のある企業の転出理由（上記イの 3 事業所対象）

転出の理由として、敷地の不足、条件の不足、その他の事業戦略があげられた。

| | | |
|-----------------------|---|-------|
| 現在地では拡張できない | 1 | 33.3% |
| 現在地の地価が高い | 0 | 0.0% |
| 現在地の条件（相隣関係・交通環境）がわるい | 1 | 33.3% |
| 従業員の確保・居住環境確保 | 0 | 0.0% |
| その他事業戦略 | 1 | 33.3% |
| その他 | 0 | 0.0% |

6) 市の産業支援策への要望など

○産業支援策について、公害対策の支援策、緑地負担の厳しさ、補助制度や税の優遇策、情報の提供や発信など、13 件（23%）の具体的要望があげられた

- ・工業専用地域でも公害規制を強めるのであれば、それなりの支援策を実施してほしい
- ・工場建設等、開発行為に対する緑地負担等は、狭い土地の有効活用を妨げている（工業地域なのに）
- ・物をつくる事の大変さを理解した上での支援を考えてほしい。ゴミも発生しますし、全て企業努力はむずかしい
- ・地元企業製品の積極的登用
- ・補助制度の充実、固定資産税の減額
- ・借入れに対する利子補給制度
- ・税の面でのいろいろな支援
- ・支援策について、各部署別でなく、市として全てを記した案内等の作成・発行
- ・産業情報の密度の高い、情報発信
- ・工業用地の販売等の情報
- ・工業地域に立地し、多くの問題はクリアしているが、従業員用駐車場探しに苦労している
- ・神中バス問題（駅広と旧東海道の停留所、須馬踏切の高架化）
- ・県第3位の工業都市や平塚産業のPR（複数）

7) その他の市への要望など

○その他の要望としては、まちなかの活性化関連が4件(36%)、交通関連が2件(18%)で、住工混在解消やツインシティ整備推進、緑化推進など、各々1件であった

- ・住工混在解消に向けた積極的な検討
- ・ツインシティの積極的な推進
- ・市内開発事業での市内製品の採用
- ・相模川、金目川への橋の新設
- ・雨天時の交通渋滞対策
- ・まちなか・駅まわりの活気づくり
- ・まちなかでの買物の魅力づくり
- ・商店街の活性化
- ・七夕以外での賑わいの創出
- ・樹木の成長、落葉等を考慮した緑化
- ・車の板金、塗料補修に関する職業指導を行っているので、平塚在住者の受講時には、その受講卒業生への助成金を支給

8) 社会貢献の活動など

○清掃活動、イベントや行事への参加、環境面の取組みなどが多い

■社会貢献活動

- ・日本赤十字への献金、工場前公道清掃、商工会議所主催行事への参加
- ・構外清掃(月1回)、献血(年2回)
- ・湘南ひらつかテクノフェア出展
- ・イベント・行事への参加(複数)
- ・近隣小学校の工場見学受入れ
- ・2004年市への寄付金500万円
- ・会社周辺道路の清掃
- ・事業所周辺の清掃活動
- ・「ひらつかをみがく会」での落書き落しへの協力
- ・インターンシップ
- ・産学共同開発
- ・ISO14000活動(複数)
- ・平塚市ロータリークラブ
- ・平塚地区環境対策協議会
- ・ご協力したい
- ・メセナ活動の意味が分からない
- ・子供サポート、防災備蓄庫の土地提供
- ・渋田川清掃
- ・産業廃棄物の低減
- ・化石燃料の抑制(重油からガスに切り替え)
- ・他社と連携した社会貢献活動実施

■まちづくりへの協力

○清掃や防災活動、イベントへの協力、地域ブランドづくりなどのまちづくりに協力している

- ・平塚交通安全総点検への参加
- ・毎週第4月曜日に弊社前の道路清掃を実施
- ・FM湘南ナパサ 防災訓練参加
- ・防災ボランティア登録・派遣(盲学校消火活動支援)
- ・渋田川清掃
- ・湘南ひらつか花火大会/七夕祭りでの協力
- ・弦斎カレーパン/弦斎カステラ/平塚名物ミルクまんじゅう
- ・イベントへの協力金
- ・従業員の自主的なボランティア活動
- ・平塚警察官反の会
- ・平塚テクノフェアへの参加
- ・自治集会場の提供(社宅集会場の開放)
- ・各種委員会への委員の派遣
- ・SCN(湘南ケーブルネットワーク)番組制作協力
- ・今後積極的に協力していく(複数)

■地域との交流活動など

○まちづくり活動への協力の他、地域の企業等との交流や学生の受入れなどがあげられた

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・自治会各種イベント協賛・寄付（複数） ・小学校野球大会主催／スポーツ大会等へ寄付 ・浜田川清掃 ・町内賛助金／町内会への加入 ・「平塚をみかく会」による工場外壁への壁画描き ・パン作り教室（ボランティア） ・地域消防訓練等への参加（複数） ・テクノフェアへの参画・協力（複数） | <ul style="list-style-type: none"> ・工場見学 ・（高齢者）事業団の積極的活用 ・地域の中学生の一日体験学習の実施 ・東海大学生インターンシップ受入れ ・平塚工科工卒業生の受入れ ・地元企業との交流（複数） ・外部の諸団体への加盟による積極的な交流（複数） ・商工会議所、工業会、法人会加盟（複数） |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

9) 市のまちづくりや都市政策への意見

○地域の各種活動への協力の他、地域の企業等との交流や学生の受入れなどがあげられた

- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画において、用途地域等を将来変更したりする考えがある場合、移転せざるを得なくなることもありうるので、安心して操業できるように考慮してほしい ・中心市街地、工業地帯の駐車場の問題 ・河川敷のさらなる有効利用を希望する (例) 有料（安価が望ましい）駐車場をつくる。 子供が自由に遊べる（魚釣り、野球、サッカー等）場所づくり ・駅前バスターミナルの改善（雨天時の渋滞） ・銀河大橋、湘南大橋の通勤時の渋滞対策 ・小さな商店がどんどん少なくなっている。 ・大きな店と小さな店が共栄できるような町を ・商店街の活性化の為の施策が問題 | <ul style="list-style-type: none"> ・（オリンピックを湘南東駅）馬入の土手を利用し、厚木に乗り入れ、小田急に乗り入れ ・東海大駅・秦野経由で、花水の土手を利用し、貨物駅を湘南西駅にし、湘南に山手線のように循環 ・駅周辺のゴミ散乱が最近ひどい（カラス公害） ・まちづくりや都市政策の情報がない ・西部地域の環境に十分考慮した、積極的な土地利用 ・無電緑化の推進 ・メリハリのある地域区分政策 ・さわやか条例も制定したこともあり、駅周辺をもう少しきれいにした方が良い ・電信柱の地価埋設の推進 ・景観が向上している |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

3-2 商店街アンケート調査

1) 配布・回収状況

- ・全商店街に郵送で配布・回収
- ・発送：平成18年12月6日、投函期限：平成18年12月22日
- ・回収率：74.5%

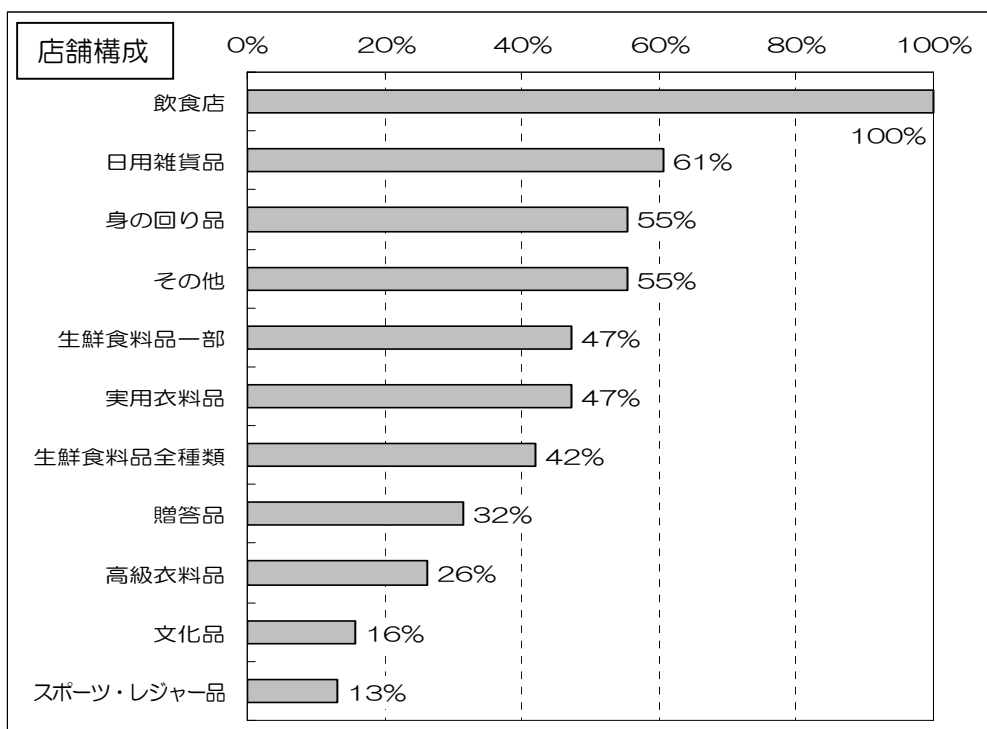
| 配布数 | 回収数 | 回収率 |
|-----|-----|-------|
| 51 | 38 | 74.5% |

2) 商店街の概要

①概要

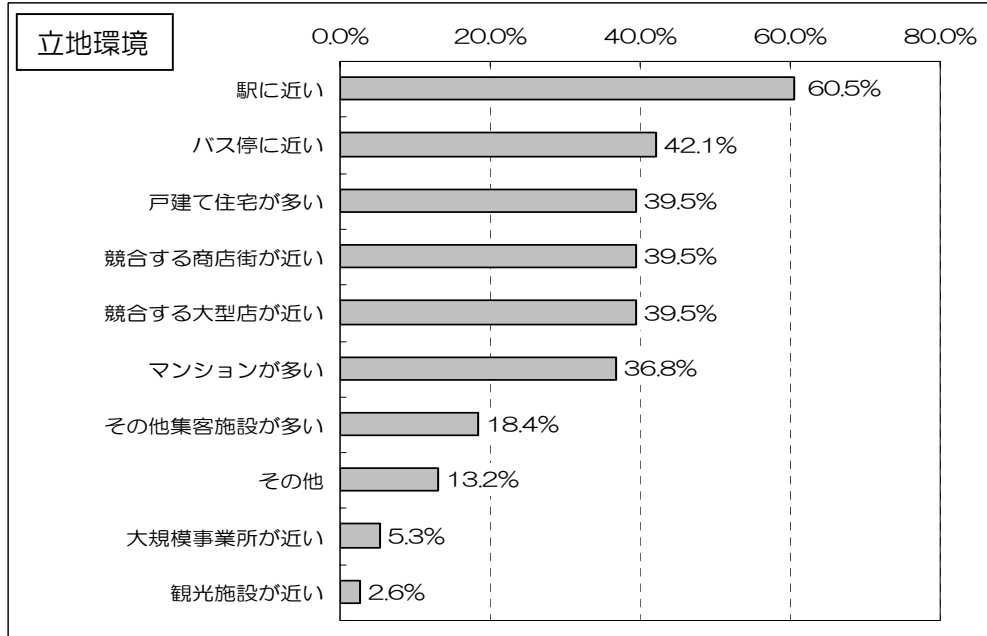
- 商店街の店舗数は4~82店で平均35店。非参加率は0~47%で平均14%
- 空き店舗は平均3%と少なく、最大で10件
- 業種構成は日用雑貨品や身の回り品が中心で、全ての生鮮食料品がそろっている商店街は42%。飲食店は全商店街に立地する

| 区分 | ア. 参加 店舗数 (店) | イ. 非参加 店舗数 (店) | 合計に 対する割合 (%) | ウ. 空き 店舗数 (店) | 合計に 対する割合 (%) | 合計 (ア+ イ+ウ) |
|----|---------------------|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|----------------|
| 平均 | 35.3 | 15.4 | 13.6% | 3.6 | 3.1% | 53.2 |
| 最大 | 82 | 50 | 46.7% | 10 | 9.3% | 122 |
| 最小 | 4 | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 10 |



②立地環境

○立地環境では、「駅に近い」が61%、「バス停に近い」が42%で、競合する商店街や大型店が「近い」が各々40%である。戸建て住宅及びマンションが「多い」も37~40%と多い

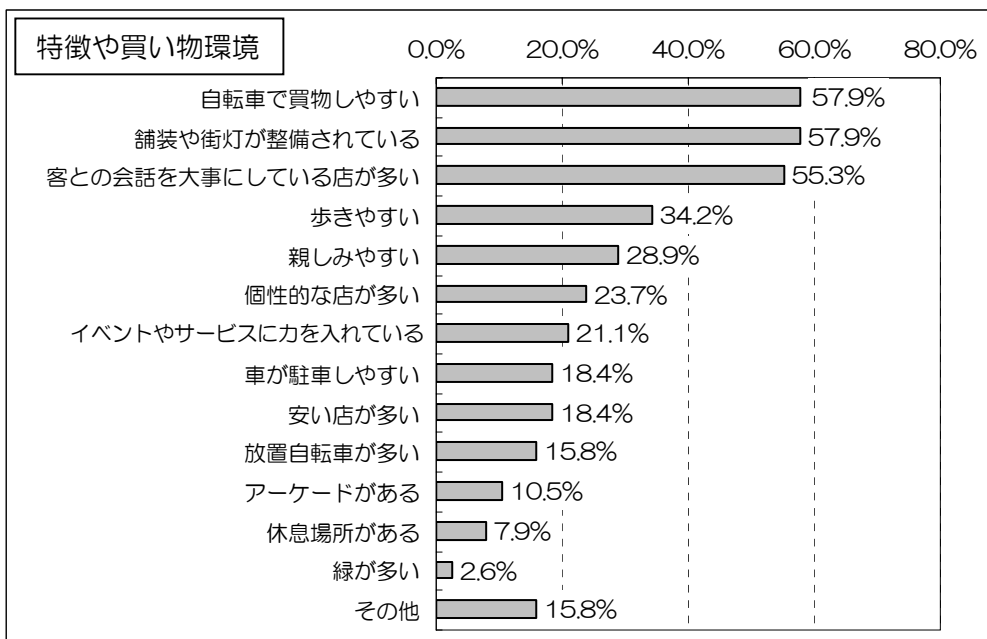


③商店街の特徴や買い物環境

○商店街の環境は、「舗装や街灯」などは58%で整備されているが、「緑」や「休憩場所」は整備されているとの回答は少ない

○58%は「自転車で買い物しやすい」としており、「放置自転車が多い」は16%である。「歩きやすい」は34%にとどまっている。「車が駐車しやすい」は18%である

○「客との会話を大事にしている店が多い」が55%ある一方で、「安い店が多い」、「個性的な店が多い」、「イベントやサービスに力を入れている」との回答は18~24%と少ない

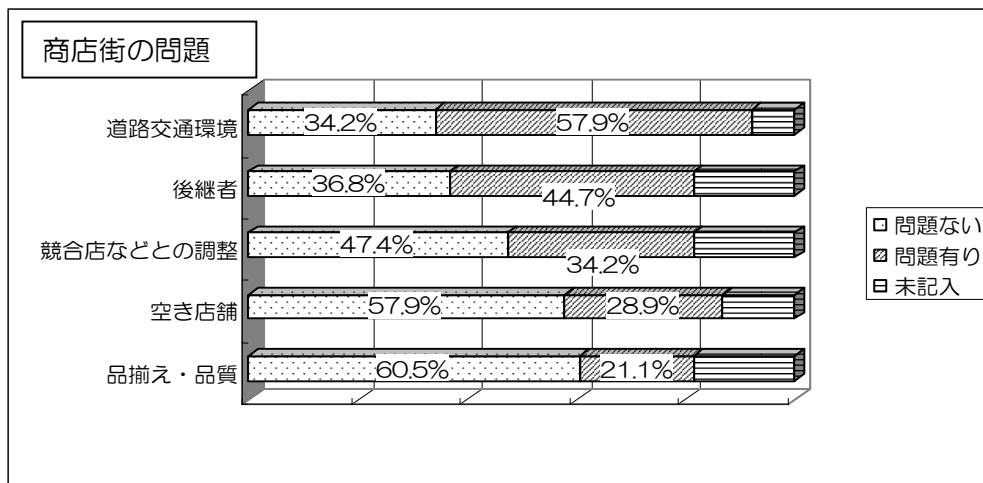


④組織やサービスの状況

- 商店街組織として、若手や女性の部会を有している会は各々3商店街と少ない
- 商店街として配達サービスを行っているところが2商店街あったが、スタンプサービス、ファックスやメールなどのサービスを展開しているところはない
- 休業日を決めているのは1商店街、ホームページで様々な情報提供を行っているのは2商店街であり、営業日・時間やホームページなどは個店に任されている状況である

3) 商店街の問題点

- 「道路交通環境の問題」が58%と最も多い
- 次いで、「後継者の問題」が45%、「競合店の問題」が34%と多い。「後継者がいない店が殆どである」、「大型店が多く太刀打ちできない」など、深刻な状況が特記されている
- 「空き店舗の問題」は29%、「品質や品揃えの問題」は21%であげられている



4) 商店街の活性化についての取組み

- 街路灯や花壇の整備、ゴミ問題への対応が最も多く、58%が活性化の取組みについて回答。その他は、会員間のコミュニケーションづくりや催し物の協力などが多い。「商店が飛び飛びに位置する為、会として特にサービスは行ってない」との回答もみられた

- 【内訳】
- 街路灯や花壇の整備、ゴミ問題への対応…………… 14件
 - 会員間の親睦・意見交換・コミュニケーション…………… 8件
 - イベントやセールの実施など…………… 8件
 - 金券や景品、駐車券、ちらしなど…………… 6件
 - 地域や学校との協力、防犯活動など…………… 5件
 - 特に行ってない、自ら活性化しようとしていない…………… 2件
 - ホームページを活用した情報発信…………… 2件
 - 七夕飾りの共同制作、会費負担…………… 2件
 - 将来のあり方を検討している…………… 1件

5) まちづくりへの協力や地域との交流などの取組み

○まちづくりへの協力や地域との交流では、「地域の行事・祭りなどへの参加」が最も多い

| | |
|---------------------|-----|
| 【内訳】・地域の行事・祭りなどへの参加 | 13件 |
| ・地域の団体などとの交流・連携 | 7件 |
| ・清掃、防犯や子どもの見守り | 5件 |
| ・地元の人々に愛される店づくり | 1件 |
| ・歴史などを踏まえた地区全体のPR | 1件 |

6) 商店街の活性化について市に希望すること

○商業及び商店街支援、商業環境整備、中心市街地活性化など、具体的な要請が多数あげられた

【内訳】

■商業・商店街支援

- ・行政特区を設けて出店コストを低下できるようにしなければならない
- ・大変だろうと思うが、商店街との話し合いを数重ねて欲しい
- ・もっと商業に予算を使って欲しい。農業に比較してあまりに少ない
- ・周辺の商店街振興に力を入れてほしい
- ・全市内でポイントカードを
- ・商店会の事業や各店舗の改装等のための融資
- ・イベントへの補助金、旭地区ふれあい祭り
- ・大型店スーパーの規制、大型店を進出させないで下さい
- ・未加入の商店に対して、市条例で加入を義務付けを（複数）

■商業環境整備

- ・商店街のマンション、ホテル、事務業ビル等の1～2階を店舗にするよう指導（複数）
- ・市街地での駐車場対策／商店会がパーキングと提携する場合の補助（複数）
- ・植木・花壇づくり、街灯の整備・維持への補助金／ベンチの設置、こどもの砂場（複数）
- ・市で条例など作り、クリーンなまちにしないとますますさびれてしまう（複数）
- ・商店街対策より、ブロックごとの特色を持った対策を
- ・市中心だけでなく、旭地区にもイベント広場を作ってほしい
- ・水路（未使用部分）を活用して買物帰りのゆとり・憩いの持てる場所を作ってほしい
- ・前はやさしい音楽が流れていたが（旧東海道）
- ・道路をなんとかしてほしい。年配者が増えるので心配

■中心市街地

- ・市役所を見附広場に移転し、まちに人が集まるようにしないと中心街はますますさびれてしまう（複数）
- ・ラスカから八幡神社間の129号線地下を駐車場にし、上部にイベント及びスポーツ広場としてのオープンデッキを開設。人の集まれる広いスペースを街中に出現させると面白い街になるのでは
- ・紅谷町お祭広場に常時休息場所がほしい。できれば、軽食売場があった方がいい（複数）
- ・駐車場と駐輪場の確保、整備
- ・平塚駅前の整備／バスターミナルを作り、駅前広場を有効に活用／駅前再開発推進（西口・南口）（複数）

- ・ピンクサロンのような業種を一ヶ所にまとめる／イメージの悪い風紀の改善（複数）
- ・1人でも多くの人に足を運んでもらえ、同時に市民にも喜んでもらえる定期的なイベントの開催（複数）
- ・広域の交流と動線（お客様の流れを作ったらどうか？）

■その他

- ・各店主の魅力ある店づくりへの努力／何とかきっかけを作って、やる気をおこさせたい（複数）
- ・市施策が中心商店街偏重となっている感じがする

7) まちづくりや都市政策についての意見

○まちづくりの方向性、地域環境整備の方向性、まちづくりの進め方などについて、意見が寄せられた

【内訳】

■まちづくり全体の方向性

- ・安心・安全のまち／住みやすいまち／若者に夢のある街／若者（子供たち）が平塚が故郷だと思える街
- ・元気のよい人達を大勢増やすしかない。それが可能な都市政策を実現出来る様に
- ・将来的ビジョンの提供を。目標を作る事によりやる気をおこさせる／夢を平塚市に期待します
- ・平塚市のアピール（例:学園都市など）

■地域環境整備の方向性

- ・高齢化に伴い、小規模スーパーまたはコンビニの誘致が出来ないか？このままでは、まちが死ぬ
- ・運転できない老人が、歩いて買物ができ、日々のくらしに事足りるような小規模店が存在しているまちづくり
- ・市民センター、美術館、体育館、ふれあい広場、総合公園等の有効活用

■まちづくりの進め方

- ・調査・研究や計画づくりのあとの実施・検証が重要。アンケート依頼者への情報のフィードバックを
- ・市民や外来者の意見が具体化されるような、柔軟な取組み方が必要
- ・アンケートだけでは、意見は吸み足りない。現場の意見をもっと取り入れる機会をつくるべき
- ・駅前通りの工事について事前説明がなかった。完成予想や説明が必要

■その他

- ・地下鉄等の誘致の早急な再検討／・ライナーホームの再度計画と実施

3-3 市民活動団体アンケート調査

1) 配布・回収状況

- ・まちづくりに関連する団体を中心に郵送で配布・回収
- ・発送：平成 18 年 12 月 6 日、投函期限：平成 18 年 12 月 22 日
- ・回収率：56.3%

| 配布数 | 回収数 | 回収率 |
|-----|-----|-------|
| 32 | 18 | 56.3% |

2) アンケート結果

①市民活動をはじめたきっかけ

○市民活動をはじめたきっかけは「同じ考え方や興味を持つ仲間が集まった」が多いが、「特定の問題が契機になった」、「市の動きが契機になった」などもあげられている

【内訳】

■特定の問題が契機

- ・地域環境の破壊につながる高層マンション計画変更の運動のため、近隣住民等で活動を開始
- ・七夕会場であるパールロードの落書きがひどかった
- ・相模川河口を鳥獣保護区指定が地元の反対で不成立になり、自然保護活動の必要性を痛感した
- ・既存のサービス内容に不足があり、自ら市民参加型の助け合いのシステムを発足

■市の動きが契機

- ・平塚市のイメージアップに行政も力を入れ始めたので、これに賛同した
- ・市民活動センターや市民活動ファンドの設置がきっかけになった
- ・市が募集した自治基本条例を考える市民委員や、未来会議、まちづくり市民委員会などから勉強の必要性を感じた
- ・市の都市づくり条例作成の動きを知り、市民自身が勉強しなければならないと思った
- ・市主催の「男の講座」出席者が集まり、住みよいまちづくり、楽しい仲間作りを目標として活動をはじめた

■その他の活動機会が契機

- ・医療生協からの特定の運動の呼びかけをきっかけに、集まった仲間勉強して活動を開始
- ・PTA で地域の方の声を聞き、声を掛け合える関係づくりの必要性を感じ、みんなと一緒に考えられる課題として、防災キャンプを考え、それが防災活動の契機になった

■その他

- ・阪神淡路の教訓から、事前に受け皿組織の必要性を感じた有志が募った
- ・まちづくり講演会を企画し、その機に地域コミュニケーション紙を発行した
- ・歴史に関心ある人々の友好のため
- ・相模川の流域の環境問題について知識を深めたり、活動をしたり、ということから
- ・子供たちに関わるいろいろな課題を解決し、子供たちの育ちをサポートしたいと考えた
- ・高齢社会に向けて、介護される方もする方もゆとりを持った生活が必要と考えた

②市民活動を通して感じるまちづくりの問題点や課題

○市民活動を通して感じるまちづくりの問題点や課題は、「市の分野別対応策の問題点や課題」、「まちづくり推進のシステム上の問題点や課題」、「市民のモラルや協力・協働意識の問題点や課題」などに大別できる

【内訳】

■市の分野別対応策の問題点や課題

- ・里山保全のための有効な対策が不足している。「里山保全条例」の制定などが必要
- ・大量の水がパイプラインで放流されることは、水循環の視点からはあまり好ましいことではない
- ・残しておきたい建物や風景が壊されてしまわない努力が必要であることを痛感した
- ・健康に対する市の行事やサービスは多いが、健康でない方々に対するの対応がわからない
- ・子育て支援の施策は整いつつあるが、使い勝手の悪い部分がある
- ・自治会活動では、関わりあう方々の苦労を軽減することも必要
- ・平塚には伝統の息吹や文化の香りが少ない、競輪場や工業地域のイメージが先行し、夢を語れない
- ・建物の高層化はある程度必要だが、建設にあたっては事業者、近隣住民、行政の三者の先行話し合いの場が必須条件である。徹底した分析、評価を事前に行い、問題解決に実質的に役立つ条例整備と実施が必要である。行政マンは、常に市民目線、感覚を持ち、努力した成果を結果として示すべき
- ・JR 東海道線の南側の開発が遅れている

■まちづくり推進のシステム上の問題点や課題

- ・市民活動団体は地元で根ざした活動をしている為、市民の声をよく把握している。そのような力を、市と協力して発揮できるようなシステムにしていきたい
- ・行政も議会も「まちづくり」を推進しようとしているのに、議論が噛み合わない。制度疲労を起こしているのではないか。進歩発展を促したい
- ・市の情報提供や情報発信力が弱く、都市イメージが不明確
- ・平塚の行政がまちづくりの将来方向をどのように考えているのか、市民の目線には届いていない

■市民のモラルや協力・協働意識の問題点や課題

- ・住民の無関心。ゴミを持ち帰らない人が多い
- ・道路や公共施設を自分のものと同様に大切に考える環境づくり
- ・多くの方がやってくれる、やってもらうことを当然と考えている。協働の考え方の地域への浸透が難しい
- ・自治会・学校と地域の方々と共に活動することが難しい。自治会幹部が保守的
- ・平塚は（自分だけは）災害にあわないという思い込みがある

③団体が目指すまちづくりのあり方や目標

○目指すまちづくりのあり方や目標として、「自然や景観の保全」、「安心した文化的な暮らし」、「まちづくりへの参画・協働」などがあげられている

【内訳】

■自然や景観の保全

- ・地区毎の特徴あるまちなみの骨格を再構築
- ・西部丘陵地の自然や生物多様性の保全と、市民や子ども達の自然への親しみ・触れあい
- ・人と自然とのふれあいが多面的で豊かなまち
- ・落書きや不法張り紙のないきれいなまち

■安心した文化的な暮らし

- ・地域の顔が見え、声を掛け合える関係づくり
- ・隣近所が声をかけあえられ、助け合えるコミュニティ
- ・こどもの育ちや子育てを地域が支えるまちづくり
- ・音楽・芸術など、文化の香り高いまちづくり
- ・子供や高齢者がまちにあふれるまちづくり
- ・バスや電車、大量輸送機関が便利なまちづくり
- ・障害者も安心できるまちづくり

■まちづくりへの参画・協働

- ・まちに必要なこと、不足していることを見出し、市から助成を受けて実現すること
- ・行政も議会も市民も、ぶれずに一丸となって邁進すること
- ・こどもの頃からボランティア活動をする気持ちの育成
- ・自分たちの街の環境づくりに市民が関われる仕組みづくり
- ・市民自身が都市づくりに関心を持ち、積極的に関る意欲を持つこと
- ・住民一人ひとりが主役のまちづくり、市民活動グループのネットワーク化、少年のまちづくり参画
- ・市民が協力し合って、住み心地のよいまちづくり、子育てしやすいまちづくり

■会の活動の発展（略）、その他

- ・市民活動を支える行政政策や施設の整備

④市民と行政の協働のまちづくりについて

- 多くの市民活動団体は、行政、他の市民団体、自治会・町内会などとの協力・連携が必要としている
- 市民と行政の協働のまちづくりについては、「自然や景観の保全」、「安心した文化的な暮らし」、「まちづくりへの参画・協働」などがあげられている
- まちづくりのリーダーとしての参加意欲が高く、「市が設置する会議の委員として」は78%、「企画立案メンバーとして」が50%、「市民のリーダーとして」が44%である

【内訳】

- ・協力・連携している、したい団体
 - ：行政（83%）、他の市民活動団体（78%）、自治会・町内会（78%）、学校・幼稚園、大学（50%）など
- ・参加したい分野：人にやさしいまちづくり（67%）、安全・安心まちづくり（67%）、環境にやさしいまちづくり（61%）、景観やみどり（56%）、活性化（33%）など
- ・協働の重要性　：重要である（100%）
- ・まちづくりのリーダーとしての参加について
 - ：市が設置する各種会議の委員として（78%）、企画・計画立案メンバーとして（50%）、市民のリーダーとして（44%）
 - （参加頻度は、月1回（56%）、2～3ヶ月に1回（28%）など）

表 市民活動団体のアンケート調査結果（N＝18件）

| 設問 | | 回答数 | 割合 | 備考 | |
|-------------------|-------------------------|------------------|--------|--------|--|
| 問1 | (1) 団体名 | 18 | 100.0% | (記載割合) | |
| | (2) 活動内容 | 17 | 94.4% | (記載割合) | |
| | (3) 活動場所 | 1 ひらつか市民活動センター | 12 | 66.7% | |
| | | 2 市内の公民館 | 6 | 33.3% | |
| | | 3 市内のその他 | 6 | 33.3% | |
| | | 4 市内の会員の自宅や事務所など | 3 | 16.7% | |
| | | 5 1と2以外の公共の場所 | 2 | 11.1% | |
| | | 6 市外 | 2 | 11.1% | |
| 7 会合は殆どない | | 0 | 0.0% | | |
| (4) 市民活動をはじめたきっかけ | 17 | 94.4% | (記載割合) | | |
| 問2 | 市民活動を通して感じるまちづくりの問題点や課題 | 17 | 94.4% | (記載割合) | |
| 問3 | 団体が目指すまちづくりのあり方や目標 | 16 | 88.9% | (記載割合) | |
| 問4 | 協力・連携している、したい団体 | 1 行政 | 15 | 83.3% | |
| | | 2 ほかの市民活動団体 | 14 | 77.8% | |
| | | 3 自治会・町内会 | 11 | 61.1% | |
| | | 4 学校・幼稚園・保育園 | 9 | 50.0% | |
| | | 5 大学 | 9 | 50.0% | |
| | | 6 社会福祉協議会 | 5 | 27.8% | |
| | | 7 企業 | 5 | 27.8% | |
| | | 8 その他の団体 | 2 | 11.1% | |
| | | 9 財団・社会法人 | 1 | 5.6% | |
| | | 10 連携の必要なし | 0 | 0.0% | |
| | | 11 その他 | 2 | 11.1% | |
| 問5 | (1) 組織または個人で協力したい分野 | 1 人にやさしい | 12 | 66.7% | |
| | | 2 安心・安全 | 12 | 66.7% | |
| | | 3 環境にやさしい | 11 | 61.1% | |
| | | 4 景観や緑 | 10 | 55.6% | |
| | | 5 活性化 | 6 | 33.3% | |
| | | 6 交通 | 0 | 0.0% | |
| | | 7 その他 | 2 | 11.1% | |
| | (2) 行政との共同 | 1 重要である | 18 | 100.0% | |
| | | 2 重要でない | 0 | 0.0% | |
| | | 3 どちらでもない | 0 | 0.0% | |
| | | 4 わからない | 0 | 0.0% | |
| | | 1 まちづくり会議の委員として | 14 | 77.8% | |
| | | 2 企画・計画立案メンバーとして | 9 | 50.0% | |
| | | 3 市民のリーダーとして | 8 | 44.4% | |
| 4 その他 | 2 | 11.1% | | | |
| 5 わからない | 1 | 5.6% | | | |
| 問6 | (2) 参加可能頻度 | 1 月1回 | 10 | 55.6% | |
| | | 2 2～3ヶ月に1回 | 5 | 27.8% | |
| | | 3 週1回、それ以上 | 1 | 5.6% | |
| | | 4 2週に1回 | 1 | 5.6% | |
| | | 5 半年に1回、それ未満 | 1 | 5.6% | |
| | | 6 ほか | 0 | 0.0% | |
| 問7 | 意見 | 16 | 88.9% | | |

参考資料

| | |
|-------------------------------------------|----|
| 1. 市民アンケート調査の過年度調査との比較----- | 60 |
| 2. 市民アンケート調査の自由意見について----- | 61 |
| 3. 市民アンケートの地域別集計----- | 64 |
| 4. 市民アンケート調査票（依頼文、参考地図、設問票）----- | 79 |
| 5. 街頭インタビュー調査票（平塚駅南口用・北口用（調査員聞き取り票））----- | 83 |
| 6. 商店街アンケート調査票----- | 85 |
| 7. 企業（製造業）アンケート調査票----- | 88 |
| 8. 市民活動団体アンケート調査票----- | 91 |

1. 市民アンケート調査の過年度調査との比較

(今回アンケート調査(平成18年12月調査、一部次期総合計画アンケート調査(平成17年5月))と現行都市マスタープラン策定時アンケート調査(平成7年8月調査)との比較)

○回答者の年代が、60歳代^{注1}が6.1ポイント、70歳以上^{注2}が8.7ポイント増加。

注1：15.7%→21.8%、注2：8.2%→16.9%

○回答者の職業が、会社員^{注1}(8.7ポイント減少)と主婦^{注2}が減少(11.5ポイント)し、無職^{注3}が大幅に増加(15.8ポイント)。

注1：36.9%→28.2%(自営業は変わらず、パート・アルバイトは微増(1.8ポイント)、
注2：26.8%→15.3%、注3：9.9%→25.7%

○回答者の居住形態で、戸建て^{注1}が3.3ポイント、分譲マンション^{注2}が3.4ポイント増加し、賃貸マンション^{注3}が3.0ポイント減少。

注1：67.2%→70.5%、注2：7.7%→11.1%、注3：14.6%→11.1%

○定住意向は、「住み続けたい」が72%で変わっていない。

○まちの将来像は、設問の表現が異なるものの、「安全なまち51%、災害に強いまち51%、静かでおちついた住宅地45%」であったものが、「安全安心都市51%、生涯充実都市45%、子育て支援都市36%、生活快適都市31%(一部次期総合計画アンケート調査)」などとなっており、第一位の「安全安心」に対する要請は変わらず、少子高齢化に対応する「生涯充実、子育て支援」などの意識が顕在化してきている。

○住まい周辺については、選択数が2つから3つに増えているものの、「安全な生活道路の整備」「自然やみどり」に対する要請が大きい点は変わっていない。前回第三位の「幹線道路整備」と同レベルで第四位であった「医療施設などの充実」は、今回は幹線道路整備の約2倍の第二位となり、また前回幹線道路整備の約7割で第五位であった「商店街や駐車場の整備」が、幹線道路整備の1.6倍で第四位となるなど、身近な利便施設への要請が高まっている。

2. 市民アンケート調査の自由意見について

「これからの都市づくり」についてお聞きしました（回答数 765（記入率 43.2%））
めざすべき都市づくりの方向性や各分野の整備や活用の方向、都市づくりの進め方などについて、多彩なご意見、ご提案が寄せられました。以下に、主なご意見を紹介します。

■自由意見の紹介

| 大区分 | 小項目 | 意見例 |
|--------|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 暮らしの環境 | 人にやさしい | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障害者が尊厳を持って暮らせる町になりたい。 ・ベビーカー使用時、道の悪さ、段差等気になる。 ・駅前のバスを乗降する地下の階段は、体の不自由な人にとってとてもつらいものです。考えていただけたら、バスも使いよくなるのですが。 ・早急に西口の階段にエスカレーターの設置を望みます。 |
| | 安心安全 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害・犯罪のない都市づくり（水害対策を十分に）。 ・紅谷町、明石町をもっと市民が安心出来る安心な街作りに警察等と話し合ってもらいたい。特に夜間は歩けない悪い街であるのもっと知ってもらいたい。 ・街灯をもっとあかるくして欲しいです。とても夜怖いです。 |
| | 生活環境全般 | <ul style="list-style-type: none"> ・公害にもっと配慮した都市づくりをしてほしい。 ・なるべく無駄のない税金の使い方にして、今以上の住みやすい都市へ前進してください。 ・平塚ってきれいな町ですね。と人から見られたいです。 |
| 実現の方法 | 実現方策 | <ul style="list-style-type: none"> ・税の無駄に気をつけてスリムな市政を行って欲しい。 ・本当に必要なものだけをニーズに合わせ補ってあげれば良いと思う。守ること残すことに力を注いで欲しい。 ・あまりお金をかけず塗装したりして常に新しく見える様に。 ・平塚七夕まつりしか知られていない。もっとアピールするものが欲しい。 |
| | 規制・誘導 | <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺をはじめとして、あまりにもマンションの建設が多く都市景観が悪くなっている。高さ規制をする等、街の景観を美しくする街づくりをすべきだと思う。 ・子供達が多く通うスイミングスクールなどの施設と駅の間風俗店があるのが気になります。これらの店舗は一定の地域にまとまるようにしてほしいです。 |
| | 有効活用・運営 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設を新しくするより、施設のあり方、利用の仕方をもう一度工夫する必要があると思います。 ・海が有り、川が有り、丘陵地有りの平塚はいかようにも発展して行ける希望が有ると思います。市全体の町づくりが必要と思っています。 |
| | モラル・マナー | <ul style="list-style-type: none"> ・交通ルールやマナーの悪さが目立ちます。信頼できる安心できる街づくりが必要と考えます。それには小さな時からの教育だと思います。 ・点字ブロックに自転車を停める人が多いからなんとかならないだろうか ・公園が犬の広場になっている。マナーを守ってもらいたい。 |
| | 市民参画 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民がもっと行政に参加できるようにいろいろな会合を増やして欲しい。周知もして下さい。 ・市民のアイデアを市が具体化し、市は補助役に徹するのがこれからの行政のあり方。市民が喜べる環境は市民がつくる、まちは市民がつくりあげる！がこれからの進む道だと思う。 |
| | 地域活性化、格差 | <ul style="list-style-type: none"> ・平塚駅を中心よりのサービスばかりで、市のはずれの方にはサービスが全体に不足しているように感じます。税金は同じなのに不公平感があります。 ・予算がないと言わず、困ってる所から良く見て改善に行って欲しい。同じ市民でありながら不公平と感じる。 |

| | |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>道路・交通</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・道路渋滞をどうにかしてほしい。 ・駅前ロータリーの再開発が必要。（一般車・タクシー・バスがごちゃごちゃして危ない）。 ・幹線道路からはずれると歩道が整備されていない道路が多いので、子供や老人が安心して歩ける道路整備を全体的に思慮して欲しい。 ・住宅地周辺道路の整備不足（横内・真上）道路に歩道があっても狭すぎて凸凹状態で利用出来ない場所が多い。道路の自転車の通行帯がなく危険な場所が多い。車道と歩道の境目はバリアフリーにして柵を設置する様にする方が良い。 ・平塚駅を利用したいのですが、乗り継がなくてはいけないため伊勢原へ出てしまう。バス路線が欲しい。 ・今後の平塚市の発展のためには、鉄道の整備が必要と考える。25万人規模で駅が一つの都市は例がないそうだ。 ・そこそこの文化・スポーツ施設があり、子育てには十分良い町でした。しかし将来を考え、交通の便の良い都内への移転を考えています。 |
| <p>中心市街地・商業</p> | <p>商業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街に活気がなく賑わいが無い。若い人の歩く姿が少ない。ある物を買いたい、でも平塚にないので、電車に乗って他の市に行く。商品数が圧倒的に少ない。専門店が少ない。 ・平塚駅にデパートが増えとうれしいです。住んでいる所の近くに食品と衣類が充実した大きなスーパーがあると車を利用しない主婦にとってはうれしいです。 ・平塚のイメージは「古い」のひとことに集約すると思います。改善は商業施設に負うところが大きいと思われませんが「新しい」と思われる町にしていくことが一番大切かと思えます。 <p>賑わい・活気・楽しさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に駅周辺に関して、土地が空くとすかさずマンションになってしまうのは平塚を活性化させるのに悪影響を与えていると思う。ますます町としての賑わいが失われる。元凶になる。 ・環境や健康も大切ですが、活気のある街であることが前提。 ・駅周辺に買いやすい店がない為に駐車場付の大型店に買物に行きます。歩いていて楽しい町づくりを希望しています。 |
| <p>景観・みどり・自然</p> | <p>街並み・景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平塚駅周辺の景観を整えてほしい。例えば、建物の色の規制。 ・市街地の環境整備にもっと力を入れて欲しい。特に景観！！派手な色、見苦しい看板は要らないと思います。 ・住宅と住宅のあいだの距離、高さをはっきりさせて大磯町のように街の景観をきちんとすべきだと思います。将来のため。 ・景観を重視した誇れる都市づくりを進めてもらいたい（電柱、標識多すぎる）。 <p>自然・みどり・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海と山の自然がある市なので、その自然を大切にきれいなまちづくりをしてほしいです。 ・緑や自然を大切に保管し、逆に緑化に力を入れてもらいたい。 ・海岸、丘陵に恵まれた事を生かしていない。 ・相模川流域周辺に緑と自然を取り入れたハイキングコースのような市民が利用出来る施設を考えてもらいたい。 ・平塚市の特性である海岸、農地、丘陵地は保全して欲しい。一度壊したものは元に戻らないと思うし、将来の子供達の為にも残して欲しい。 ・意味の無い都市開発は必要はありません。特に真田北金目地区は乱開発に近いと思います。緑を大切にしてほしい。 ・里山の適切な保全が喫急であり、市がボランティアの力を借りて、最小限竹と笹だけでも現状以上の拡大を防止する活動を。 ・ボランティアの里山保護活動が逆効果な場合もあるので、適切な保全活動を指導すべき。 |

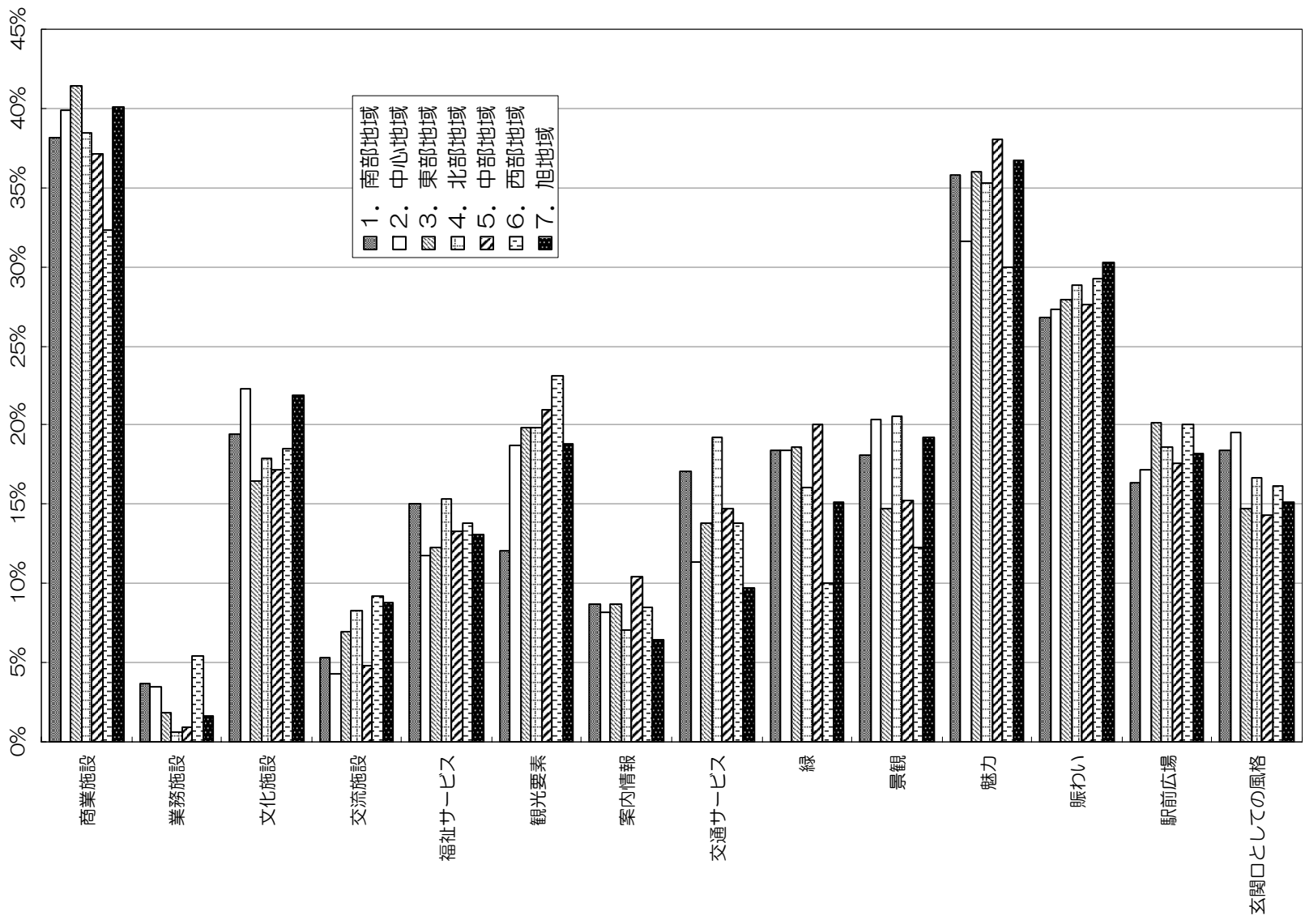
| | |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>公益施設について</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・公園を増やして欲しい。子供と安心して遊べる空間がほしい。 ・交通量が多い道路の横の公園は、排気ガスでくさいのが気になったり、とびださないか心配になる。又、どの公園の砂場も犬、猫のフンがしてあって（公園内にも）衛生面が気になります。 ・子どもたちの体作りのためにもスポーツ施設を充実して欲しい。せっかく地元でベルマーレがあるのだから、もっと活用すべきだと思う。 ・高齢化社会に向けて気軽に皆がつどえるサロン形式の施設が増えます様に！！質素で充分です。心ゆたかに暮らせれば。 ・年金ではいれるぐらいの福祉施設が出来るといいと思います。 ・コンサートや演劇を観るところがない。市民センターはあまりに狭くきたないので早急の立替えも望む。平塚西図書館の開館時間を週一でもいいから7時までにしてほしい。平塚西地区に桃浜庭球場のようなテニスコートが欲しい。 ・きれいな公衆トイレをつくってほしい。 ・これが平塚だ…という、人が多く集まる施設を作ってもらいたい。 |
| <p>都市づくりの視点</p> | <p>平塚らしさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湘南の一部としての海のイメージを強くもてるリゾート地。平塚市は対外的に認知されていない。 ・平塚の歴史、文化を子供から大人までが知る機会を多くし自分の町のよい所を自覚できるようにしたい。それからお互いの話し合い交流を通して誇りをもてるようにしたい。 <p>コミュニティ・コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人として生きる為に必要な豊かさとは何かとシンプルに考えた時、老若男女を問わず楽しめる（コミュニケーションできる）街づくりを考えるべきです。個の利益より人としての財産を養いたいものです。 ・すごく都会でも田舎でもなく・・・つまりほどよい人間関係を保ちながら、清潔で美しく住みやすい町になると良いと思います。 <p>子ども・若者等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子育てするなら平塚市がいいよ」と、口コミで伝わるような子育てがしやすい都市になって欲しい。 ・子供達といっしょに釣りが（川・海）出来る場所を作ったらいいと思う。子供は外で遊ぶことが楽しいようなところを多く作る。 ・若い世代にとって、魅力ある市政を考えて欲しい。地域の高齢化でコミュニティとしての活力が感じられず、福祉面等でも貧弱。高齢化ばかりでなく、他の世代もフォローしてほしい。 |
| <p>産業</p> | <p>農・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業がこれ以上減らない政策・アイデアを、自給率と里山を視点にしつつ。 ・自然を大切に自給率の高い市を築く為、一次産業を隆盛させ、商工業の発展で経済と労力を力強く鍛える。高齢者の技術を活用したい。 ・漁・農業での平塚ブランドの定着させる港での朝市（定期的）は活性化が必要。 <p>産業環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場産業（工業、産業）の活性化と「人に優しい町づくり」を目指して欲しい。 ・働く場所が少ないので産業の活性化や抜本的な地域の建て直しが必要だと思います。 ・第2 東名、相模新貫道路の完成を踏まえて流通用地の拡大を目指すべき。特に大神はツインシティーの実現を望む。 |
| <p>その他</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・商業、農業、工業、文化、教育、色々な面で中途半端な印象です。地区毎の特色を出して、何に力を注いでいくのがいいのか考えて行ってほしい。そして平塚市全体がバランスのとれた町になると良いと思います。 ・私達住民は新しいものや便利なものだけを望んでいる訳ではない。今ある、またはなくなってしまった大事なものを守る事が本当の都市づくりではないか。安易な人口増加の街づくりではなく、人と人との関わりが深くなるようなやさしさももてる余裕のある街づくりを行ってほしい。 |

3. 市民アンケートの地域別集計

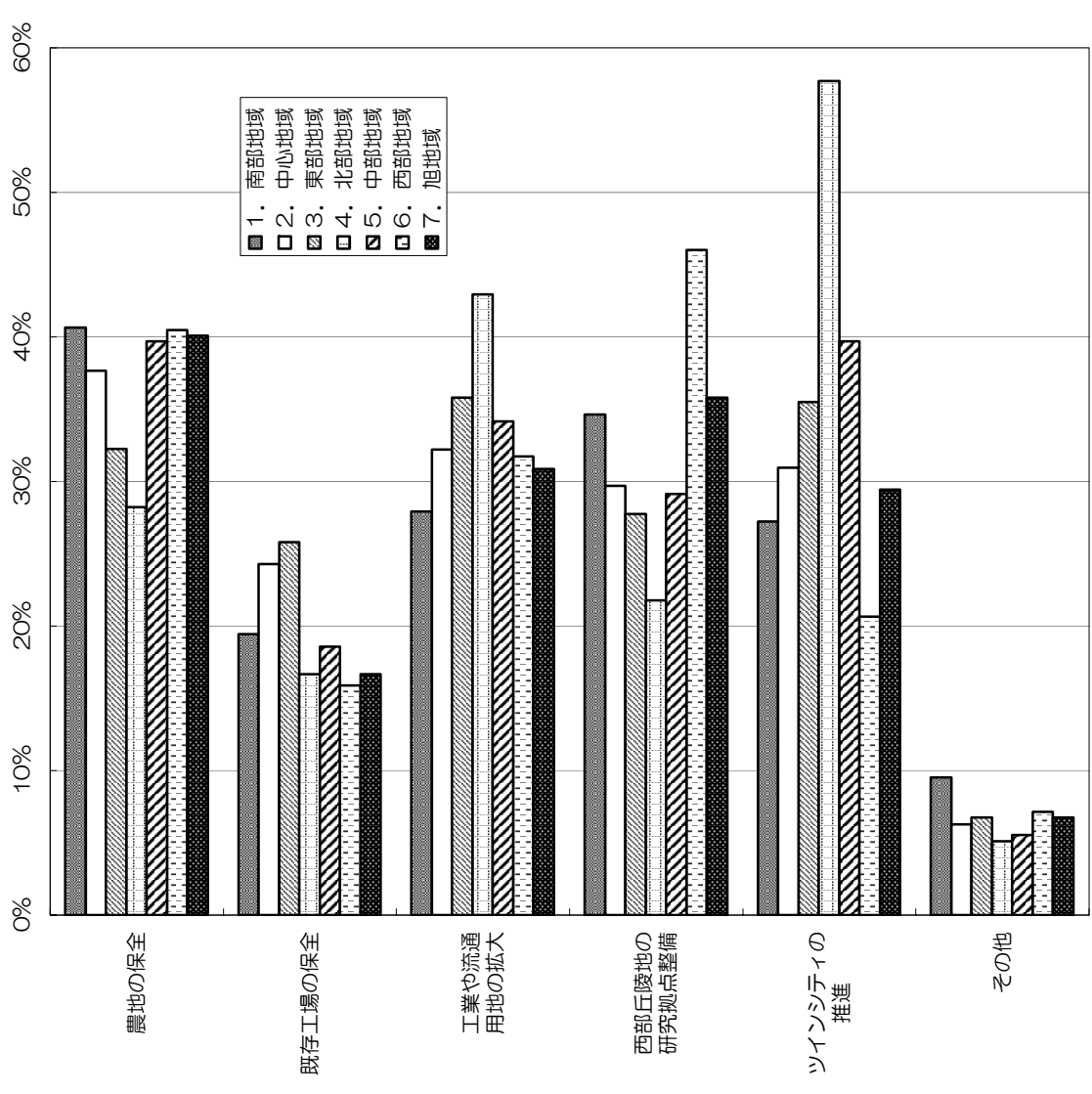
地区別集計目次

| | | |
|----|-------------------------------|--------|
| 問1 | (1) 駅周辺の中心市街地で不足しているもの | 65 |
| | (2) 平塚駅周辺の中心市街地以外での街づくりで重要な点 | 65 |
| | (3) 都市の価値を高めるために重要なこと。 | 66 |
| 問2 | (1) 住まい周辺で特に力を入れて欲しいこと | 66 |
| | (2) 将来の住まいについての考え | 67 |
| | (3) 将来の暮らし方でとくに必要と思われるもの | 67 |
| 問3 | (1) 海岸のあり方について | 68 |
| | (2) 農地のあり方について | 68 |
| | (3) 丘陵地のあり方について | 69 |
| 問4 | (1) 道路・交通環境で「特に改善が必要である」もの | |
| | ①自宅近くの歩く環境の改善点 | 69 |
| | ②自宅近くの自転車の環境の改善点 | 70 |
| | ③車の走行環境の改善点 | 70 |
| | ④駅周辺の交通環境の改善点 | 70 |
| 問4 | (2) ①鉄道で改善が必要なこと | 71 |
| | ②バスで改善が必要なこと | 71 |
| | ③平塚駅で改善が必要なこと | 72 |
| 問4 | (3) 今後の交通政策で優先すべきこと | 72 |
| 問5 | (1) 公共交通の利用状況①鉄道 ②バス ③車 ④タクシー | 73 |
| | ⑤バイク ⑥自転車 | 74 |
| | (2) 駅利用状況①平日 ②休日 | 74 |
| | (3) 駅までの交通手段①平日 ②休日 | 75 |
| 問6 | (1) ①公益的施設の改善点 | 75 |
| | ②自宅近くの公園の改善点 | 76 |
| | (2) 公益的施設の建設や整備の考え方 | 76 |
| 問7 | (1) 回答者の属性—年代 | 77 |
| | (2) 回答者の属性—性別 | 77 |
| | (3) 回答者の属性—住所(17地区) | 本文2頁参照 |
| | (4) 回答者の属性—職業 | 77 |
| | (4) 回答者の属性—現在同居している家族の構成 | 78 |
| | (5) 回答者の属性—お住まいの形態 | 78 |

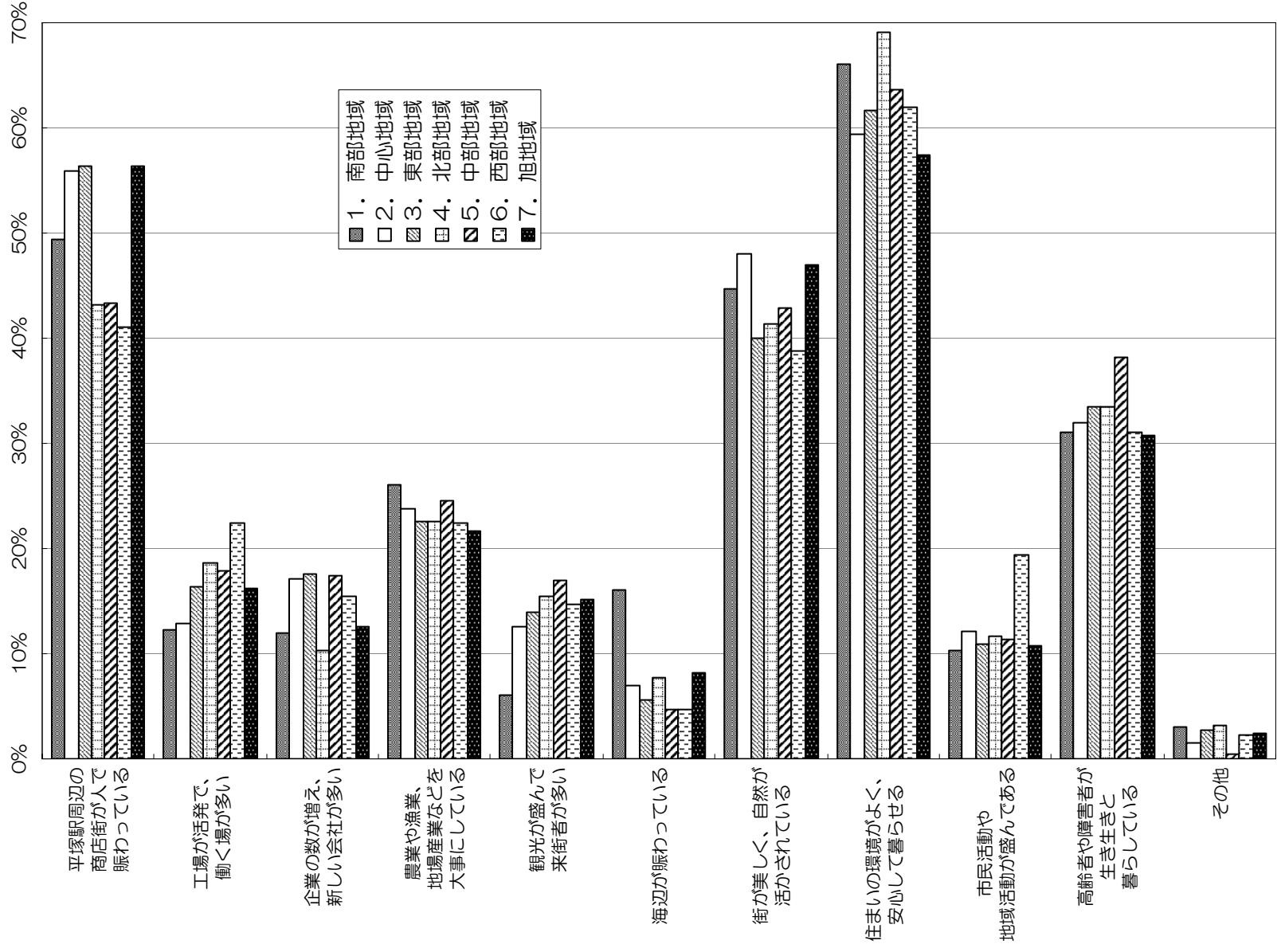
問1(1) 駅周辺の中心市街地で不足しているもの(3つまで)



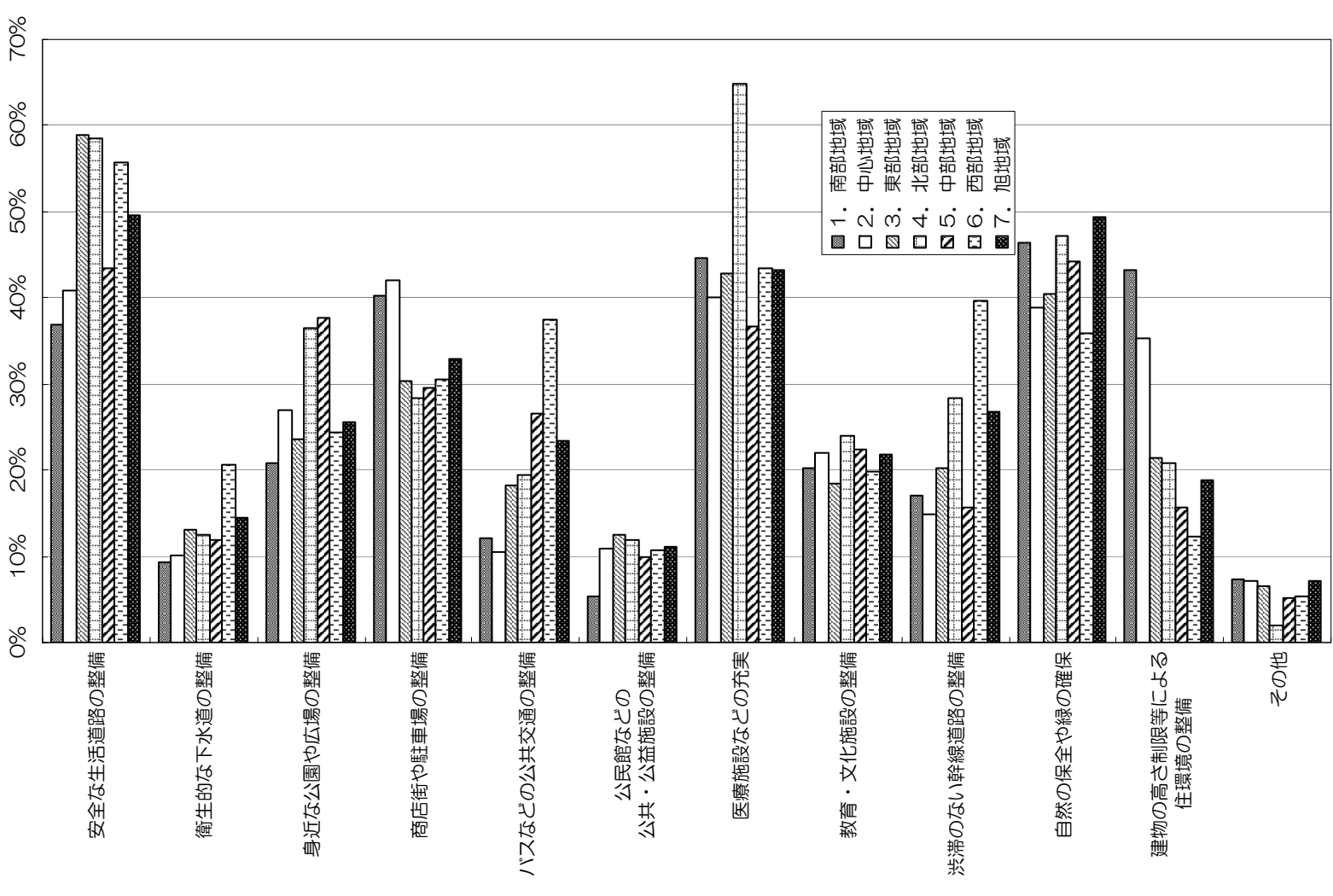
問1(2) 平塚駅周辺の中心市街地以外での街づくりで重要な点(2つまで)



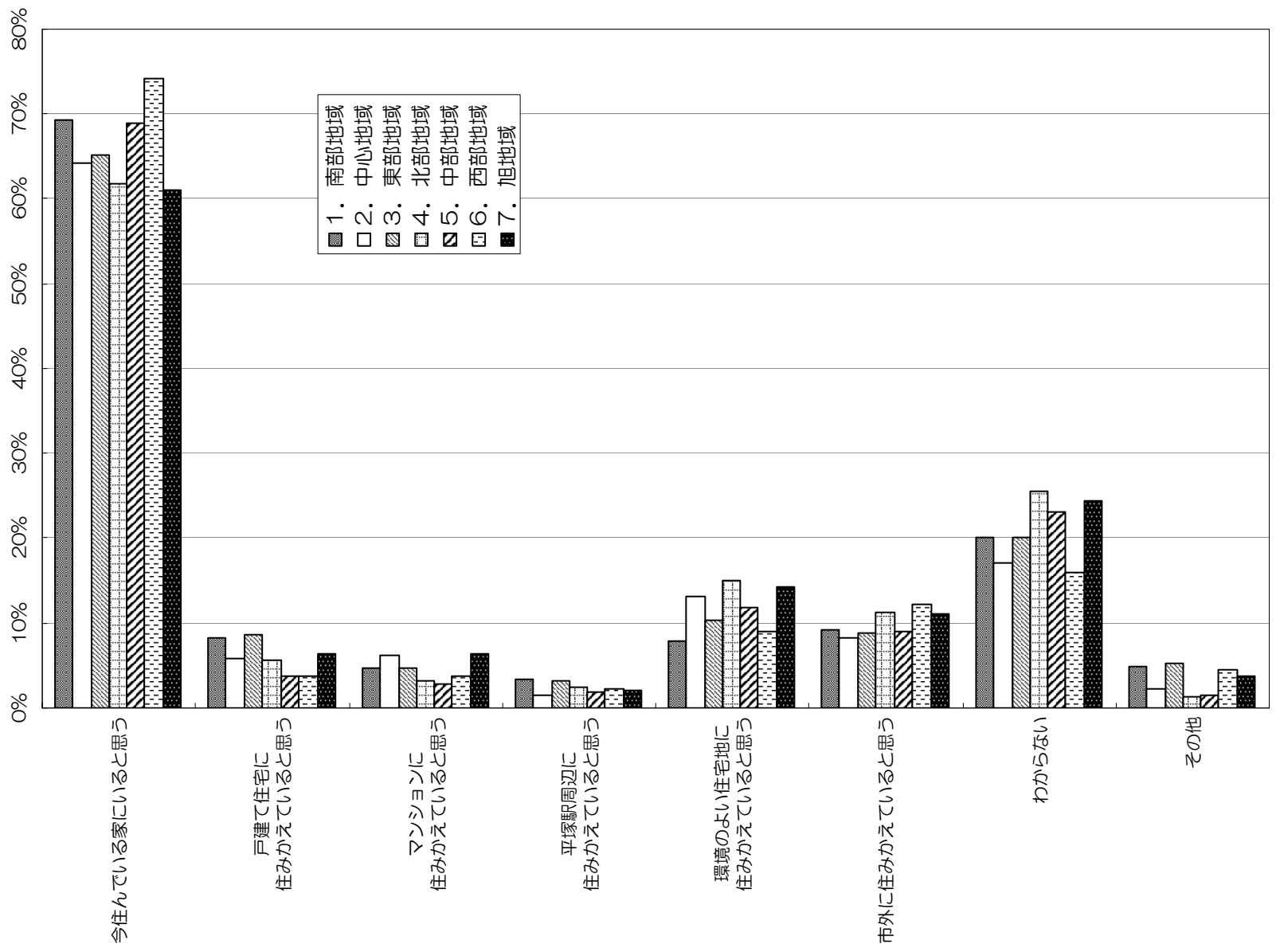
問1 (3) 都市の価値を高めるために重要なこと (3つまで)。



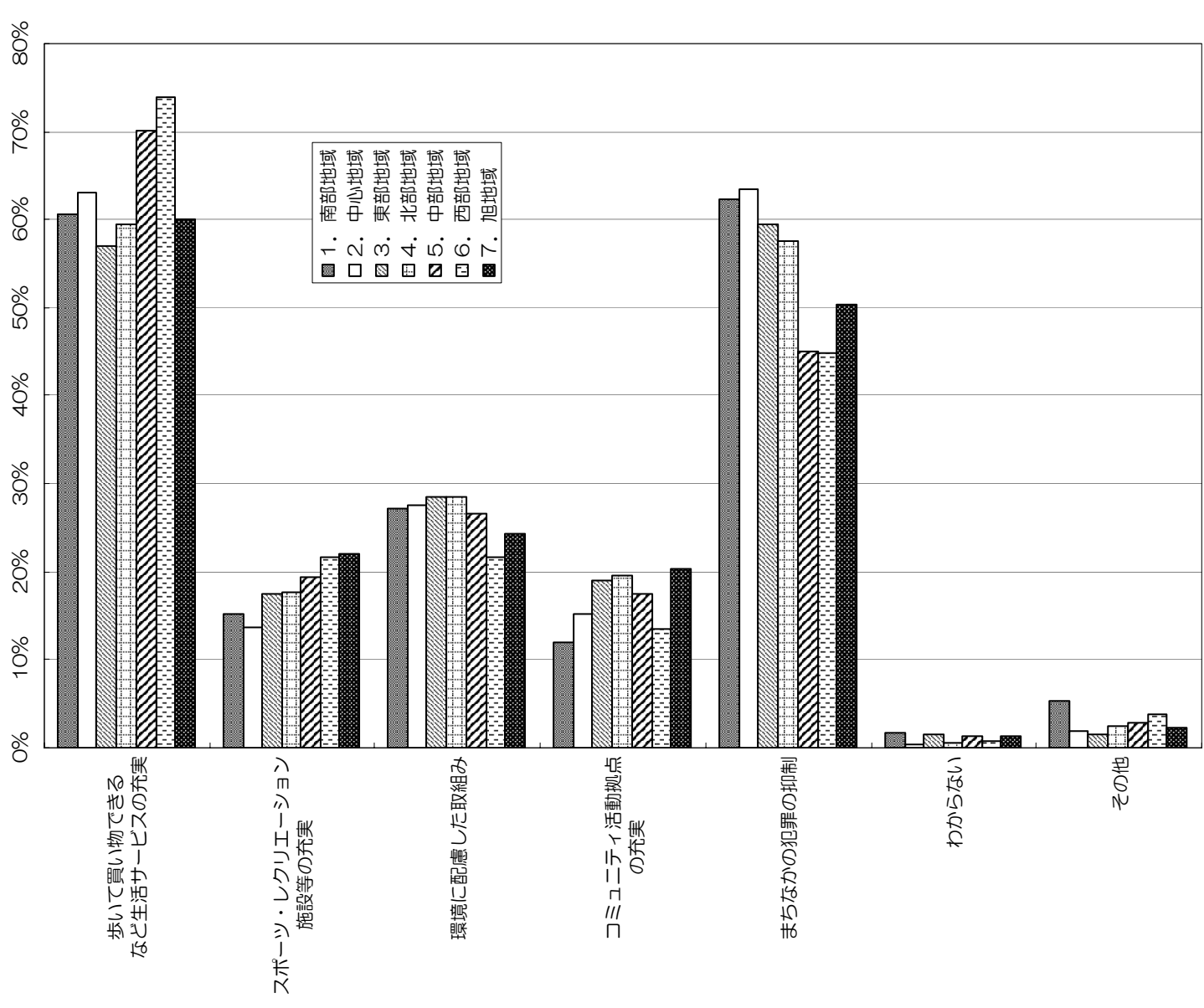
問2 (1) 住まい周辺で特に力を入れて欲しいこと (3つまで)



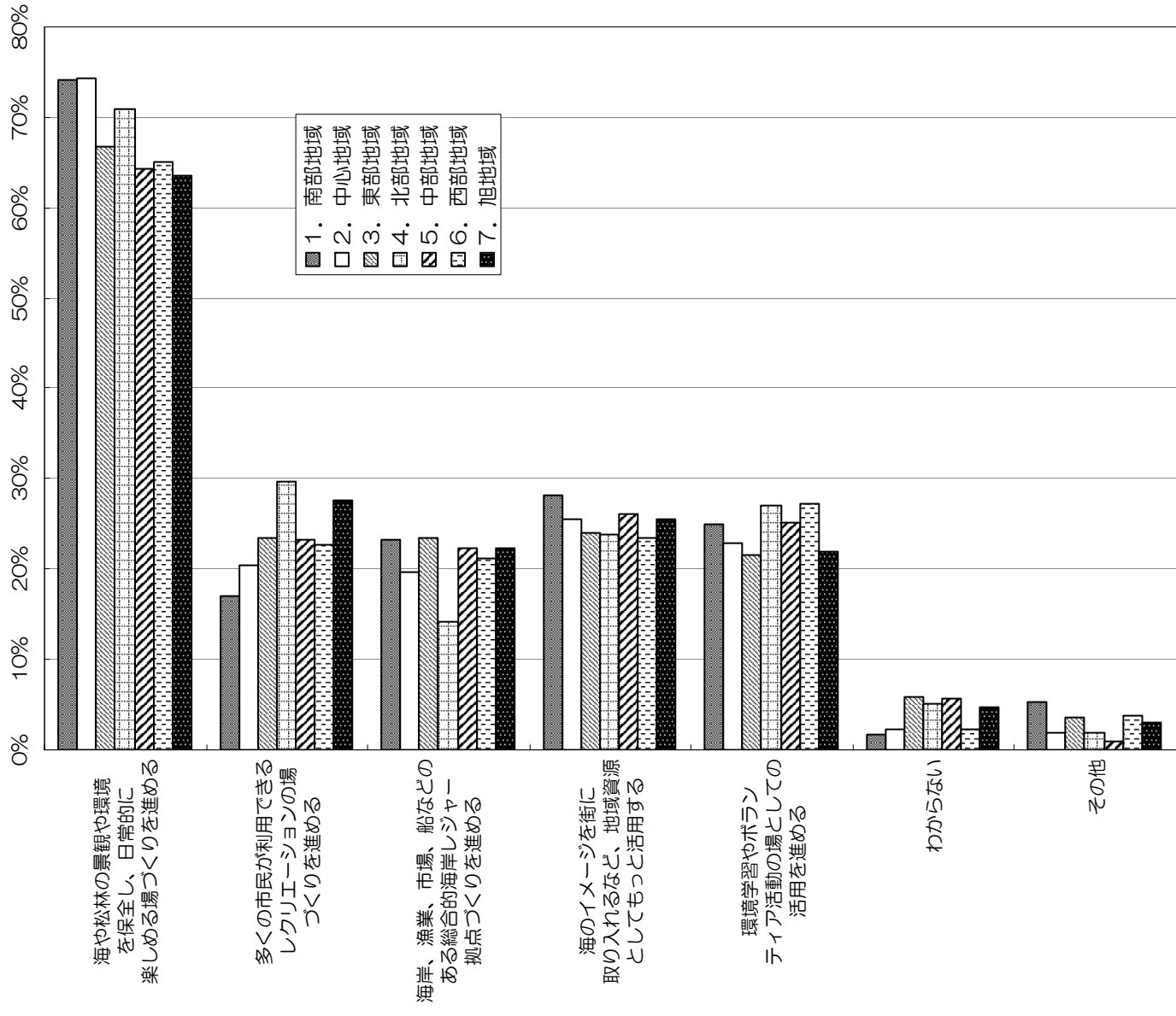
問2 (2) 将来の住まいについての考え (2つまで)



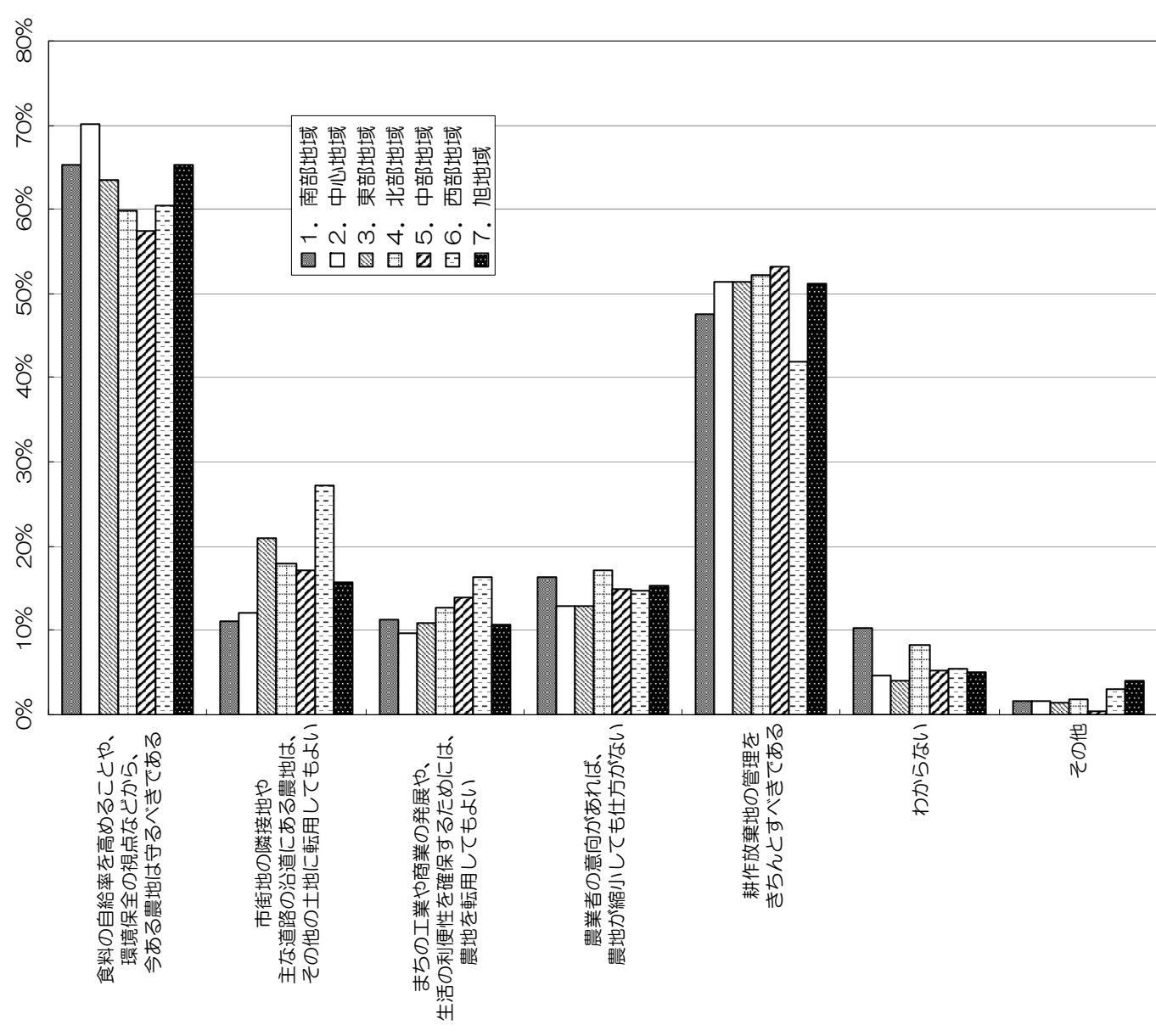
問2 (3) 将来の暮らし方でとくに必要と思われるもの (2つまで)



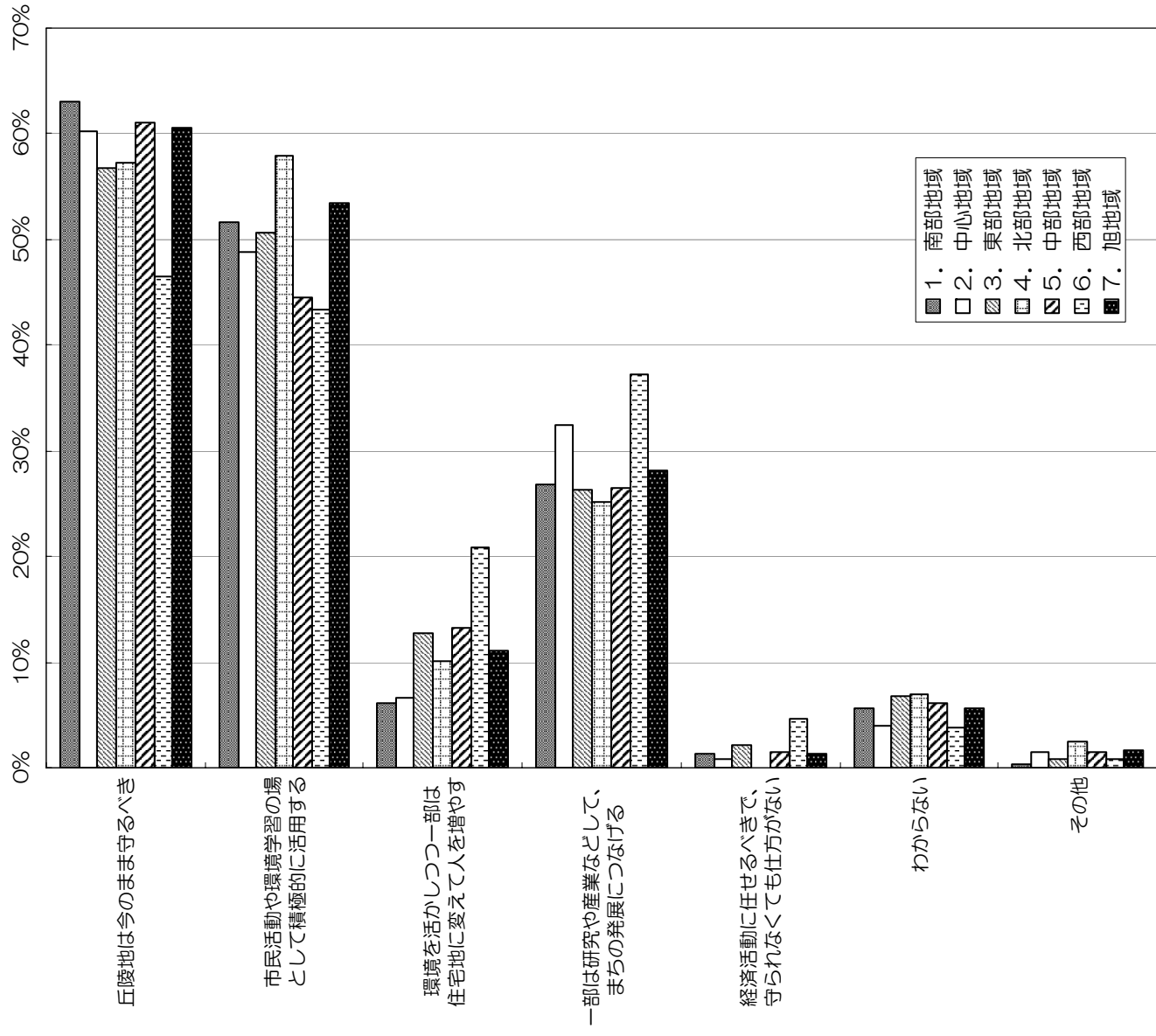
問3 (1) 海岸のあり方について (2つまで)



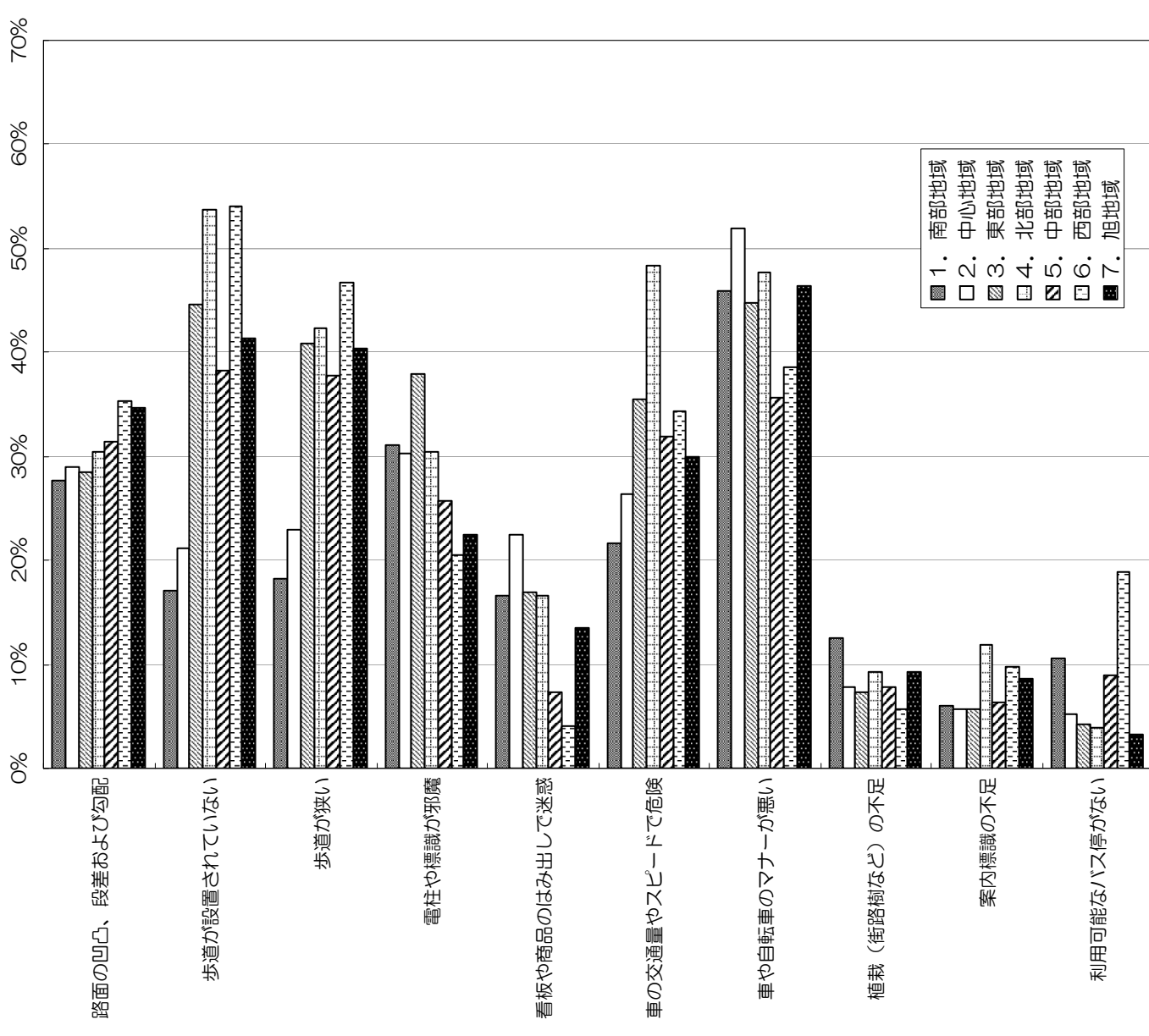
問3 (2) 農地のあり方について (2つまで)



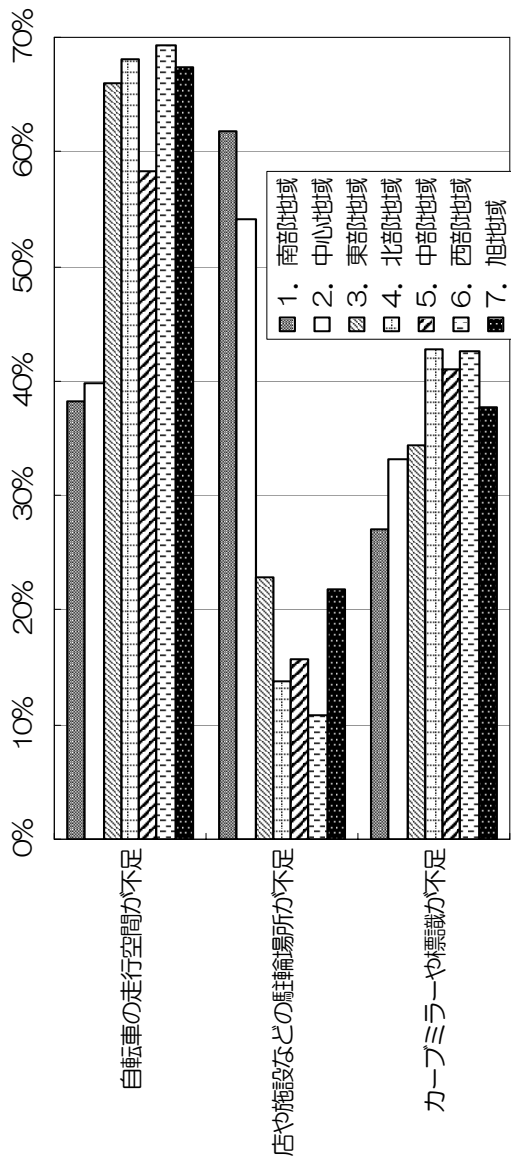
問3 (3) 丘陵地のあり方について (2つまで)



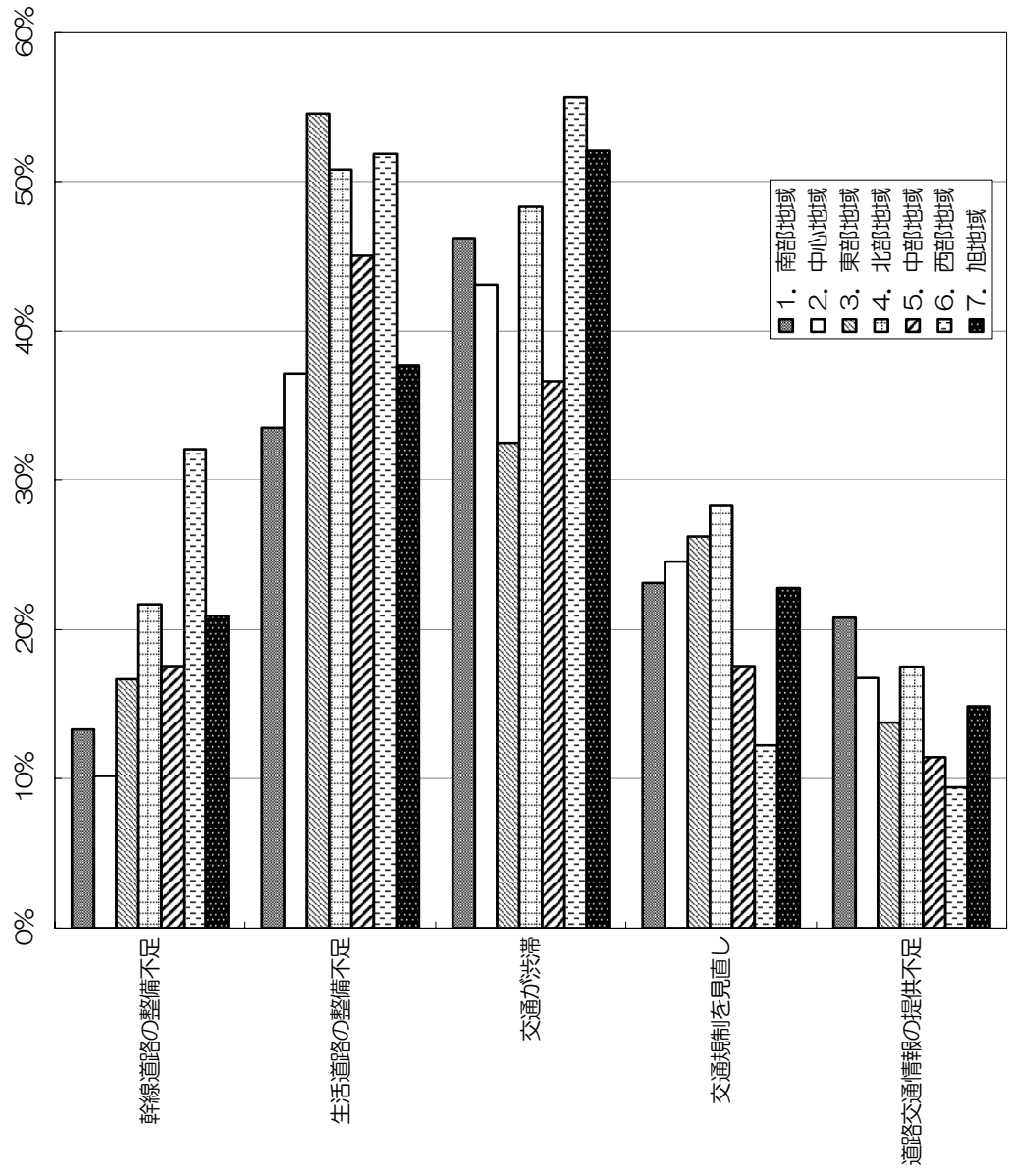
問4 (1) 道路・交通環境で「特に改善が必要である」もの (いくつでも)
①自宅近くの歩く環境の改善点



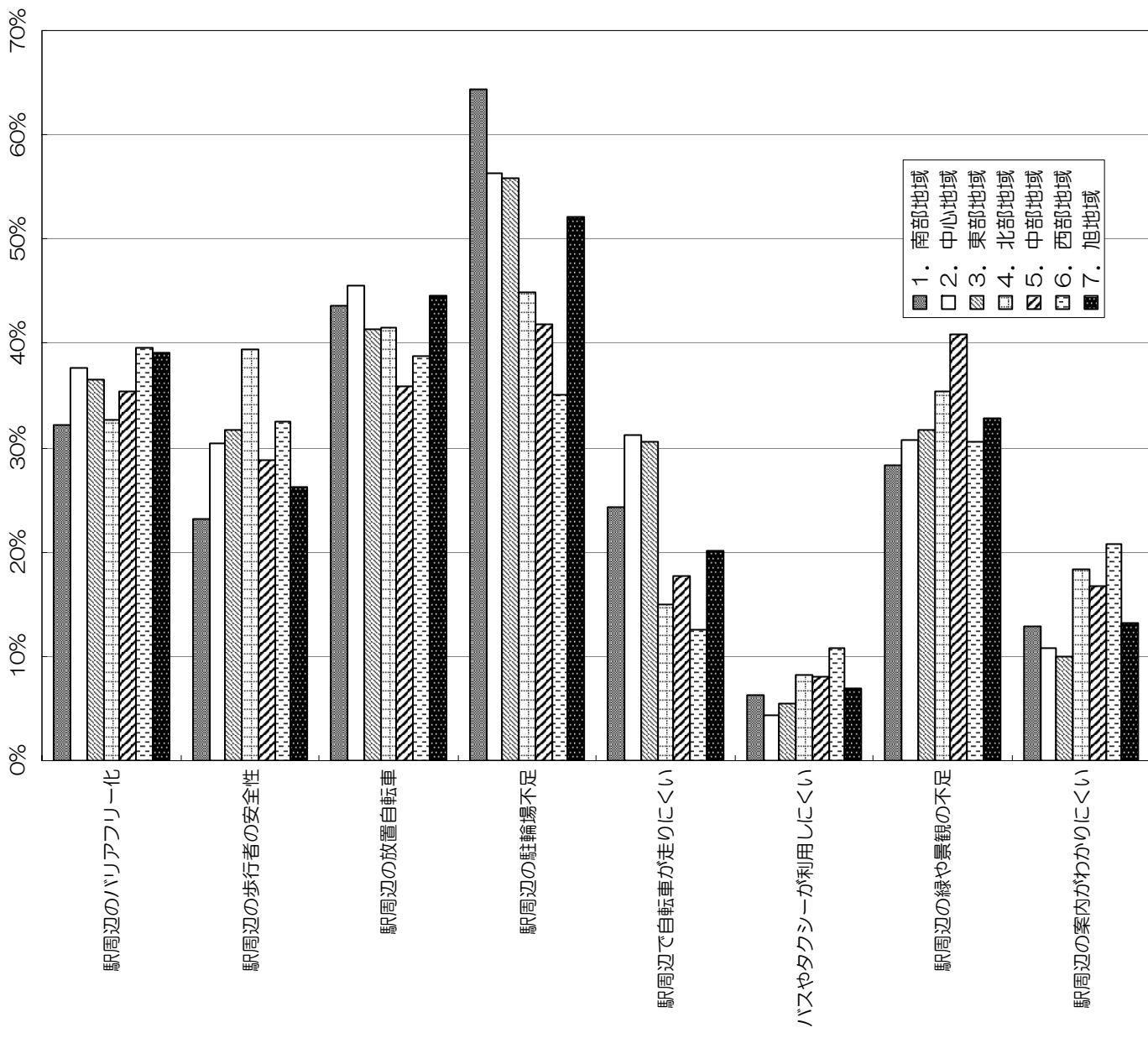
問4(1)②自宅近くの自転車の環境の改善点



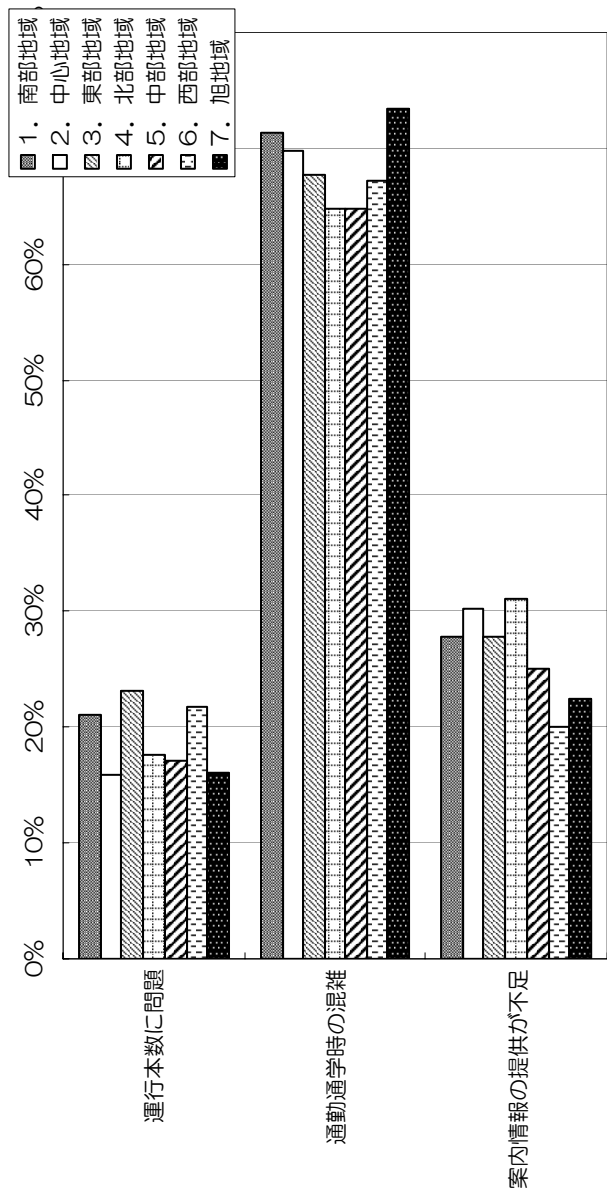
問4(1)③車の走行環境の改善点



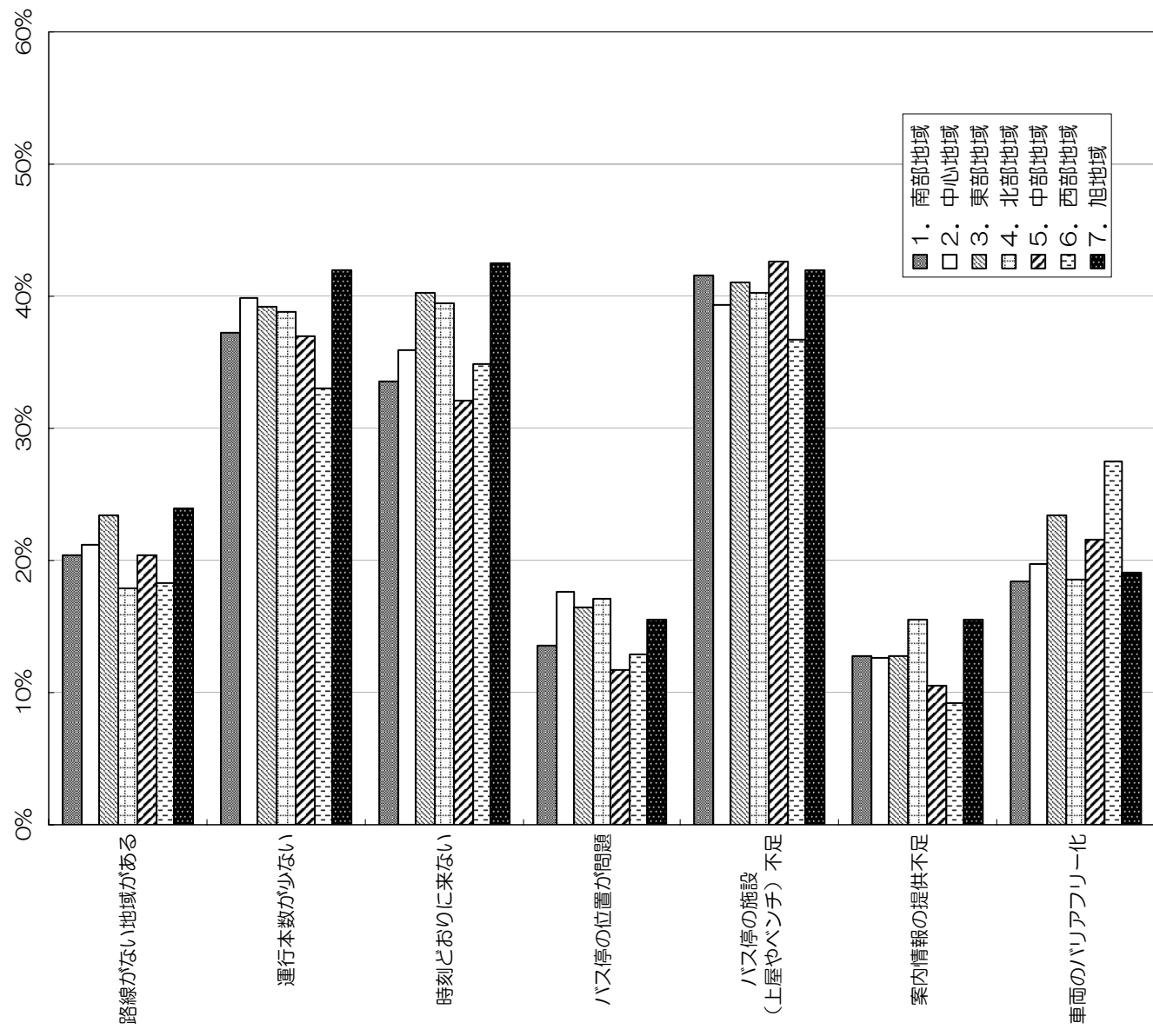
問4(1)④駅周辺の交通環境の改善点



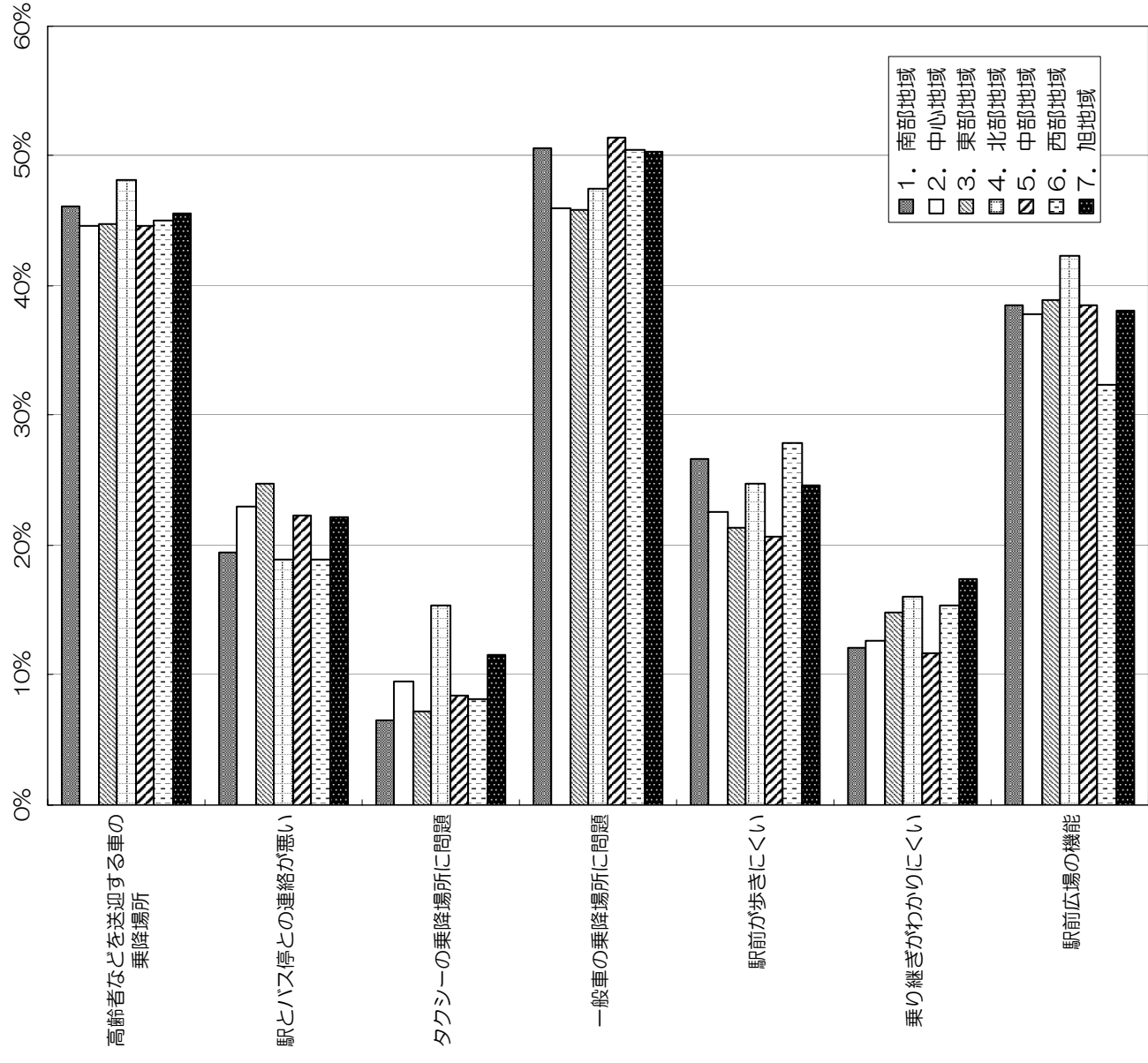
問4(2)①鉄道で改善が必要なこと



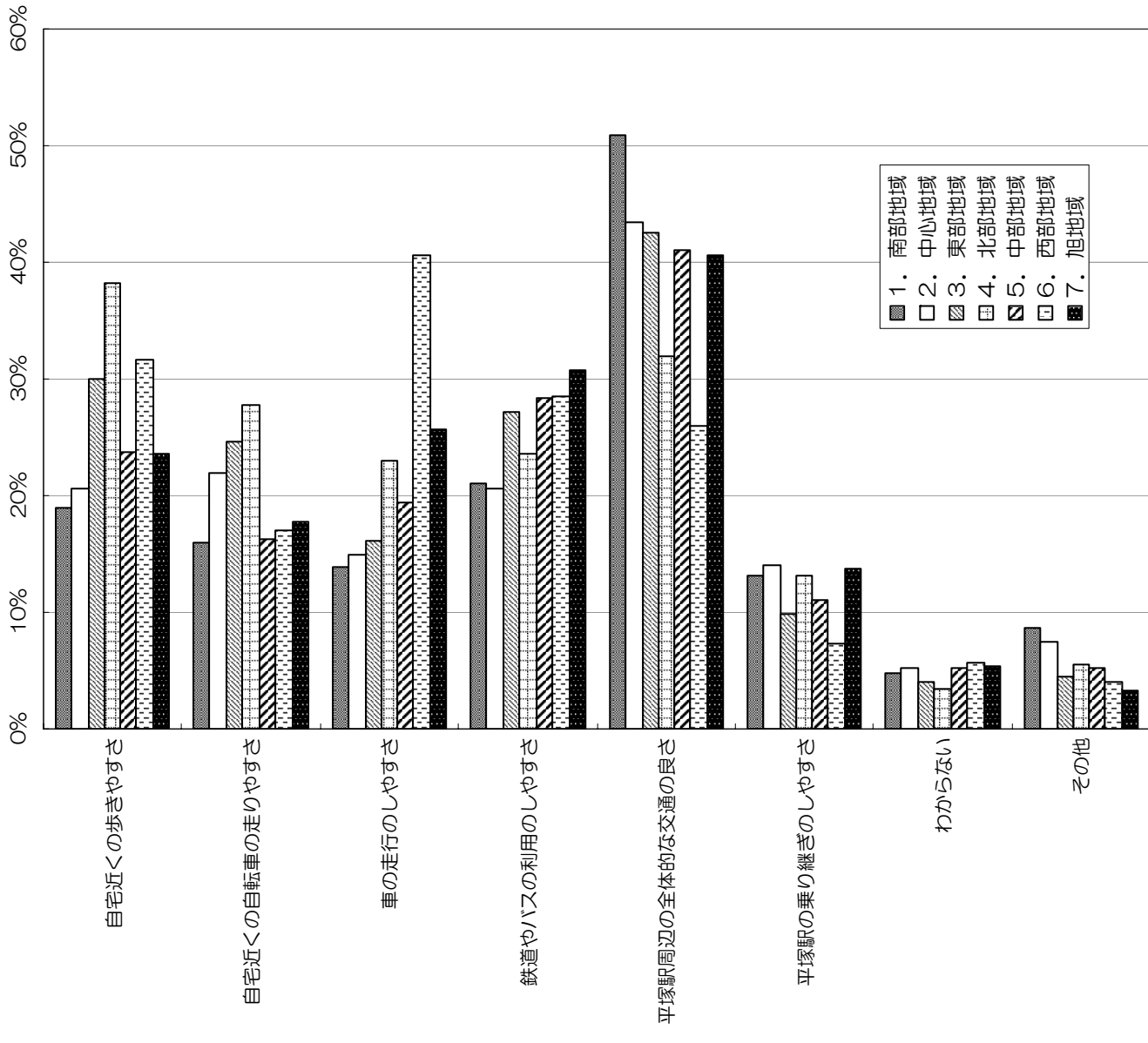
問4(2)②バスで改善が必要なこと



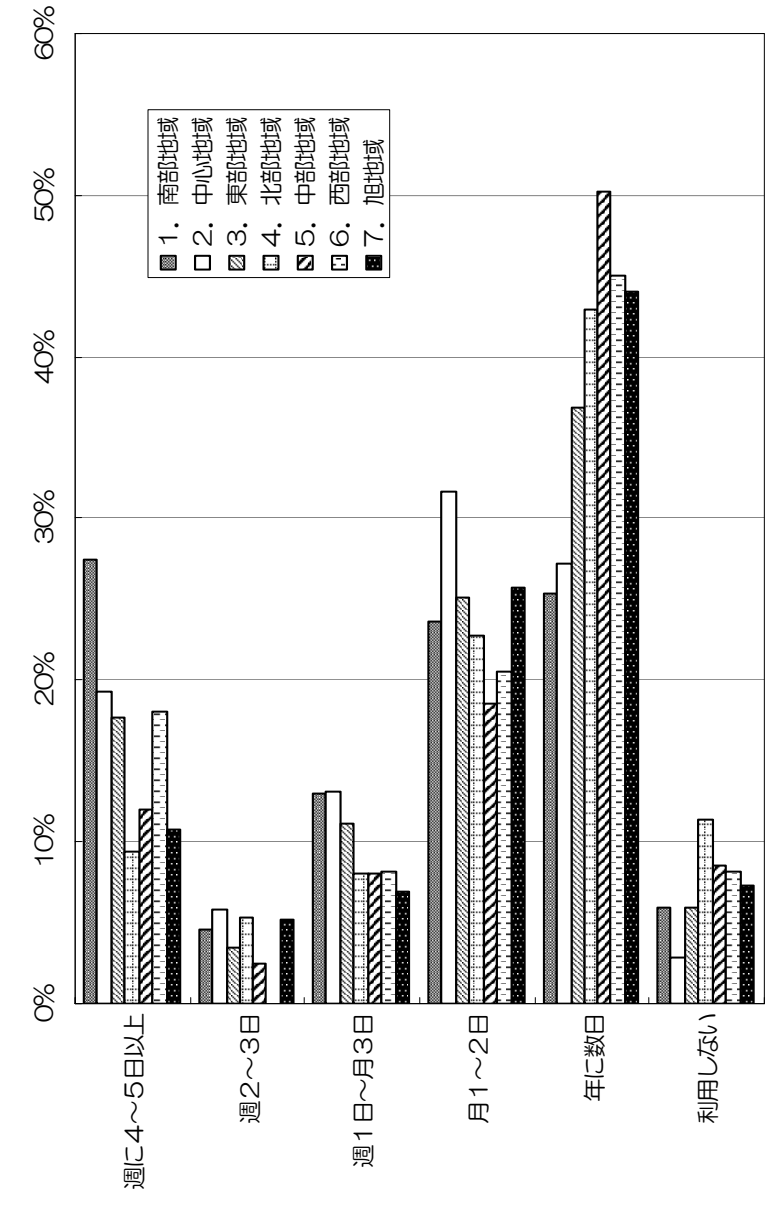
問4 (2) ③平塚駅で改善が必要なこと



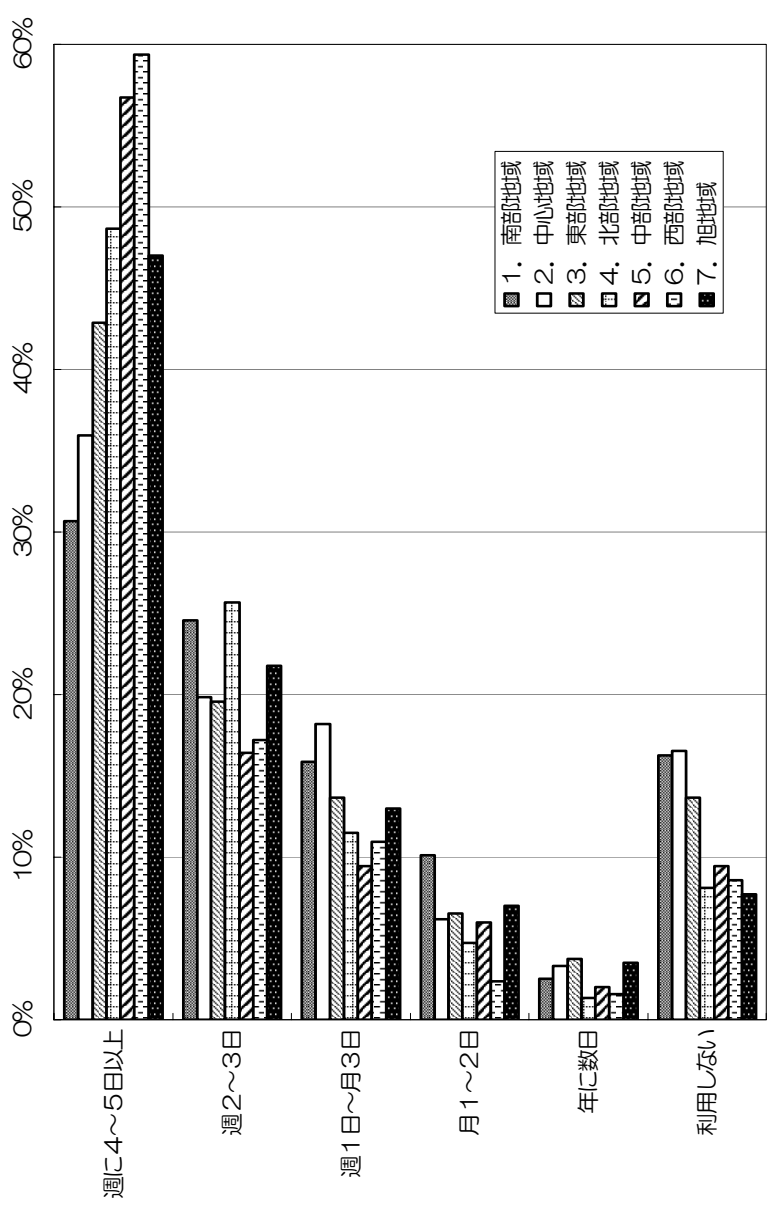
問4 (3) 今後の交通政策で優先すべきこと



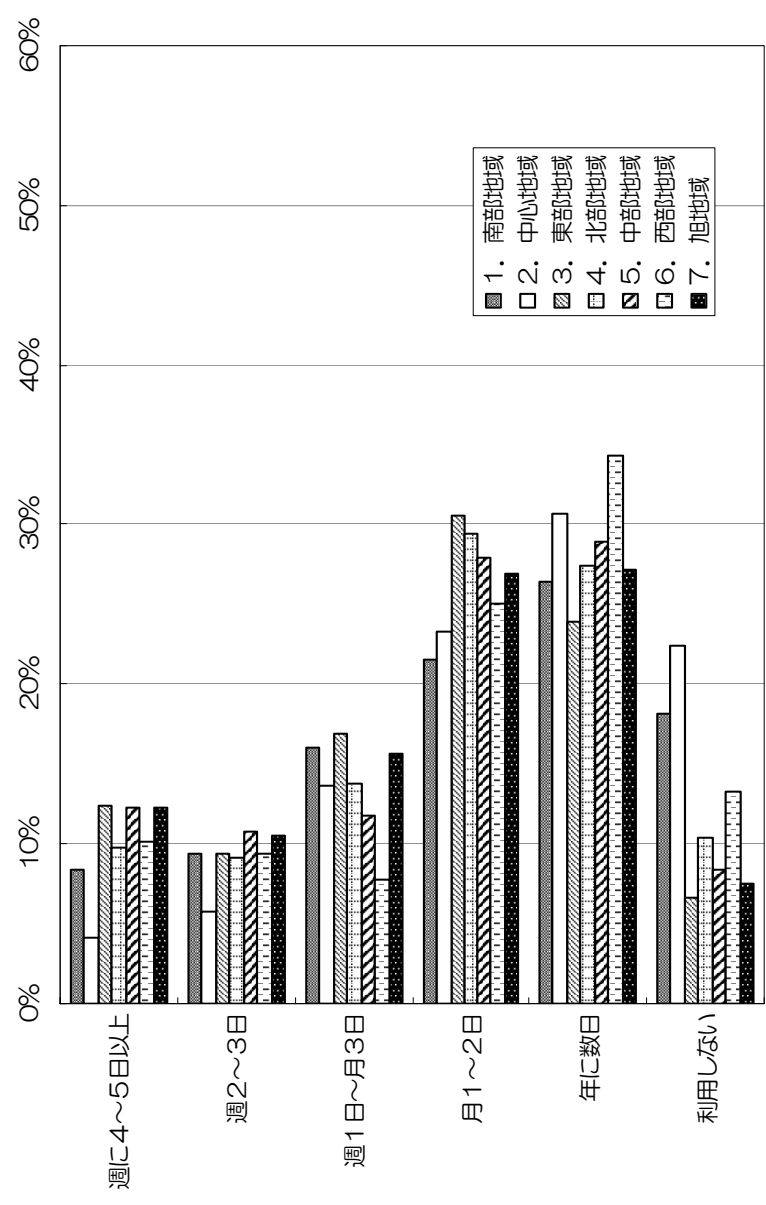
問5 (1) 公共交通の利用状況①鉄道



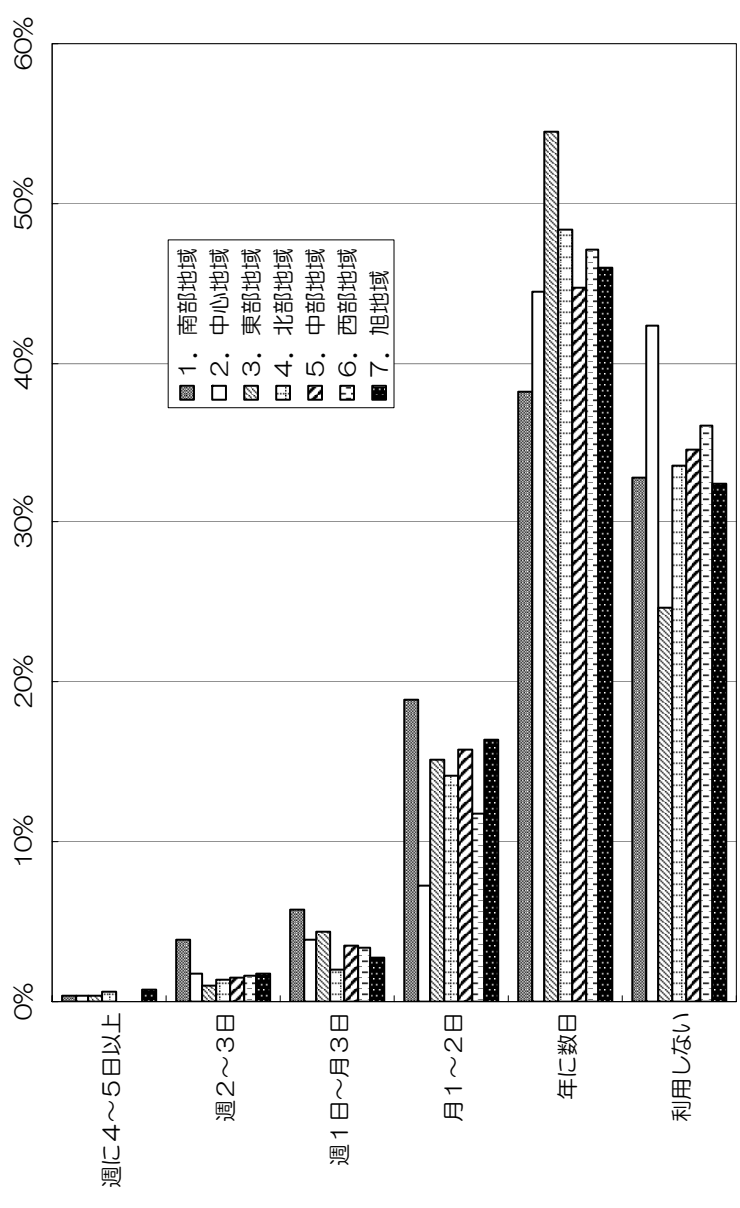
問5 (1) 公共交通の利用状況③車



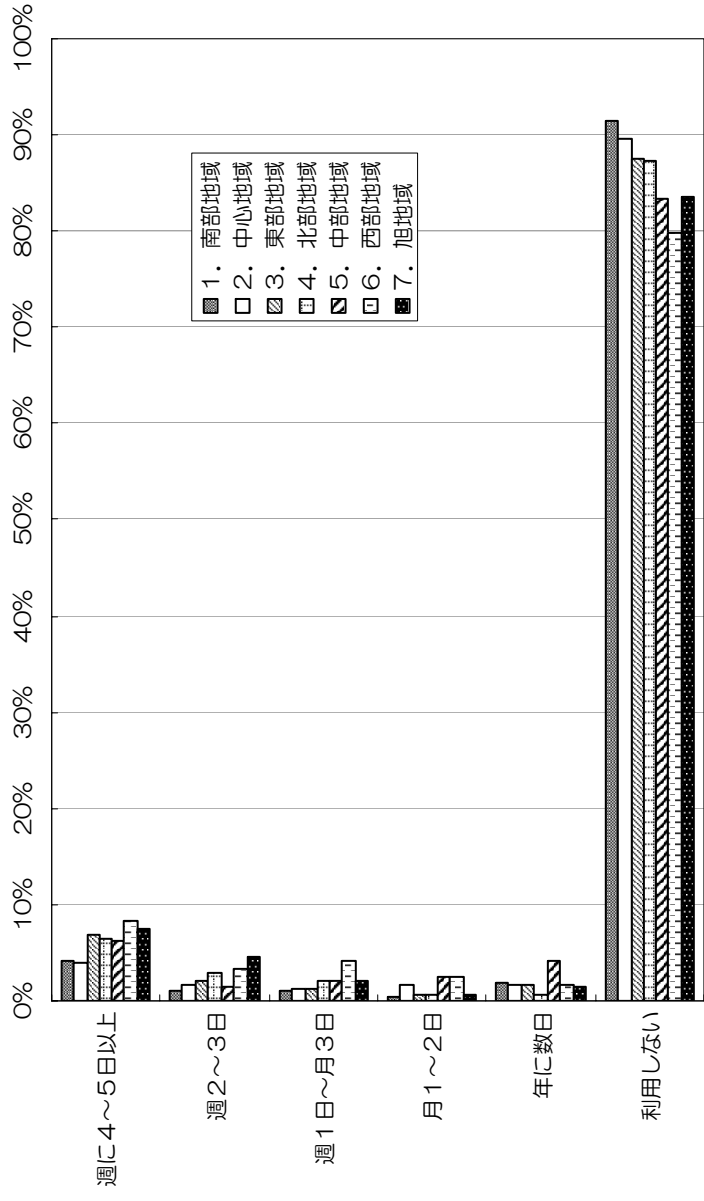
問5 (1) 公共交通の利用状況②バス



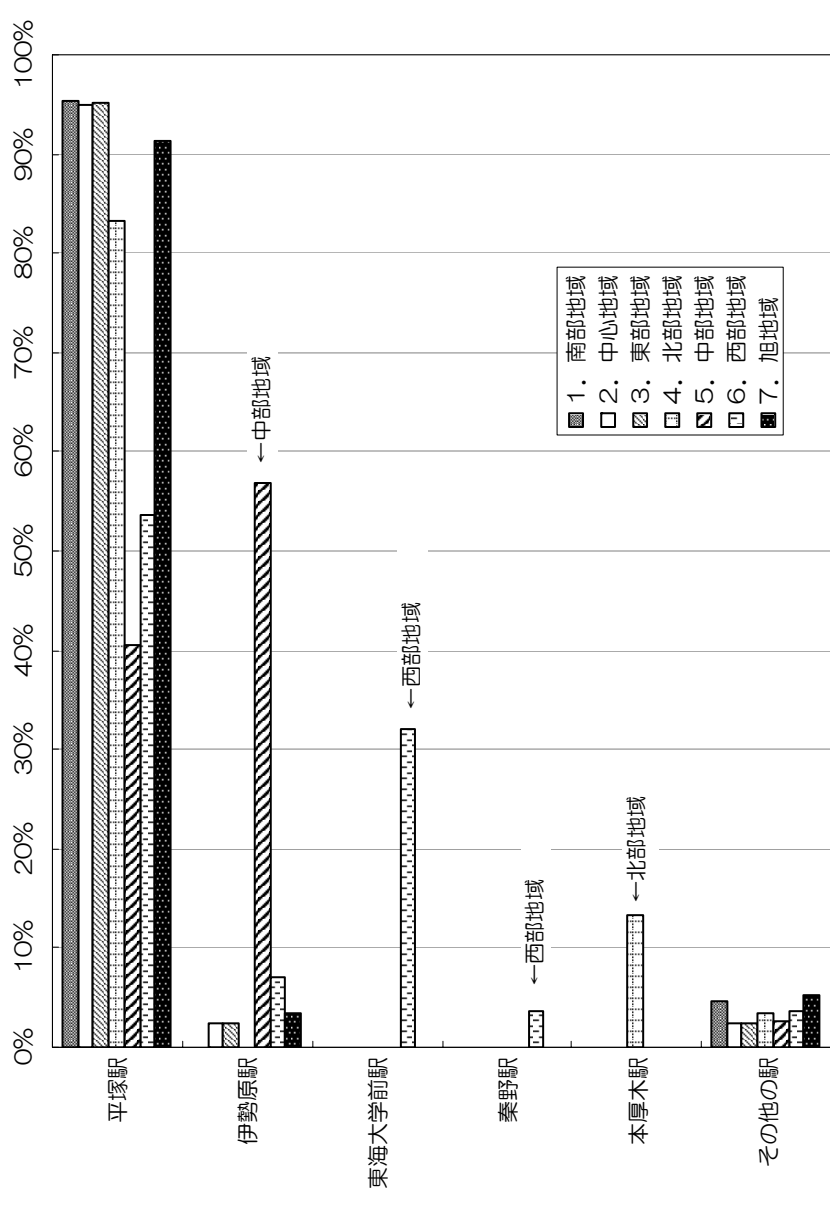
問5 (1) 公共交通の利用状況④タクシー



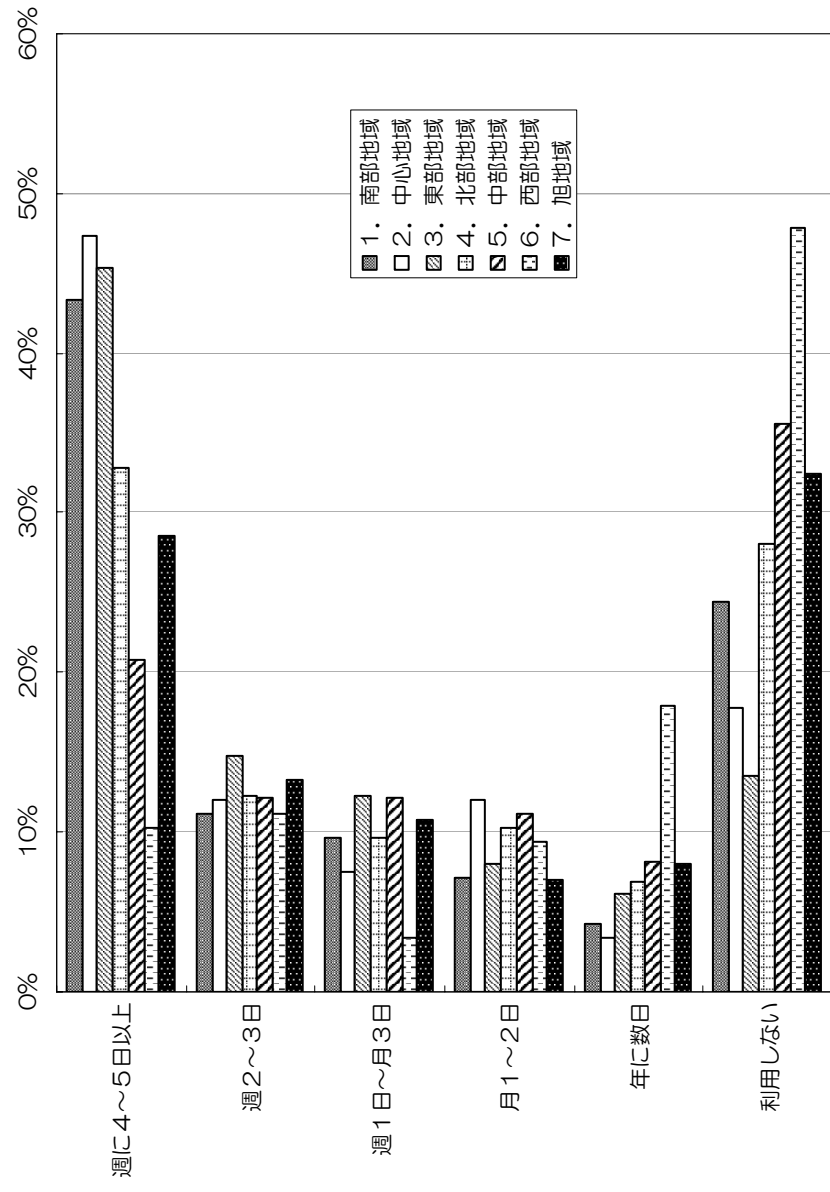
問5 (1) 公共交通の利用状況⑤バイク



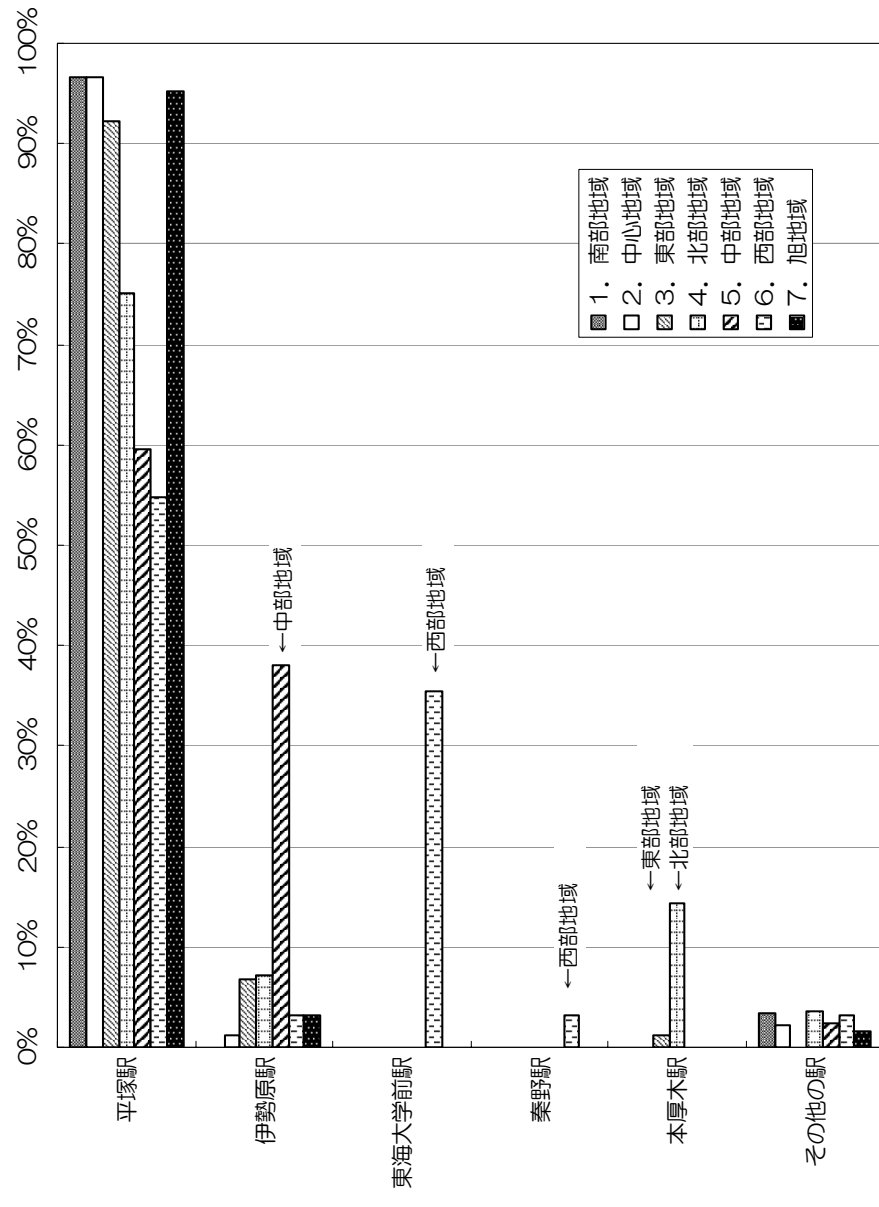
問5 (2) 駅利用状況①平日



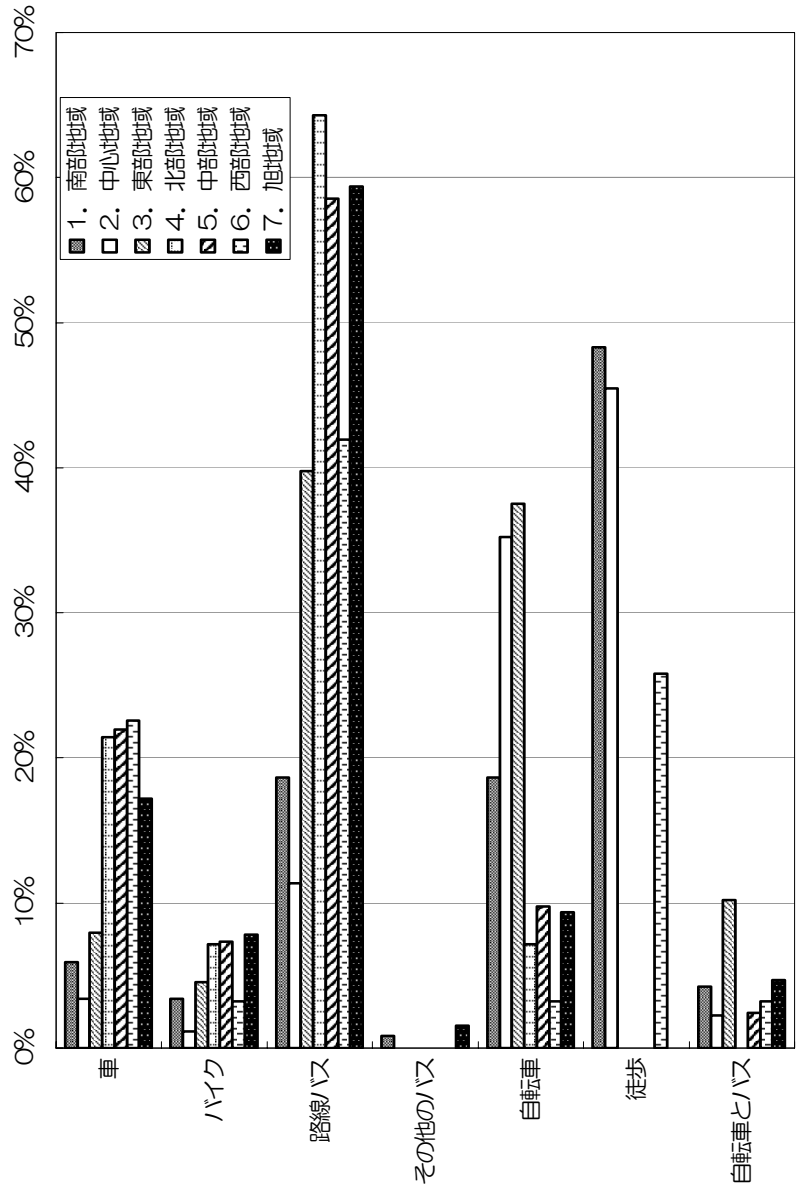
問5問 (1) 公共交通の利用状況⑥自転車



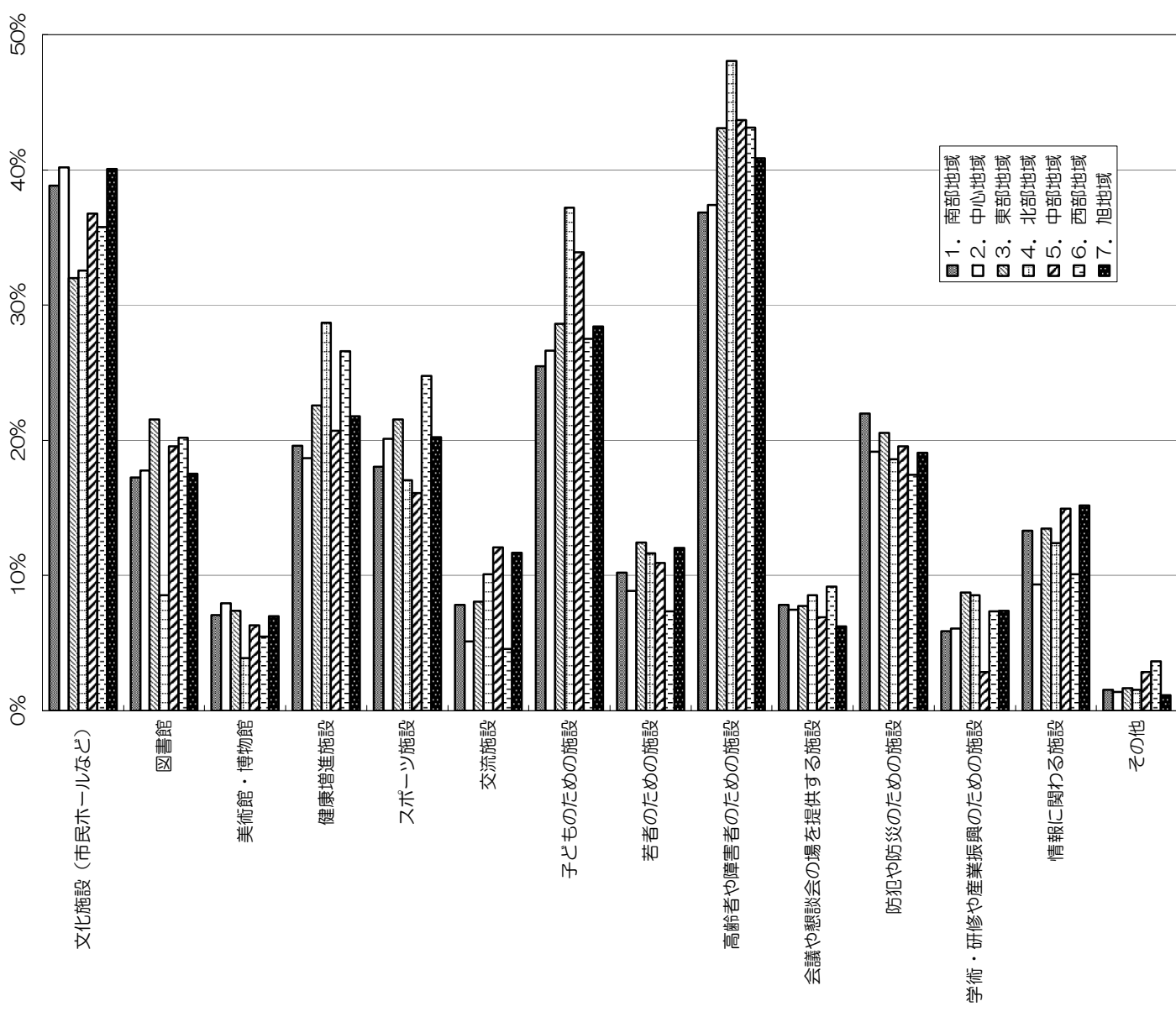
問5 (2) 駅利用状況②休日



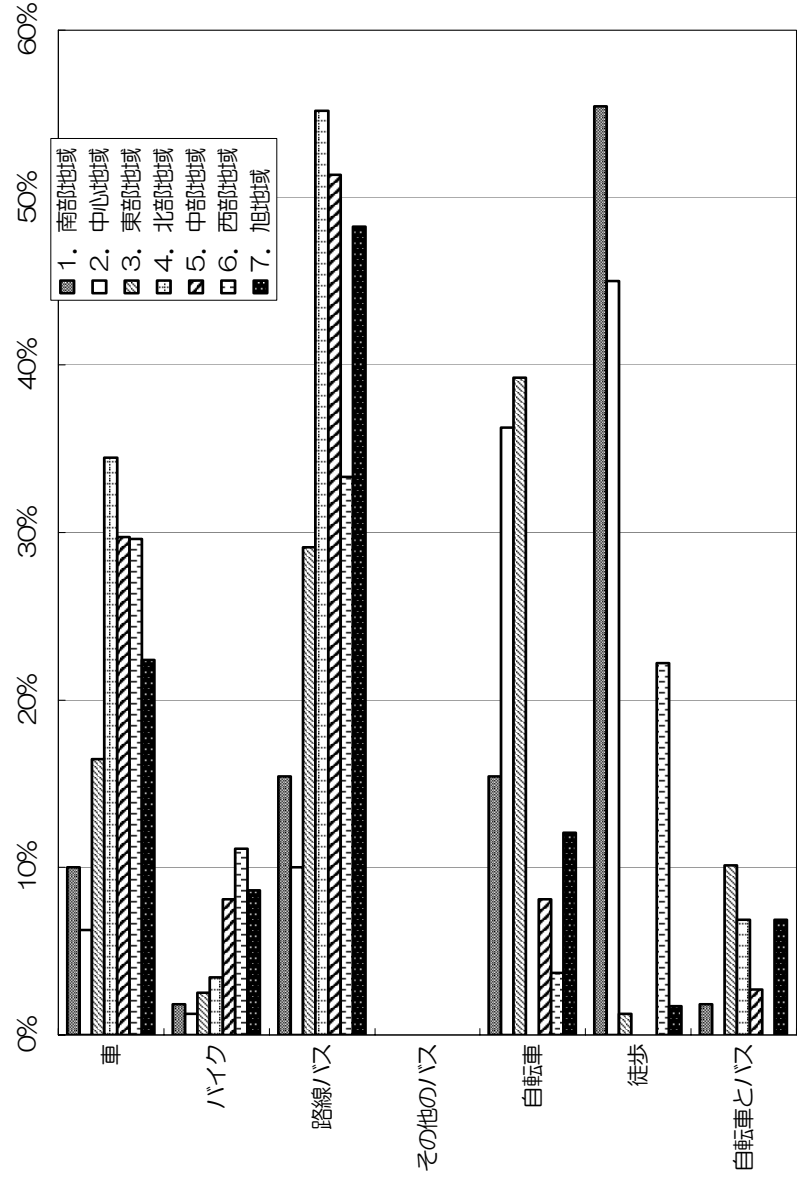
問5 (3) 駅までの交通手段①平日



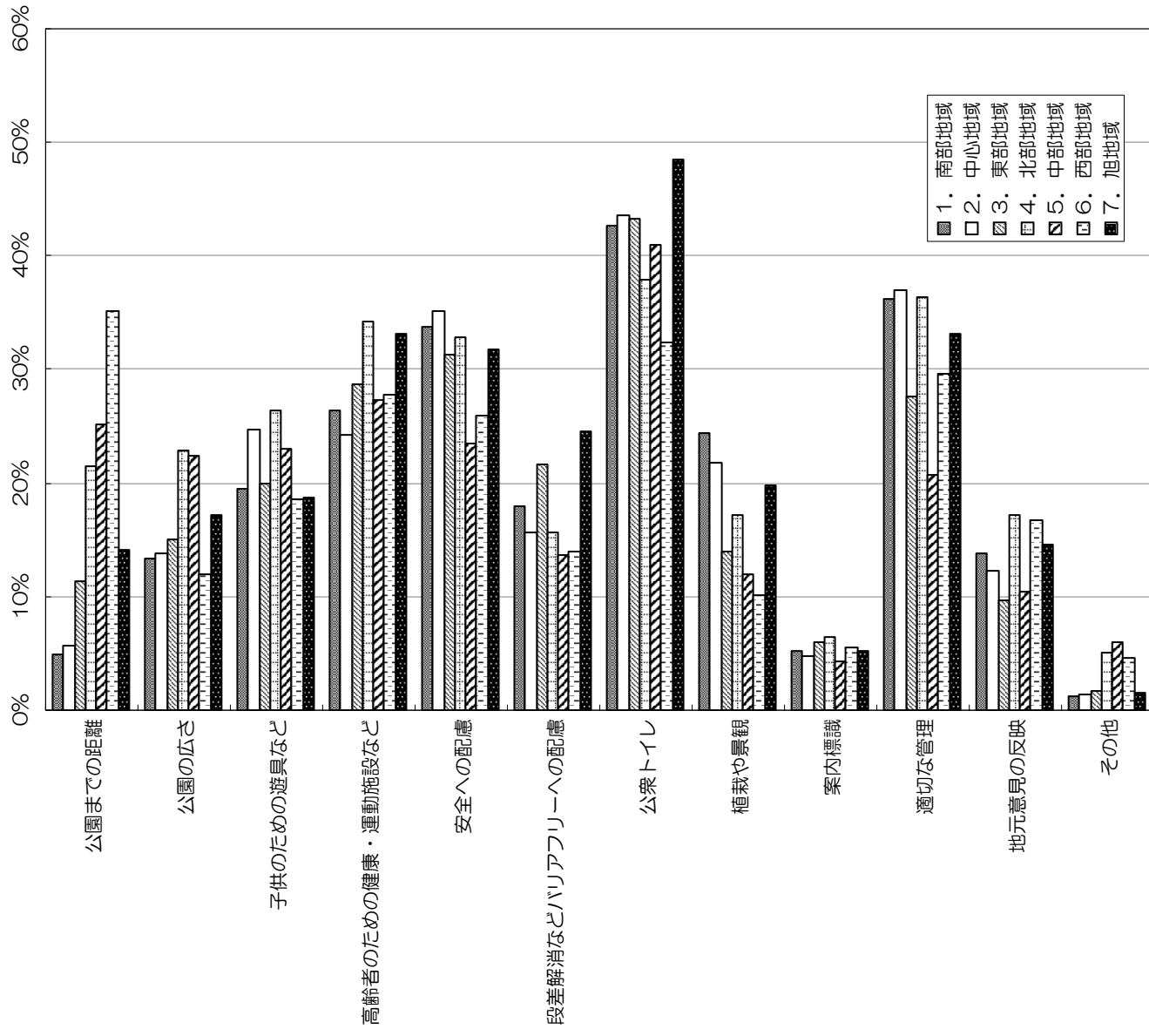
問6 (1) ①公益的施設の改善点 (いくつでも)



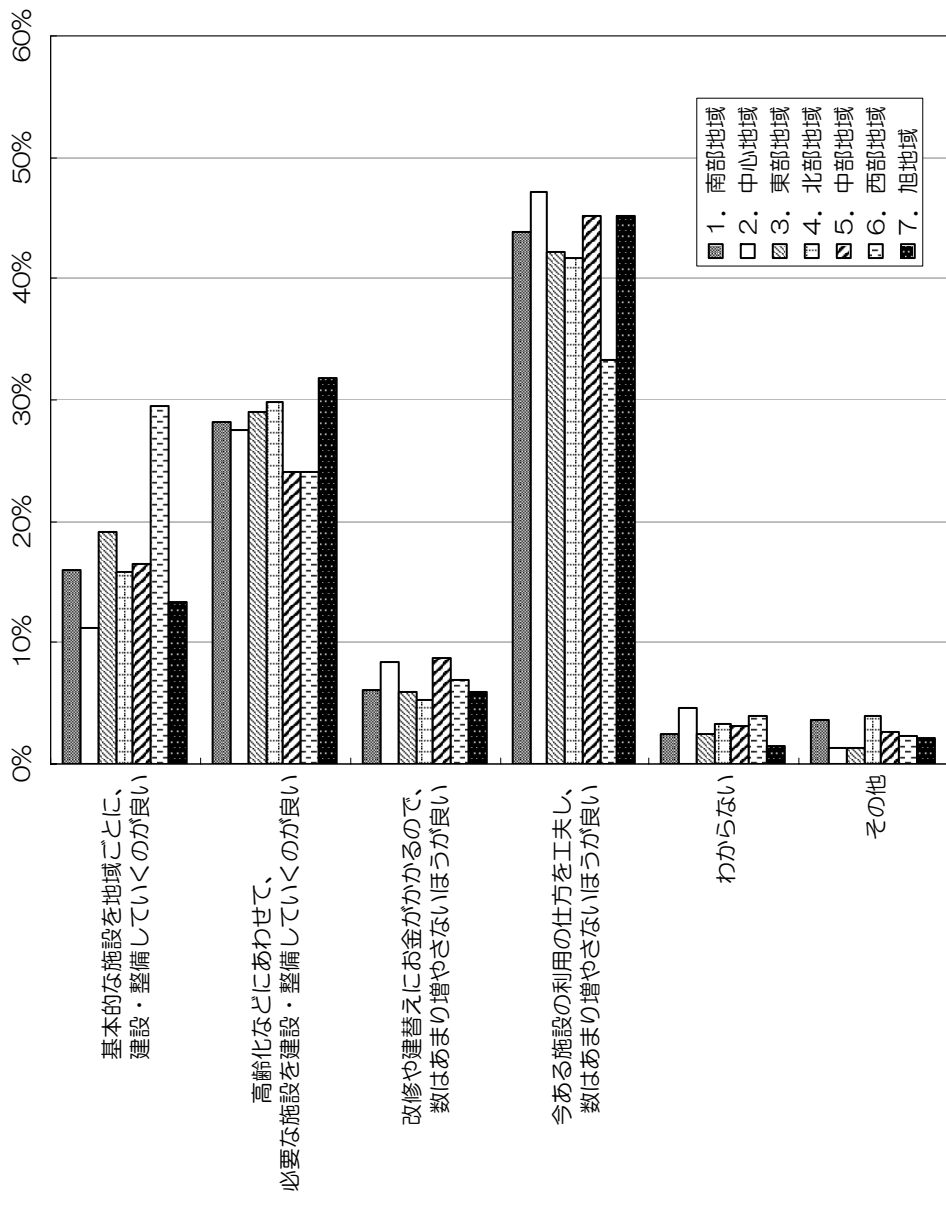
問5 (3) 駅までの交通手段②休日



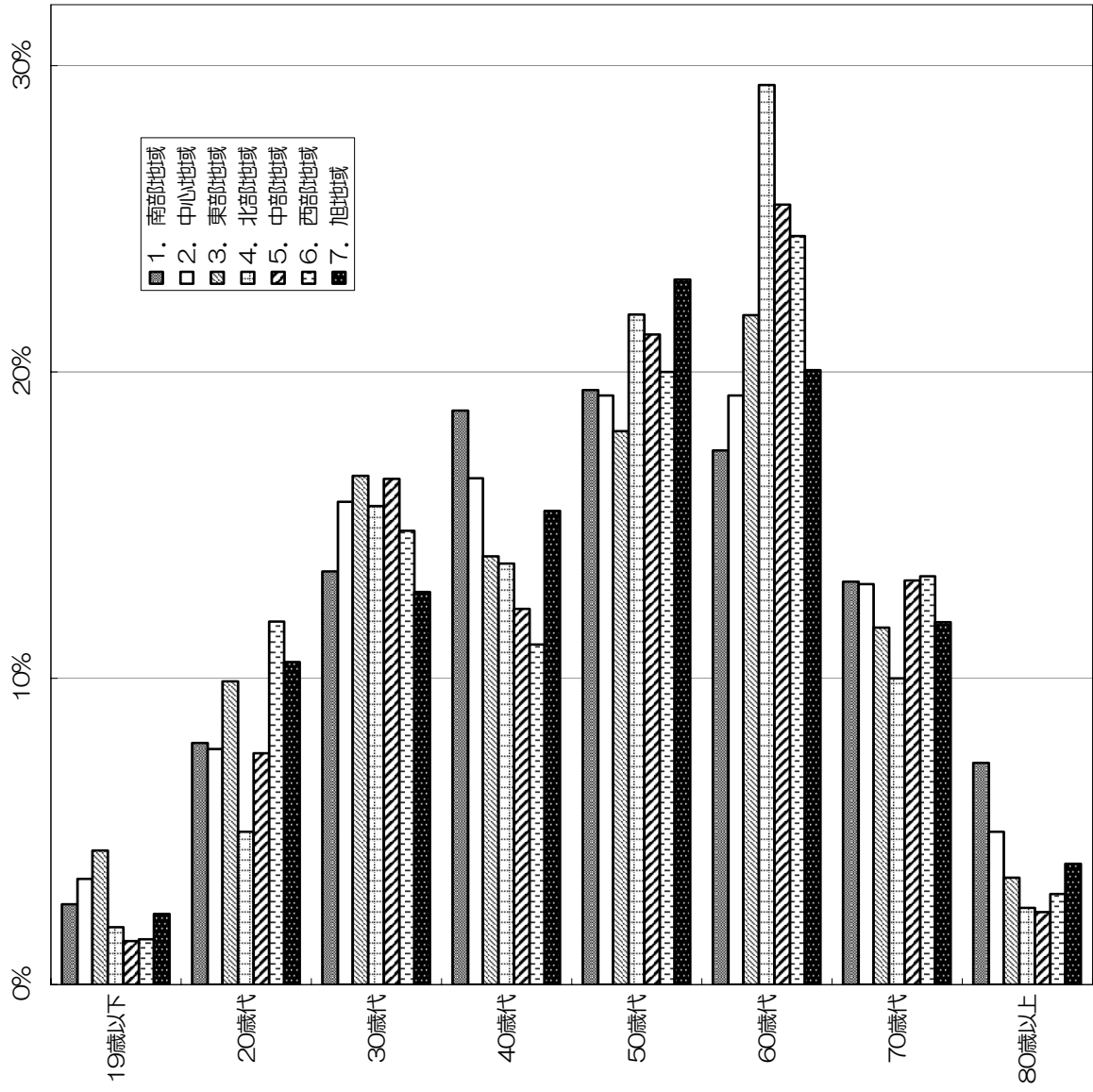
問6 (1) ②自宅近くの公園の改善点 (いくつでも)



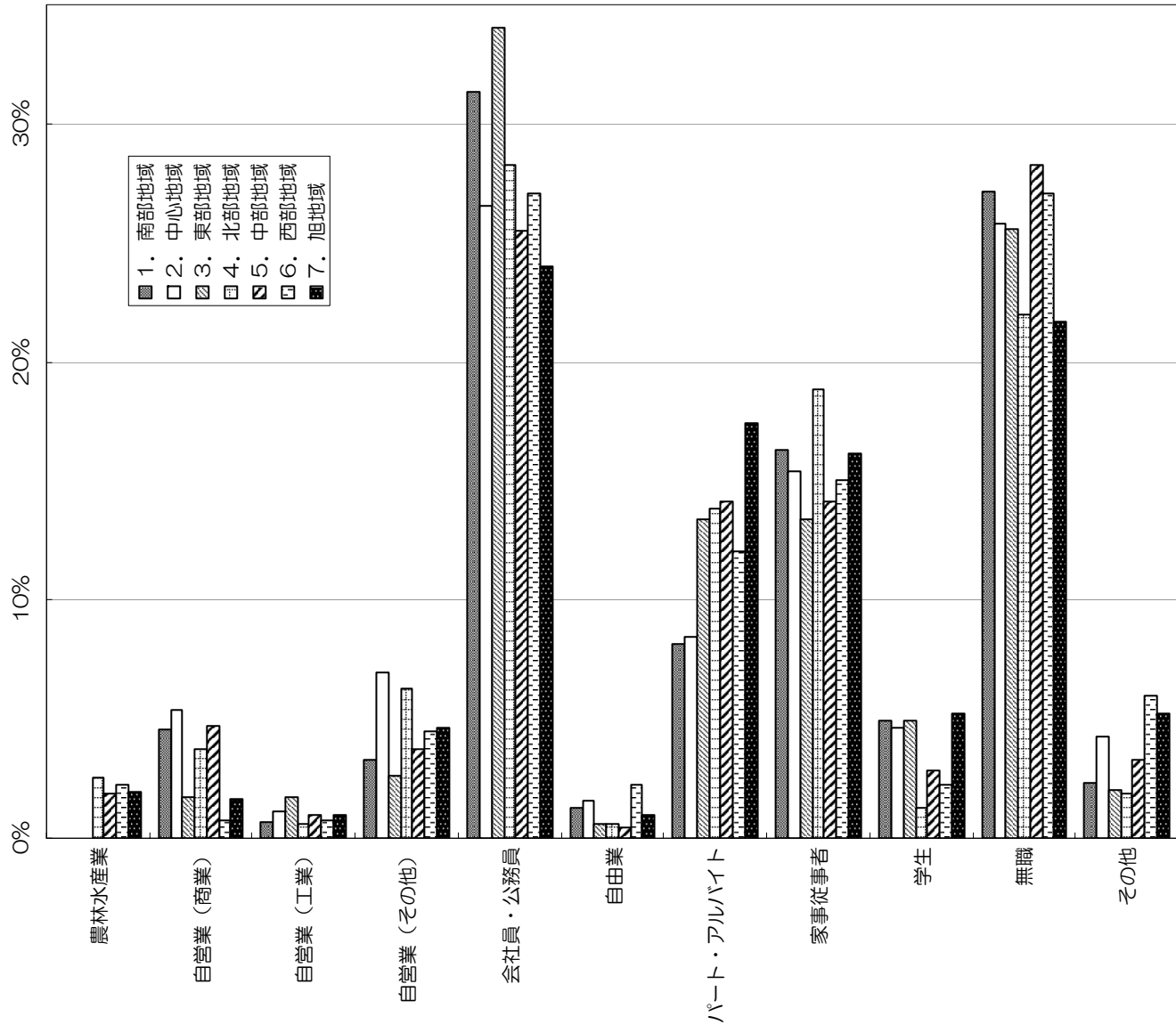
問6 (2) ① 公益的施設の建設や整備の考え方 (1つ)



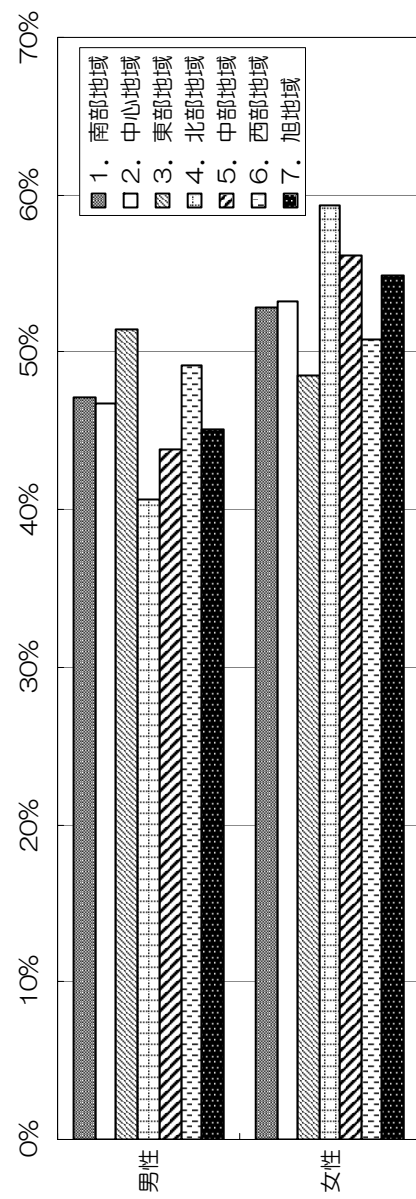
問7(1) 回答者の属性—年齢—



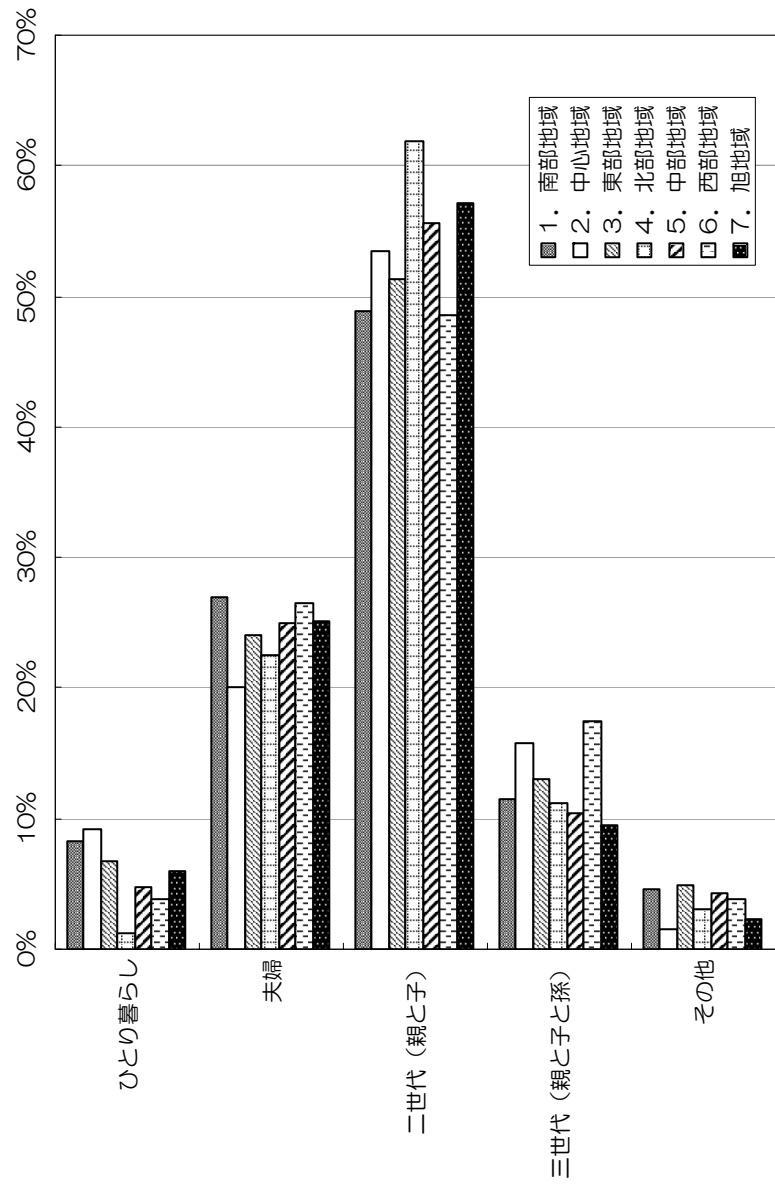
問7(4) 回答者の属性—職業—



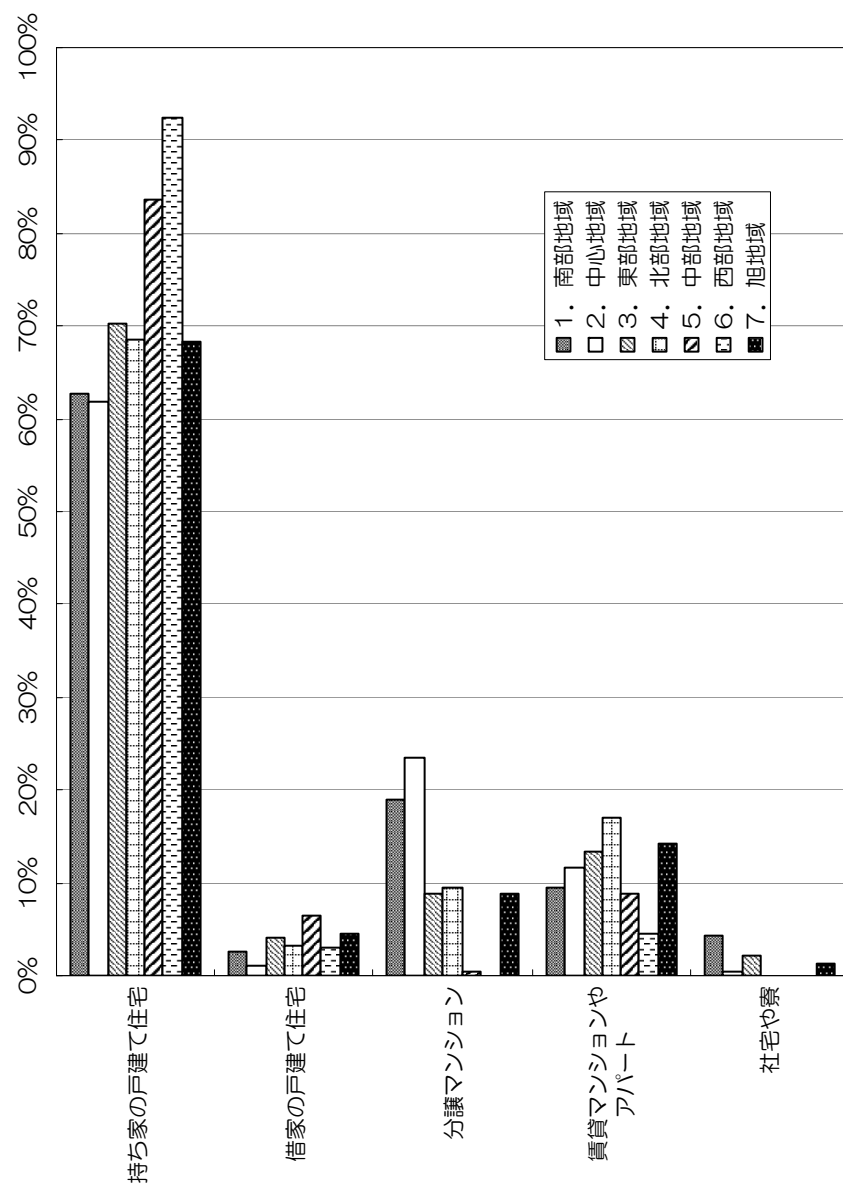
問7(3) 回答者の属性—性別—



問7 (4) 回答者の属性—現在同居している家族の構成



問7 (5) 回答者の属性—お住まいの形態



4. 市民アンケート調査票（依頼文、参考地図、設問票）

第2次平塚市都市マスタープラン策定に係る アンケート調査へのご協力をお願い

【ご協力をお願い】

日頃より平塚市政にご協力いただき、ありがとうございます。

平塚市では現在、総合計画の改定と連動して、「都市マスタープラン」を時代の動きにあわせて見直すため検討を進めております。「都市マスタープラン」とは、総合計画で定めた将来都市像を、具体的に実現するための「都市計画（注）」の指針です。

（注：土地利用、都市施設（道路・公園等）整備、まちの開発などについての計画）

つきましては、市民のみなさまのご意見やご提案を、「都市マスタープラン」に反映するため、アンケート調査を行うことといたしました。ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、このアンケート票は、住民基本台帳より無作為に抽出した約5,000名の方に配布させていただき、ご協力をお願いしております。

皆さまからいただいたご意見は、平塚市の都市づくりのあり方を検討するための資料として活用させて頂き、他の目的に使用することはありません。

平成18年12月4日 平塚市

【アンケート返信の期限】

回答していただいたアンケート票は、**平成18年12月18日（月曜日）まで**に、同封の返信用封筒に入れて、投函くださいますようお願いいたします。

お問合せ先： 平塚市 都市政策課（担当者：五島、小山田） 電話0463-23-1111

【今後の予定とまちづくり会議等への参加のお誘い】

第2次平塚市都市マスタープランは、みなさまのご意見を参考にして市全体の方針と地区毎の方針を策定してまいります。

その間、検討会議や懇談会を開催するなど、市民のみなさまに直接ご意見を頂きながらプランづくりを行っていく予定です。開催予定を市の広報などでお知らせしますので、これらのまちづくりの会に、ぜひご参加下さい。なお、概ねの開催予定は以下の通りです。

- 全体の方針（案）についての懇談会** …… 来年度早々に2回程度の開催を予定（参加される方全員が、同じ会場での懇談会となります。）
- 地区ごとの方針（案）についての懇談会** … 来年度、地区ごとに3回程度の開催を予定（参加される方は、ご住所で17地区の何れかに分かれ、該当する地区で開催される懇談会への参加になります。）

これらの懇談会への参加を希望される方は、下記に連絡先（お名前、住所、電話番号）をご記入いただき、FAXでお知らせ頂ければ、懇談会開催前にご案内いたします。あるいは電話や直接のご来庁なども結構です。

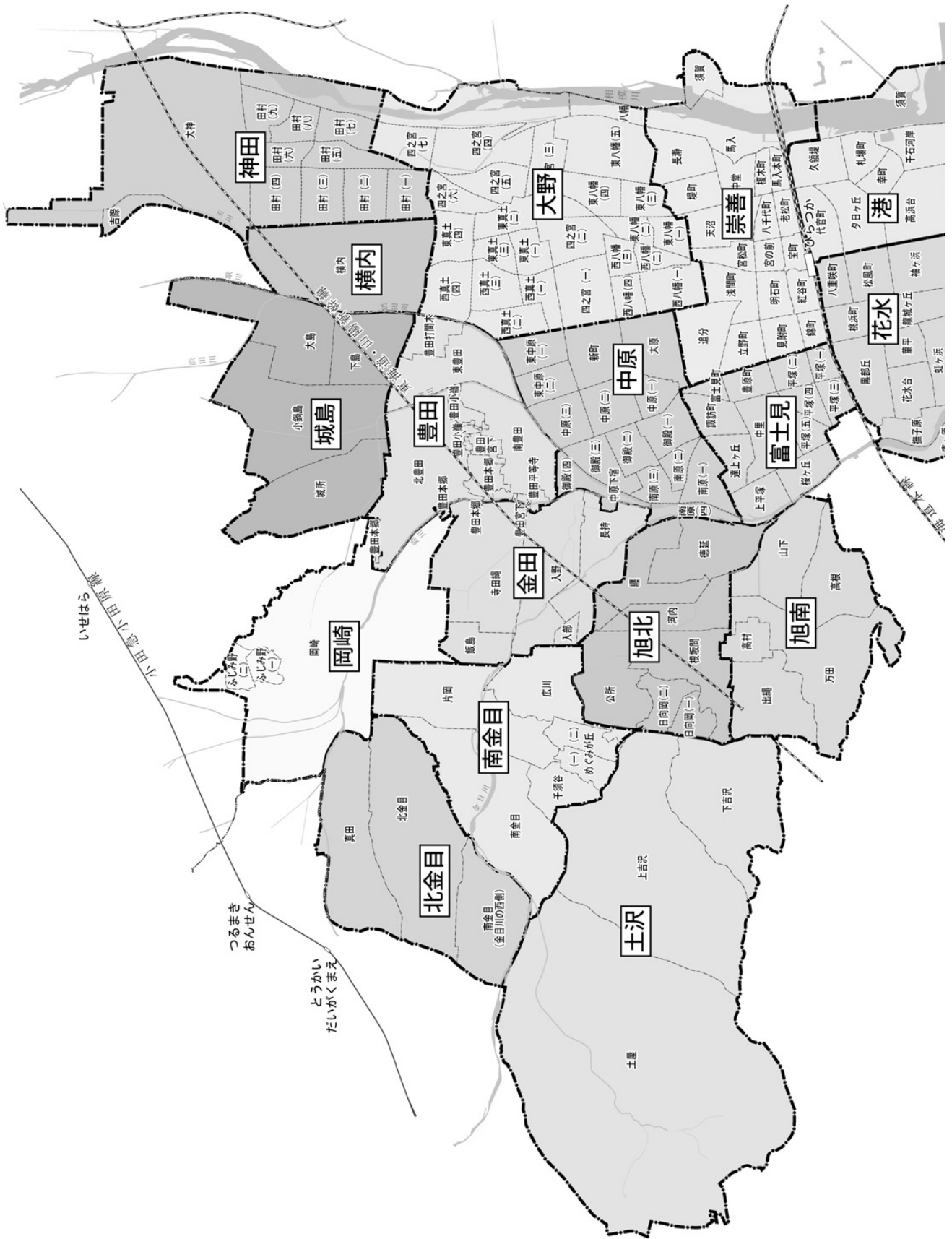
FAX番号 0463-23-9467（平塚市 都市政策課・五島行）

氏名 _____
住所 _____
電話番号 _____

・電話での連絡は、
0463-23-1111（内線2428）へ

おもて

※ 平塚市を17地区に区分した地図で、町名・町界と重ね合わせています。



当てはまる番号に、○印をつけてください。
□ 号には、直接番号や内容をお書き下さい。

問1 平塚市の都市の価値を高めるためのまちづくりについて、お答えください。

(1) 平塚駅周辺の中心市街地で、不足していると感じるものをあげてください。(3つまで)

1. 商業施設
2. 業務施設
3. 文化施設
4. 交游施設
5. 福祉サービス
6. 観光要素
7. 案内情報
8. 交通サービス
9. 緑
10. 景観
11. 魅力
12. 賑わい
13. 駅前広場
14. 玄関口としての風格
15. その他 ()

(2) 平塚駅周辺の中心市街地以外の街づくりで、どの点が重要とお考えですか。(2つまで)

1. 農業の活性化が重要で、既存農地の保全を目指す
2. 工業の活性化が重要で、既存工場の保全を目指す
3. さがみ縦貫道路の完成を踏まえ、新たな工業や流通地域の拡大を目指す
4. 西部丘陵地で、大学などと連携した研究拠点の整備を進める
5. ツインステイ(新幹線駅を中心とした相模川を挟む河川の一体的なまちづくり)を推進する
6. その他 ()

(3) 都市の価値を高めるためには、どのようなことが重要とお考えですか。(3つまで)

1. 平塚駅周辺の商店街が人で賑わっている
2. 工場が活発で、働く場が多い
3. 企業の数が増え、新しい会社が多い
4. 農業や漁業、地場産品などを大事にしている
5. 観光が盛んで来街者が多い
6. 海辺が賑わっている
7. 街が美しく、自然が活かされている
8. 住まいの環境がよく、安心して暮らせる
9. 市民活動や地産活動が盛んである
10. 高齢者や障害者が生き生きと暮らしている
11. その他 ()

※：元冊はA3版

問2 あなたご自身の「住みたい暮らし方」について、お答えください。

(1) 今のお住まいの周辺で、「特に力を入れて欲しい」と思われるものに、○をつけてください。(1つまで)

1. 安全な生活道路の整備
2. 衛生的な下水道の整備
3. 身近な公園や広場の整備
4. 商店街や駐車場の整備
5. バスなどの公共交通の整備
6. 公民館などの公共・公益施設の整備
7. 医療施設などの充実
8. 教育・文化施設の整備
9. 渋滞のない幹線道路の整備
10. 自然の保全や緑の確保
11. 建物の高さ制限等による住環境の整備
12. その他 ()

(2) 将来(約10~20年後)のお住まいについて、どうお考えですか。(2つまで)

1. 今住んでいる家にいると思う
2. 戸建て住宅に住みかえると思う
3. マンションに住みかえると思う
4. 平塚駅周辺に住みかえると思う
5. 環境のよい住宅地に住みかえると思う
6. 市外に住みかえると思う
7. わからない
8. その他 ()

(3) 将来(約10~20年後)の暮らし方について、どのように必要と思われるものに、○をつけてください。(2つまで)

1. 高齢化が進むので、歩いて行ける範囲に買い物ができる場所があるなど、生活サービスの充実が必要である
2. 健康に暮らせるようスポーツ・レクリエーション施設等の充実が必要である
3. 大気汚染等の公害のないよう環境に配慮した取組みが必要である
4. 地域活動を支えるためのコミュニティ活動拠点の充実が必要である
5. 安心して暮らすため、まちなかの犯罪の抑制に力を注ぐ必要がある
6. わからない
7. その他 ()

問3 平塚市の特性である「海岸」、「農地」、「丘陵地」について、お答えください。

(1) 平塚市の海岸のあり方について、どのように思われますか。(2つまで)

1. 海や森林の景観や環境を保全し、日常的に楽しめる場づくりを進める
2. 多くの市民が利用できるようなレクリエーションの場づくりを進める
3. 海岸、漁業、市場、船などのある総合的海洋レジャー拠点づくりを進める
4. 海のイメージを街に取り入れるなど、地域資源としてみも活用する
5. 環境学習やボランティア活動(清掃活動など)の場としての活用を進める
6. わからない
7. その他 ()

(2) 平塚市の農地のあり方について、どのように思われますか。(2つまで)

1. 食料の自給率を高めること、環境保全の観点などから、今ある農地は守るべきである
2. 市街地の隣接地や主要道路の沿道にある農地は、その他の土地に転用してもよい
3. まちの工業や漁業の発展や、生活の利便性を確保するためには、農地を転用してもよい
4. 農業者の意向があれば、農地が縮小しても仕方がない
5. 耕作放棄地の管理をきちんとすべきである
6. わからない
7. その他 ()

(3) 平塚市の丘陵地のあり方について、どのように思われますか。(2つまで)

1. 自然と人との共生や、里山風景や地域文化などの視点から、丘陵地は今のまま守るべきである
2. 丘陵地は、まちと関わりが深い身近な自然なので、保全のための市民活動や環境学習の場として、もっと積極的に活用すべきである
3. 丘陵地の良好な環境を活かしつつ、一部は住宅地に変えて人を増やすのがよい
4. 丘陵地の良好な環境を活かし、一部は学術研究や産業などの機能とし、まちの発展につなげるべきである
5. 民間の経済活動にまかせるべきで、丘陵地が守られなくてもしっかりしない
6. わからない
7. その他 ()

問4 平塚市の「道路・交通」について、お答えください。

(1) 市内の道路・交通環境について、「特に改善が必要である」と思われるものに、○をつけてください。(1つまで)

| | |
|-------------------|------------------|
| ご自宅近くの歩道の歩道幅が狭い | 1. 路面の凹凸、段差および配 |
| 歩道の歩道幅が狭い | 2. 歩道が設置されていない |
| 電柱や電線が邪魔 | 3. 看板や商品のはみ出しで迷惑 |
| 車の交通量やスピードが激 | 4. 車の交通量やスピードが激 |
| 車や自転車のマナーが悪い | 5. 車や自転車のマナーが悪い |
| 植栽(街路樹など)の不足 | 6. 植栽(街路樹など)の不足 |
| 案内標識の不足 | 7. 案内標識の不足 |
| 利用可能なバス停がない | 8. 案内標識の不足 |
| 1. 自転車の走行空間が不足 | 9. 案内標識の不足 |
| 2. 店や施設などの駐輪場が不足 | 10. 案内標識の不足 |
| 3. カーブミラーや標識の不足 | |
| 1. 幹線道路の整備不足 | |
| 2. 生活道路の整備不足 | |
| 3. 交通が渋滞 | |
| 4. 交通規制を見直し | |
| 5. 道路交通標識の提供不足 | |
| 1. 駅周辺のバリアフリー化 | |
| 2. 駅周辺の歩行者の安全性 | |
| 3. 駅周辺の放置自転車 | |
| 4. 駅周辺の駐輪場不足 | |
| 5. 駅周辺で自転車走行が速い | |
| 6. バスやタクシーが利用しにくい | |
| 7. 駅周辺の緑や景観の不足 | |
| 8. 駅周辺の案内がわかりにくい | |

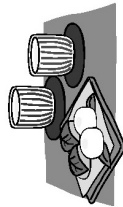
(2) 市内の鉄道・バスについて、「特に改善が必要である」と思われるものに、○をつけてください。(1つまで)

| | |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 鉄道 | 1. 運行本数に問題 2. 通勤通学時の混雑 3. 案内情報の提供が不足 |
| バス | 1. 路線がない地域がある 2. 運行本数が少ない 3. 時刻どおりに来ない 4. バス停の位置が問題 5. バス停の施設(上屋やベンチ)不足 6. 案内情報の提供不足 7. 車両のバリアフリー化 |
| 平塚駅 | 1. 高齢者などを送迎する車の乗降場所 2. 駅とバス停との連絡が悪い 3. タクシーの乗降場所に問題 4. 一般車の乗降場所に問題 5. 駅前が歩きにくい 6. 車の混雑がわかりにくい 7. 駅前広場の機能 |

裏面へ…

(3) 上の(1)と(2)に示した項目のうち、今後の交通政策で優先すべきものはどれですか。(2つまで)。

1. 自宅近くの歩きやすさ
2. 自宅近くの自転車の走りやすさ
3. 車の走行のしやすさ
4. 鉄道やバスの利用のしやすさ
5. 平塚駅周辺の全体的な交通の良さ
6. 平塚駅の乗り継ぎのしやすさ
7. わからない
8. その他 ()



問5 普段の「交通機関の利用」について、お答えをお願いします。

(1) 次の交通機関を利用する頻度はどれくらいですか。下から番号を選んでください(それぞれ1つ)。

- | | | |
|----------|--------|--------|
| 鉄道の頻度 | バスの頻度 | 車の頻度 |
| _____ | _____ | _____ |
| タクシースの頻度 | バイクの頻度 | 自転車の頻度 |
| _____ | _____ | _____ |

1. 週に4～5日以上
2. 週2～3日
3. 週1日～月3日
4. 月1～2日
5. 年に数回
6. 利用しない

(2) 週に1日以上「鉄道」を利用する方にお答えをお願いします。利用する最寄駅はどこですか(それぞれ1つ)。

平日の利用駅 休日の利用駅

1. 平塚駅
 2. 伊勢原駅
 3. 東海大学前駅
 4. 栗野駅
 5. 本厚木駅
 6. その他の駅
- (3) 自宅からその最寄駅まで利用する主な交通手段は何ですか(それぞれ1つ)。
- 平日の手段 休日の手段
- _____
- _____

1. 車
2. バイク
3. 路線バス
4. その他のバス
5. 自転車
6. 徒歩
7. 自転車とバス
8. その他

※：元冊はA3版

問6 「公益施設」について、お答えをお願いします。

(1) 市内の公益的施設について、「特に改善が必要である」と思われるものに、○をつけて下さい(いくつでも)。

| 公益的施設 | 自宅近くの公園 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 文化施設 (市民ホールなど) 2. 図書館 3. 美術館・博物館 4. 健康増進施設 5. スポーツ施設 6. 交流施設 7. 子どものための施設 8. 若者のための施設 9. 高齢者や障害者のための施設 10. 会議や懇話会の場を提供する施設 11. 防犯や防災のための施設 12. 学術・研究や産業振興のための施設 13. 情報に関する施設 14. その他 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 公園までの距離 2. 公園の広さ 3. 子どものための遊具など 4. 高齢者や障害者の健康・運動施設など 5. 安全への配慮 6. 段差解消などバリアフリーへの配慮 7. 公衆トイレ 8. 植栽や景観 9. 案内標識 10. 適切な管理 11. 地元意見の反映 12. その他 |

(2) 今後における、公益的施設の建設や整備について、どのようにお考えですか(1つだけ)。

1. 基本的な施設を地域ごとに、建設・整備していくのが良い
2. 高齢化などにあわせて、必要な施設を建設・整備していくのが良い
3. 改修や運営にコストがかかるので、数はあまり増やさない方が良い
4. 今ある施設の利用の仕方を工夫し、数はあまり増やさない方が良い
5. わからない
6. その他 ()

問7 あなた「ご自身」について、お答えをお願いします。

(1) あなたの年齢を教えてください。

1. 19歳以下
2. 20歳代
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳代
8. 80歳以上

(2) あなたの性別を教えてください。

1. 男性
2. 女性

(3) あなたの住まいの、1～17のうち

住所の番号を下表の左側より選び、右欄にご記入下さい。

| 住所の番号 | 住所 | 地区名 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------|-----|
| 1 | 黒部丘、葦平、袖ヶ浜、唐ヶ原、熊子原、虹ヶ浜、花水台、松風町、秘浜町、八重咲町、花水龍城ヶ丘 | 花水 |
| 2 | 久須保、幸町、須賀、千石河岸、高浜台、代官町、礼慶町、夕陽ヶ丘 | 港 |
| 3 | 明石町、天沼、榎木町、老松町、追分、美岡町、宝町、立野町、堤町、中堂、長瀬、練町、馬入、馬入本町、紙谷町、見附町、宮の前、宮松町、八千代町 | 兼善 |
| 4 | 四ヶ雲、西馬土、東真土、西八幡、東八幡、八幡 | 大野 |
| 5 | 大神、田村、吉隣 | 神田 |
| 6 | 横内 | 横内 |
| 7 | 大島、城所、小鍋島、下島 | 城島 |
| 8 | 北豊田、豊田打間木、豊田小瀬、豊田平等寺、豊田本郷、豊田宮下、南豊田、東豊田 | 豊田 |
| 9 | 大原、御殿、新町、中原、中原下巻、栗中原、南原 | 中原 |
| 10 | 上平塚、桜ヶ丘、諏訪町、蓮上ヶ丘、豊原町、富士見中里、平塚、富士見町 | 富士見 |
| 11 | 岡崎、ふじみ野 | 岡崎 |
| 12 | 飯島、入野、長持 | 金田 |
| 13 | 公所、河内、露延、根坂間、日向岡、稲、瓜川 | 旭北 |
| 14 | 出穂、高根、高村、万田、山下 | 旭南 |
| 15 | 北金目、真田、南金目(金目川の西側) | 北金目 |
| 16 | 南金目(金目川の西側を除く)、片岡、千須谷、めぐみヶ丘 | 南金目 |
| 17 | 上吉沢、下吉沢、土屋 | 土沢 |

(4) あなたの現在の職業を教えてください。

1. 農林水産業
2. 自営業 (商業)
3. 自営業 (工業)
4. 自営業 (その他)
5. 会社員・公務員
6. 自由業
7. パート・アルバイト
8. 家事従事者
9. 学生
10. 無職
11. その他

(5) 現在同居している家族の構成を教えてください。

1. ひとり暮らし
2. 夫婦
3. 二世帯 (親と子)
4. 三世帯 (親と子と孫)
5. その他

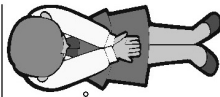
(6) あなたの住まいの形態を教えてください。

1. 持家戸建て住宅
2. 借家の戸建て住宅
3. 分譲マンション
4. 賃貸マンションやアパート
5. 社宅や寮
6. その他

問8 平塚市の「これからの都市づくり」について、ご意見がありましたら自由に自由にお書き下さい。

アンケートは以上です。

ご協力ありがとうございました。



ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに平成18年12月18日(月)までに、ご投函くださいますようお願いいたします。

5. 街頭インタビュー調査票（平塚駅南口用・北口用（調査員聞取り票））

| | | | | | | |
|-------------------------------------|--|------|----|-------|----|---|
| 調査場所 | | 調査時間 | 時台 | F / M | 番号 | — |
| 第2次平塚市都市マスタープラン策定に係るインタビュー調査 | | | | | | |

問1. あなた「ご自身」について、おうかがいします。

- (1) お住まい 1. 市内 2. 県内（市外） 3. その他
 (2) 来街目的 1. 通勤 2. 通学 3. 仕事（業務） 4. 買物 5. その他

問2. 平塚駅前（南口）や、南口周辺の商店街の「印象」をおきかせ下さい。

| | | | | |
|---------------|--------|---------|------------------|--------------|
| (1) 賑わい | 1. 感じる | 2. 感じない | 3. どちらとも いえない | 4. わから ない |
| (2) 玄関口としての風格 | ○ | × | △ | — |
| (3) 平塚らしさ | ○ | × | △ | — |
| (4) みどりや景観 | ○ | × | △ | — |

問3. 平塚駅南口周辺の「使いやすさ」をおきかせ下さい。

| | | | | |
|------------------------------------|-------|-------|------------------|--------------|
| | 1. 良い | 2. 悪い | 3. どちらとも いえない | 4. わから ない |
| (1) わかりやすさ（案内） ～公共施設やバス等の案内標識など | ○ | × | △ | — |
| (2) 歩きやすさ ～歩道や道路の段差や障害物など | ○ | × | △ | — |
| (3) 歩行者の安全性 ～人と自転車、人と車など | ○ | × | △ | — |
| (4) 乗り換えのしやすさ ～電車からバス、バスからバスなど | ○ | × | △ | — |
| (5) 自転車の走りやすさ ～歩行者との分離、歩道の広さなど | ○ | × | △ | — |
| (6) 駐輪場の整備状況 ～駐輪場が足りているか | ○ | × | △ | — |

問4. 平塚駅南口周辺のまちづくりについて、ご意見・提案があれば教えてください。

南口用

ご協力ありがとうございました。

| | | | | | | |
|------|--|------|----|-------|----|---|
| 調査場所 | | 調査時間 | 時台 | F / M | 番号 | — |
|------|--|------|----|-------|----|---|

第2次平塚市都市マスタープラン策定に係るインタビュー調査

問1. あなた「ご自身」について、おろかがいします。

- (1) お住まい 1. 市内 2. 県内（市外） 3. その他
 (2) 来街目的 1. 通勤 2. 通学 3. 仕事（業務） 4. 買物 5. その他

問2. 平塚駅前（北口）や、北口周辺の商店街の「印象」をおきかせ下さい。

| | 1. 感じる | 2. 感じない | 3. どちらとも いえない | 4. わか らない |
|---------------|--------|---------|------------------|--------------|
| (1) 賑わい | | | | |
| (2) 玄関口としての風格 | ○ | × | △ | — |
| (3) 平塚らしさ | ○ | × | △ | — |
| (4) みどりや景観 | ○ | × | △ | — |

問3. 平塚駅北口周辺の「使いやすさ」をおきかせ下さい。

| | 1. 良い | 2. 悪い | 3. どちらとも いえない | 4. わか らない |
|------------------------------------|-------|-------|------------------|--------------|
| (1) わかりやすさ（案内） ～公共施設やバス等の案内標識など | ○ | × | △ | — |
| (2) 歩きやすさ ～歩道や道路の段差や障害物など | ○ | × | △ | — |
| (3) 歩行者の安全性 ～人と自転車、人と車など | ○ | × | △ | — |
| (4) 乗り換えのしやすさ ～電車からバス、バスからバスなど | ○ | × | △ | — |
| (5) 自転車の走りやすさ ～歩行者との分離、歩道の広さなど | ○ | × | △ | — |
| (6) 駐輪場の整備状況 ～駐輪場が足りているか | ○ | × | △ | — |

問4. 平塚駅北口周辺のまちづくりについて、ご意見・提案があれば教えてください。

北口用

ご協力ありがとうございました。

6. 商店街アンケート調査票

商業

第2次平塚市都市マスタープラン策定業務に係るアンケート調査のお願い

平塚市では、総合計画の改定にあわせて、「平塚市都市マスタープラン」の改定を行うことになりました。都市マスタープランは、「まちづくり」を具体的に進めるための「都市計画（注）」の指針で、市民と市がともに力をあわせ実現していくものです。

このため、「都市マスタープラン」の改定にあたりましては、「商店街アンケート調査」を実施し、計画策定の参考にさせて頂きたく、ご協力をお願い申し上げます。

ご担当者の個人的なご意見でも結構ですので、以下の項目につきまして情報や助言などをお寄せいただければ幸いです。

守秘義務について、責任を持って確実に守らせて頂きます。また、都市計画マスタープラン策定の参考にする以外の目的では使用しません。御社が特定できない形で集計を行い原票は廃棄するなど、具体策に十分留意致しますので、以下の設問にお答え頂きますようお願い致します。

（注）：土地利用、都市施設（道路・公園等）整備、まちの開発などについての計画

平成 18 年 12 月 4 日 平塚市

問1 御商店街（会）の概要について、お伺いします。

(1) 商店街（会）の店舗数はどのようになっていますか（具体的に）。

商店会参加店舗数 _____ 件

商店会非参加店舗数 _____ 件

商店街の空き店舗数 _____ 件

商店街の業種で該当するものはどれですか（いくつでも）。

1. 生鮮食料品全種類 2. 生鮮食料品一部 3. 日用雑貨品 4. 実用衣料品 5. 高級衣料品
6. 身の回り品 7. 文化品 8. スポーツ・レジャー品 9. 贈答品 10. 飲食店 11. その他

(2) 商店街（会）の立地環境はどのようになっていますか（いくつでも）。

1. 駅に近い 2. バス停に近い 3. 観光施設に近い 4. その他の集客施設に近い
5. 戸建て住宅が多い 6. マンションが多い 7. 大規模な事業所に近い
8. 競合する商店街が近くに立地する 9. 競合する大きな商業施設が近くにある
10. その他（具体的に）_____

(3) 商店街（会）の特徴や買物環境はどのようになっていますか（いくつでも）。

1. 車が駐車しやすい 2. 自転車で買い物しやすい 3. 放置自転車が多い
4. 歩行者が歩きやすい 5. 買い物の途中で休憩できる場所がある 6. 緑が多い
7. 生活感があり親しみやすい 8. 安い店が多い 9. 個性的な店が多い
10. 舗装や街灯などが整備されている 11. アーケードが整備されている
12. お客様との会話を大事にしている店が多い
13. イベントやサービスに他の商店街より力を入れている
14. その他（具体的に）_____

(4) 商店会の組織はどのようになっていますか（いくつでも）。

1.若手の部会がある 2.女性の部会がある

3.その他（具体的に） _____

(5) 商店会のサービスはどのようなものがありますか（いくつでも）。

1.共通のスタンプサービス 2.共通の配達サービス 3.共通のファックスやメールサービス

4.その他（具体的に） _____

(6) 商店街（会）の開店時間・閉店時間・休業日

開店時間：（具体的に） _____ 時頃の店が多い

閉店時間：（具体的に） _____ 時頃の店が多い

休業日：（具体的に） 週 _____ 日（の店が多い / に決めている）（いずれかに○）

(7) 商店街（会）のホームページはどのような内容ですか（1つ）。

1.個店紹介が主である 2.様々な情報を提供している 3.ない

問2 現在困っていることについて、お伺いします。

(1) 道路交通環境について、現状はどうですか。

1.特に問題はない

2.困っていることがある（具体的に） _____

(2) 品揃えや品質について、現状はどうですか。

1.特に問題はない

2.困っていることがある（具体的に） _____

(3) 空き店舗について、現状はどうですか。

1.特に問題はない

2.困っていることがある（具体的に） _____

(4) 後継者について、現状はどうですか。

1.特に問題はない

2.困っていることがある（具体的に） _____

(5) 競合店舗などとの調整について、現状はどうですか。

1.特に問題はない

2.困っていることがある（具体的に） _____

(6) その他、上記の(1)～(5)以外で困っていることがあれば、お書きください。

(具体的に) _____

問3 商店街活性化について、取り組んでいることを教えてください(5つまで)。

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____

問4 まちづくりへの協力や地域との交流などについて、取り組んでいることを教えてください。

(具体的に) _____

問5 商店街活性化について平塚市に希望することがありましたらお書き下さい(3つまで)(ご担当者の私見でも結構です)。

1. _____
2. _____
3. _____

問6 平塚市のまちづくりや都市政策について、ご意見がありましたらお書き下さい(ご担当者の私見でも結構です)。

(具体的に) _____

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに平成18年
12月22日(金)までに、ご投函くださいますようお願いいたします。

7. 企業（製造業）アンケート調査票

製造業

第2次平塚市都市マスタープラン策定業務に係るアンケート調査のお願い

平塚市では、総合計画の改定にあわせて、「平塚市都市マスタープラン」の改定を行うことになりました。都市マスタープランは、「まちづくり」を具体的に進めるための「都市計画（注）」の指針で、市民と市がともに力をあわせ実現していくものです。

このため、「都市マスタープラン」の改定にあたりましては、「企業（製造業）アンケート調査」を実施し、計画策定の参考にさせて頂きたく、ご協力をお願い申し上げます。

ご担当者の個人的なご意見でも結構ですので、御社についての情報や助言などをお寄せいただければ幸いです。

守秘義務について、責任を持って確実に守らせて頂きます。また、都市計画マスタープラン策定の参考にする以外の目的では使用しません。御社が特定できない形で集計を行い原票は廃棄するなど、具体策に十分留意致しますので、以下の設問にお答え頂きますようお願い致します。

（注）：土地利用、都市施設（道路・公園等）整備、まちの開発などについての計画

平成 18 年 12 月 4 日 平塚市

問1 御社の概要について、お伺いします。

(1) 平塚市における御事業所の種別はどれですか（当てはまるものすべて）。

1.本社 2.支社・営業所 3.生産工場 4.加工工場 5.検査工場 6.研究所・開発室

7.その他（具体的に）_____

(2) 平塚市における御事業所で扱っている製品は何ですか。

（具体的に）_____

(3) 平塚市における御事業所の敷地及び建物はどのような規模ですか。

敷地規模：_____㎡ 主要建物の棟数_____棟

延床面積：_____㎡ 建築面積：_____㎡

問2 現在の操業環境について、お伺いします。

(1) 御事業所周辺の道路環境はいかがですか。

1.特に問題はない

2.困っていることがある（具体的に）_____

(2) 御事業所の相隣関係はいかがですか。

1.特に問題はない

2.困っていることがある（具体的に）_____

(3) 従業者の方が鉄道を利用する割合は、どの程度ですか。

1. 概ね _____ 割程度（想定） 2. 具体的にわかる _____ % 3. 全くわからない

(4) 従業者の方の、駅または自宅から貴事業所までの主な交通手段は何ですか（2つまで）。

1. 自動車 2. バイク 3. 路線バス 4. 自社の送迎バス
5. その他の送迎バス 5. 自転車 5. 徒歩

(5) 従業者の方の、交通手段への対応について困っていることは何ですか（いくつでも）。

1. 駐車場が不足して困っている
2. 駐輪場が不足して困っている
3. バスについて困っている（具体的に） _____
4. その他（具体的に） _____

問3 御社の今後の予定や意向について、お伺いします。

(1) 現在の事業所での展開について、どのようにお考えですか。

1. 現在地での建替えの計画・構想がある（具体的に：概ね _____ 年後を予定）
2. 他の場所への転出移転の計画・構想がある（具体的に：概ね _____ 年後を予定）
3. 現時点では建替えや転出移転の計画・構想はない
4. わからない

(2) (1)で「1.現在地での建替えの計画・構想がある」とお答えの場合、お考えを教えてください。

1. 現在の敷地内での展開が可能と考えている
2. 現在の敷地では不足すると考え、他の場所での展開もあわせて必要と考えている
3. その他困っていることがある（具体的に） _____

(3) (1)で「2. 他の場所への転出移転の計画・構想がある」とお答えの場合、その理由を教えてください。

1. 現在の敷地では規模が不足し拡張ができないため
2. 現在地より地価が安いところが良いため
3. 現在地より相隣関係や交通環境などで条件が良いところが良いため
4. 従業員の確保や従業員の居住環境確保に便利のため
5. その他の事業戦略のため（事業所統合・再編、新規事業計画展開のためなど）
6. その他（具体的に） _____

問4 平塚市の産業支援策に関して、平塚市への要望等がありましたらお書き下さい（ご担当者の私見でも結構です）。

（具体的に）

問5 御社の平塚市での展開に関して、問4以外で平塚市への要望等がありましたらお書き下さい（ご担当者の私見でも結構です）。

（具体的に）

問6 御社の社会貢献活動や企業メセナ活動、まちづくりへの協力、地域との交流活動などについて、お伺いします（現在実施しているもの、これまでに行ったもののいずれでも結構です）。

(1) 社会貢献活動などについてお書きください。

（具体的に）

(2) まちづくりへの協力などについてお書きください。

（具体的に）

(3) 地域との交流活動などについてお書きください。

（具体的に）

問7 平塚市のまちづくりや都市政策について、ご意見をお書き下さい（ご担当者の私見でも結構です）。

（具体的に）

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに平成18年
12月22日（金）までに、ご投函くださいますようお願いいたします。

8. 市民活動団体アンケート調査票

市民活動団体

第2次平塚市都市マスタープラン策定業務に係るアンケート調査のお願い

平塚市では、総合計画の改定にあわせて、「平塚市都市マスタープラン」の改定を行うことになりました。都市マスタープランは、「まちづくり」を具体的に進めるための「都市計画（注）」の指針で、市民と市がともに力をあわせ実現していくものです。

このため、「都市マスタープラン」の改定にあたりましては、「市民活動団体等アンケート調査」を実施し、計画策定の参考にさせて頂きたく、ご協力をお願い申し上げます。

皆さまからいただいたご意見は、平塚市の都市づくりのあり方や進め方を検討するための資料として活用させて頂き、他の目的に使用することはありません。

（注）：土地利用、都市施設（道路・公園等）整備、まちの開発などについての計画

平成 18 年 12 月 平塚市

問1 貴団体の概要や活動を始めたきっかけなどについて、教えてください。

(1) 差し支えなければ、組織の名称を教えてください： _____

(2) 主な活動内容を教えてください。

(3) 会合・会議の主な場所はどこですか。（該当するものに○）

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. ひらつか市民活動センター | 2. 市内の公民館 |
| 3. 1と2以外の公共の場所 | 4. 市内の会員の自宅や事務所など |
| 5. 市内のその他の場所 | 6. 市外 |
| 7. 会合は殆どない | |

(4) 活動を始めるきっかけとなったことを教えてください。

問2 活動を通して感じる、平塚市のまちづくりの問題点や課題を教えてください。

問3 貴団体が目指すまちづくりのあり方や目標などについて、教えてください。

問4 活動にあたって協力・連携している、あるいは今後協力・連携したい団体はありますか。
(該当するものに○)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. ほかの市民活動団体 | 2. 自治会や町内会などの地域の団体 |
| 3. 行政 | 4. 地域の学校や幼稚園、保育園 |
| 5. 大学 | 6. 社会福祉協議会 |
| 7. 財団・社団法人 | 8. 企業 |
| 9. その他の団体 | 10. ほかの団体と連携する必要はない |
| 11. そのほか (_____) | |

問5 市民と行政との協働によるまちづくりについて、おうかがいします。

(1) 市が行うまちづくりに、組織として、あるいは個人的に、参加・協力したい分野はありますか。
(該当するものに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 人にやさしいまちづくり | 2. 環境にやさしいまちづくり |
| 3. 景観や緑のまちづくり | 4. 安心・安全まちづくり |
| 5. 活性化のまちづくり | 6. 交通まちづくり |
| 7. そのほか (_____) | |

(2) 行政との協働によるまちづくりを、どう思われますか。(該当するものに○)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 重要である | 2. 重要でない |
| 3. どちらでもない | 4. わからない |

問6 市民活動団体のメンバー、とくに代表や役員などの方は、まちづくりのリーダーとして重要であると考えています。貴団体のどなたかを対象にしておうかがいします。

(1) 専門的な立場などでまちづくりのリーダーを担っていただける場合、どのような立場が想定されますか。(該当するものに○)

1. 市が設置する各種のまちづくり会議の委員として
2. 一般市民のためのまちづくり塾などの塾頭やグループリーダーとして
3. 身近なまちづくり(ミニ広場の整備、地域イベントなど)の企画や計画立案者の1人として
4. その他()
5. 想定されない。わからない

(2) この場合、どのくらいの頻度で参加可能でしょうか。(該当するものに○)

- | | |
|---------------------|-------------|
| 1. 1週間に1回程度、またはそれ以上 | 2. 2週間に1回程度 |
| 3. 月に1回程度 | 4. 2～3ヶ月に1回 |
| 5. 半年に1回、またはそれ未満 | 6. ほか |

問7 平塚市のまちづくりや都市政策についてご意見がありましたら、お書き下さい(個人的なご意見でも結構です)。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに平成18年12月22日(金)までに、ご投函くださいますようお願いいたします。

～平塚市都市マスタープラン策定に向けて～
市民意向調査結果

【報告書】

平成19年9月

発行 平塚市 都市政策部 都市政策課

平塚市浅間町9番1号

電話：0463-23-1111

FAX：0463-23-9467

E-mail：toshi-s@city.hiratsuka.kanagawa.jp

URL：http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/toshi-s